

第六十五回
帝國議會
貴族院

臨時米穀移入調節法案特別委員會會議事速記録第三號

昭和九年三月二十五日(日曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ開會
イタシマス

○藤山雷太君 私ハ此運用法ニ付テ御尋ネ
申上ゲタイト思ヒマスガ、臺灣ト朝鮮ニ七
百萬石御買上ゲニナルト云フコトノ案ノヤ
ウニ存ズルノデアリマスガ、是ハ内地米ト
ハ矢張りドウ云フ格差ヲ御附ケニナリマス
カ、サウ云フコトマデモモウ既ニ大體ハ御
決メニナッテ居リマスカ、朝鮮米ハ凡ソ七百
萬石ノ中ノ幾許バカリ御買上ゲニナリマス
カ、又臺灣蓬萊米ヲ幾ラ位御買上ゲニナル
御豫定デアリマセウカ、若シ御決メニナッテ
居レバ承ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 大體豫定イタシテ
居リマス其數量ノ方カラ先キニ申上ゲマス
ガ、朝鮮米、臺灣米ガ大體合計イタシマス
ト、千二百五十萬石位ノ移入ニナルト云フ
米穀年度初メノ總督府ノ方ノ御報告デアリ
マシテ、其内譯ヲ申上ゲマスト、朝鮮米ガ
約八百三十七萬石、臺灣米ガ四百十三萬石
ト云フ見込デゴザイマス、ソレヲ過去五箇
年ノ毎月別ニ入ッテ來タモノノ平均ノ割

合ヲ取ッテ見マスト云フト、今年ノ五月ノ一
日迄ノ間ニ朝鮮米ガ約五百四十九萬石、臺
灣米ガ百八十四萬石デアリマシテ、合計七
百三十三萬石位ハ移入濟ミニナル見込ガア
リマス、サウ致シマスト云フト、最初ノ豫
定カラ其移入ニナル見込ノモノヲ差引マス
ト、内地ニ移入シマス餘力ガ朝鮮米ガ二百
八十八萬石、臺灣米ガ二百二十九萬石ニナ
リマスノデ、其半數ヅツヲ取ルト云フ見込
ニシマスト、二百五十九萬石ニナリマス、
朝鮮米ガ百四十四萬石、臺灣米ガ百十五萬
石ト云フ數字ニナリマス、尤モ是ハサウ云
フ風ニ數字ノ比例デ以テ買上ラスルト云フ
コトハ困難ナ實情デアリマシテ、臺灣米ハ
御承知ノ通り保存等ニ付キマシテモ、朝鮮
米ト餘程事情ガ變ッテ居リマスカラ、總數ニ
於テ調節スル爲ニソレ位ノコトヲ標準ニ置
キマスノデ、臺灣米ヲ割合ニ少ク買フヤウ
ニナルノデハナカラウカ、買フ必要ガアレ
バ朝鮮米ヲ餘計買フコトニナリハシナイ
カ、斯ウ思ヒマス、ソレハ其明ノ米穀ノ供
給狀況ニ依リマシテ、ドチラカ適當ニ買フ
ト云フコトニ動カス積リデ居リマス、ソレ
カラ其後昭和九年產米、此十一月以後ニ收

獲サレテ、内地ニ移入サレル米ニ付キマシ
テハ、朝鮮臺灣ノ兩地ヲ通ジマシテ、約四
百四十五萬石位買フト云フ見込ニナリマ
ス、ソレハ朝鮮米ノ數ニ於テ約三百萬石バ
カリ、臺灣米百四十六萬石バカリト云フコ
トニ豫定イタシマシタノハ、朝鮮米モ臺灣
米モ全然内地ニ供給シナイ、入レナイト云
フヤウナ力ハ此法律ニハゴザイマセヌノデ
スカラ、相當分量ガ入ルモノトシマシテ、
サウシテ其中カラ約四百萬石カラ五百萬石
程度ヲ買ヘバ、十分數量ノ調節ガ出來ル
ダラウ、サウ云フ計算ノ目論見ダケヲ立テ
テ合計七百萬石ノ内譯ハ只今申上ゲタヤウ
ナ程度デゴザイマス、ソレカラ買入ノ價格
デゴザイマスガ、是ハ臨時米穀移入調節法
ノ第二條ニ書イテ置キマシタ點ヲ御説明申
上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレハ此
委員會ノ最初ニ御手許ニ差上ゲマシタ、勅
令ヲ以テ規定スベキ事項ノ中ニモチヨット
書イテ置キマシタガ、内地米トノ格差ト云
フモノヲ第一價格ヲ決メマス時ニハ見ナイ
トイケナイト思ヒマス、ソレデ内地米トノ
格差ヲ引キマシテ、尙運賃諸掛リト云フ
モノヲ控除イタシマシテ、ソレデ時價

ニ依ッテ買フト云フコトニナリマスガ、
其時價モ餘リ高イ場合ニ買入レルト云
フコトニナリマス、必要ヲ買入ラス
ルコトニナルカト思ヒマスノデ、大體最
低價格ヲ甚ダシク上廻ッテ居ルト云フヤウ
ナ場合ニハ買入ヲ致シマセヌ、マア相當程
度最低價格ヨリ上ノ地位ニアルノデアリマ
シテ、ソレヲ買ハナイト云フト、米價ガ最
低價格ニ落込シマッテ、サウシテ最低
價格ノ買入ノ申込ガ餘計ニナル、サウシマ
スト云フト、結局安イ朝鮮米ヨリハ、割高
ナ内地ノ米ヲ多分ニ買ハナケレバ、價格維
持ノ目的ヲ達セヌト云フヤウナコトニナル
ノデアリマスカラ、サウ云フコトハナイヤ
ウニ、内地ノ米ハ買ハヌデモ、朝鮮米ノ此
數量調節之間ニ合ハセレバ、ソレデ價格ノ
調節迄モ間接ニ及ビマシテ、米價ヲ最低價
格ニ陥ラシメナイデ濟ム、即チ政府ガ餘計
買入レナイデ濟ムト云フヤウナ所ヲ見計
ラッテ買入レタイト思ッテ居リマスガ、其標
準ハ其時々々ノ模様デ考ヘナケレバイカヌ
ト思ヒマスノデ、一定ノ値ヨリ高クナケレ
バ買ハヌト云フ標準ダケハ決メテ置キタ
イ、斯ウ云フヤウナ考デアリマス

○藤山雷太君 臺灣米等ニ付テ私等ガ考

ヘテ見マスルノニ、臺灣ノ米ヲ御獎勵ニナツタ爲ニ、逢萊米ト云フ日本ノ米ト殆ド同種ノ米ガ出來ルヤウニ今日ハナツテ居リマス、或ハ格差ヲ御付ケニナルニモ、僅ナ格差ヨリホカ付ケラレナイ位ノ、殆ド内地米ト同ジヤウナモノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、サウシテ政府ガ今日ノ最低價格ヲ御決メニナツテ、最低價格デ御買上ゲニナツテ居ル、サウスルト臺灣ノ米ノ生産ガ非常ニ殖エテ來ハシナイカ、其結果トシテ尤モ臺灣ノ今日糖業ト云フモノ等ニモ影響ヲ及ボシテ來ハシナイカト思ヒマスルガ、我ミノ考デハ此日本ノ産業ハドウシテモ地理的ニ研究シテ行カナケレバナラヌ、臺灣ニモ砂糖等ハ自ラ減産ノ方針デアリマスガ、作ラナイヤウナ形ニナルト云フノハ、北海道ニ「ビート」ヲ作ラセル、砂糖工業等ニハ熱帯ノ非常ニ高度ノ溫度ヲ要スルモノデアリマスカラ、砂糖工業等ハアソコヘ、成ルベク盛ニヤラセル方ガ宜カラウト云フヤウナ私ハ考ヲ有ツテ居リマスガ、米モ矢張り熱帯植物デアリマスカラ、内地ニ作ルヨリハ臺灣デハウマク行ケバ二度出來マス、サウ云フ譯デアリマシテ、此内地ノ米ヲドレダケノ格差ヲ御付ケニナツテ、ドウ云フコトニナルカ知

レマセヌガ、臺灣ノ産米ガ非常ニ殖エテ來ルヤウナ處ハナイカト云フコトヲ、私ハ實ハ心配スル、我ミ考ヘマスルノニ、ドウシテモ此農業ノ進歩トカ、科學ノ進歩ト云フモノノガスンナニ盛ニナツテ來マスルト、サナキダニモウ米ノ生産ハ私ハ内地デモ非常ニ殖エルダラウ、米ハドウシテモ自然ニ打チヤツテ置ケバ安クナル、農家ノ今日ノ困憊ヲ救フノニ米ノ生産ダケヲ收入トシテヤルト云フコトハ、到底ムヅカシイデハナイカ、ドウシテモ臺灣ニハ米以外ノ代用食物ガ随分アルノデス、砂糖モ其一ツデアリマスガ、砂糖ノミナラズ色ミアル、朝鮮ニ於キマシテモ米ノミヲ獎勵爲サルト、内地ヲ脅カシテ來ルダラウト思フ、矢張り朝鮮ニハソレダケノ損失ヲ爲サツテ、米ヲ高クスル位ナラバ棉花ノ保護ヲヤツテ、日本ハ目下亞米利加カラ輸入サレナカッタラ、印度カラ輸入サレナカッタラ、到底日本ノ紡績ハモウ絶對ニ成立スルコトハ出來ナイノデスカラ、サウ云フ米ニ代ルベキ代作品ヲ選ンデ、非常ナ力ヲ盡シテ御保護ヲ爲サルト云フコトガ、此米ノ調節ノ上ニモ必要デヤナイカト思フ、殊ニ私ハ内地ニ於キマシテ斯ンナニ高イ地面ヲ利用シテ米ヲ作ル所ハ世界ニナイ、一坪何圓ト云フ所ニ米ヲ作ツテ、サウシ

テ非常ナ公課ノ高イ、租税ノ負擔ハ多く、生活ハ漸次ニ改良スル、迎モ米ダケデ行クト云フコトニナリマスレバ二十三圓ノ米ガ五十圓ニモ賣ラナケレバ農家ノ困憊ヲ救フト云フコトハ出來ナイヤウニナリハシナイカ、ソレヨリモ寧ロ米ハ自然ニ安ク出來ル場所ガアルノデスカラ、此日本内地モ米ノミニ依ラザル一ツ根本政策ヲ御講ジニナツテ農家ノ負擔モ減ズル、收入モ殖エルト云フ途ヲ作ルニアラザレバ毎年々々米ハ殖エル、殖エル結果ハ仕方ガナイカラ高ク買上ゲヤウ、農家ノ困憊ヲ救フ爲ニ高ク買上ゲル、シテ見マスト何處迄高ク買上ゲナケレバ分ラヌヤウナ情勢ニ陥リハシナイカト思フ、併シサスレバト云ツテ今ノ農家ノ困憊ハ之ヲ國民ハ見テ居ル譯ニ行カヌト云フコトデドウシテモ買上調節ト云フコトガ出ルノハ當然デアルト思フノデアリマスカラ、私ハ米ハ成ルベク安クナル方法ヲ御採リニナツテ、國民全體ニ必要ナ一度デモ食ハヌデ居レナイト云フ米ヲ高イ値ニ維持シテ行クト云フコトハ非常ナ困難ナ情勢ニアリハシナイカト考ヘマスルカラ、内地ニハ私ハ所謂加工工業、家庭的工業「ハンドワーク」ノ工業ト云フヤウナモノヲ農村ニ非常ニ普及サセテ此農家ノ米ノ收入ヨリ減ル所ノ

收入ヲ補フト云フ途ヲ御立テニナラナケレバ是ハ何時迄經テモ米ノミデヤラウト云フコトニナルト非常ナ困難ガ伴ヒハシナイカト考ヘマス、サラバト云ツテ打チヤツテ置ク譯ニ行カナイ、或程度ノ價格デ買上ゲラシテヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリハシナイカト心配イタシマスガ、此點ニ付テハ、根本方策ト云フノハ矢張り米ニ對スル根本方策デスカ、米ニ代ル農民ノ收入ヲ増加スル方法ノ根本政策ト云フコトデアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト考ヘマス

○國務大臣(後藤文夫君) 只今直ニ考究ヲ

繼續シテ參ラウトシテ居リマスル根本解決策ト致シマスノハ米ヲ直接ノ對照トシテノコトデアリマス、ケレドモ、唯米ノ買入調節ト云フヤウナコトバカリデナク、全領土ヲ通ジテノ生産政策ト云フヤウナモノニモ及バナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ガ更ニモウ少シ根本ニ入りマスト云フト、永遠ノ將來ト言ハヌ迄モ寧ロ近い將來ノコトヲ稍、恆久的ニ考ヘマシテ、只今御話ノアリマシタヤウナ著眼ガ非常ニ必要ナコトデアルト私ハ考ヘテ居リマス、農村窮乏ノ匡救ヲスル爲ニ米及養蠶關係ノ問題ガ常ニ此第一線ニ現レテ參ツテ居リマスケレ

ドモ是ハ現在ノ實情誠ニ已ムヲ得マセヌ、之ニ對スル處置ヲ致サナケレバナラヌコトハ申ス迄モアリマセヌガ、少シ永イ將來ヲ考ヘテ見マスト米問題ダケノ解決ニ依ッテ農村ノ地主カラ小作ニ至ル迄各境遇ノ人達ノ經濟狀態ガ根柢的ニ改善サレルカト申シマスト左様ニハナカク參ラヌト思ヒマス、御話ノ如ク米ハ全國民ノ消費スルモノデアリマスカラ、若シ合理的ノ生産費ノ低下ガ出來、農村ノ經濟ガソレニ依ッテ免ニ角不利益ノ位置ニ置カレルト云フコトガナイヤウニ米ノ安イト云フコトハ國民トシテ結構ナコトデアラウト思フ、農村ノ方カラ考ヘマシテ唯今日ノ現狀デハ米ノ安イコトハモウ農村總テ非常ニ困ッテ狀況ガ起ルノデアリマス、是ハ單リ農村ノ何レノ階級ヲ問ハナイノデアリマシテ、地主ヲ始メ小作ニ至ルマデ矢張り困ルノデアリマス、尙ホ御話ノ日本全國ヲ地理的ニ大觀ラシマシテ適所ニ適産ヲ生産スル、適所適産ト云フバカリデナク、國民ノ需要或ハ海外ヘノ貿易等ノ關係ヲ見マシテ、大體斯ウ云フ種類ノ農産物ハ此位ノ數量必要デアル、且ツソレガ今後は位ノ程度デ増産ヲスルコトガ必要デアル、現在ハドウ云フ方面ニサウ云フモノガ生産サレテ居ルカト云フヤウナ事柄ヲ見

渡シテ一種ノ農産ノ計畫ガ凡ソ考ヘラレ、ソレニ一ツノ指導ノ方針ヲ立テテ只今御話ニナリマシタヤウニ一方ニ減産デモシナケレバナラヌト云フヤウナ事情ノアルニモ拘ラズ、同ジヤウナ生産物ガ他ノ方面デ又非常ニ増産ガ獎勵サレルト云フヤウナ譯デ、國民資本ノ徒ナ消耗ヲスルヤウナコトガ起キマシタリスルヤウナコトガナイヤウニ、考慮ヲシナケレバナラヌト云フコトハ御説ノ通りダト思ヒマス、所ガ農業政策ニ付テハ卒直ニ申シマスガ、今日マデ餘リサウ言ッテヤウナ考慮ハ拂ハレテ居ラナイデ、尤モ是ハ能ク私幾ラカ過去ノヤリ方ヲ常ニ辯護シテ申スノデアリマスケレドモ、是ハ單リ農業生産ニ限ラズ日本國內ノ總テノ生産業ガ過去ハ總テソレガ増産、或ハ品質ノ改良ノ一途ヲ進メテ進んでサヘ行キマシテ、經濟的效果ハ自カラソレニ伴フダラウト云フ事情ニ日本ノ産業ハ總テ大體アッタト思フノデアリマス、所ガ此歐羅巴大戰後ト申シマスカ、最近數年ト申シマスカ、經濟界ノ特色ナ事情ノ變化ハ世界的ノ變化ノ影響モ受ケマシテ、餘程其事情ガ變テ來タト思フ、唯増産ヲスル、唯品質ノ向上サヘスレバ經濟的ニモ利益ガソレダケ増スモノトハ言ヘナイヤウナ事情ガ色ミナ方面ニ起キテ來

タ、農業生産ニ於テモ矢張りサウ云フ事情ガ起キテ米ノ問題ナドハ其適切ノ問題、養蠶問題モ其一例トナッテ現ハレテ居ル、從テ根本ニ遡ッテ將來ノ此生産政策ト云フモノヲ考ヘルト云フコトハ、非常ニ痛切ナ問題ニナッテ來テ居ルノダト思ヒマス、唯生産政策ヲ實行シテソレガ實際ノ效果ヲ現ハシテ、サウシテ此需給ノ均衡、或ハ價格ノ維持ト云フ所ニマデ影響ヲ本當ニ現ハシテ、而モ其結果ガ農村ノ各境遇ノ人達ノ爲ニモ經濟的ノ窮乏緩和ニモナル、兩々相俟ッテサウ云フ結果ガ生ズルヤウナコトヲ實現イタシマスノハ是ハ矢張り或程度ノ年所ヲ一定ノ方針ニ基イテ政策ガ實行サレ又民間ノ人達ガ皆自覺シテ動イテ而モ相當ナ根氣ノ宜イ努力ガ年所ヲ重ねテ來タ後デナイト實現イタサナイノデアラウト思フケレドモ、サウ云フ著眼ハ一ツノ此根本方針トシテハ是非トモ考ヘテ參ラナケレバナラヌト云フ風ニ實ハ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス

ト私共ハ考ヘテ居ル、ソレカラ實際ノ米ダケカラ見テ見マスルト、今農林大臣ノ御話ノ通り國民ノ必要ナル食料デアリマスカラ、サウ高クナラヌ方ガ宜イ譯デアリマスカラ、今ノ米穀ノ調節ト云フ問題モ歸スル所ハ、國民ノ生活、農民ノ生活ヲ更生シテヤル、今ノ農民ノ困憊ナ事情ハ堪エラレナイト云フコトデアリマスレバ、米バカリデ調節シテ行カウト云フコトニナルト、本年モ來々年モ矢張り非常ニ多數ノ買上ゲデモシテヤラナケレバナラヌ、又買上ゲノ二十三圓デ買上ゲテ居ルノガ、ソレデハマダ其困憊ハ救フコトハ出來ナイカラモト高ク買ッテ貰ハナケレバナラヌト云フヤウナ聲ハ段々殖エハンマイカト考ヘマス、ト云フノハ米ハ安クナル傾向ヲ私等ハ進メテ居ルト思フ、是ハ日本バカリデナイ、モウ此世ノ中ノ進歩、科學ノ進歩、文明ノ進歩、機械ノ進歩、有ユルモノガ相集ッテ、亞米利加デモ此農産物ノ豊穰ト云フモノハ、唯天氣ガ好カッタカ雨ガ降ラナカッタト云フヤウナコトデナク進んで來テ居リマスカラ、餘程困難ガ多イヤウニ考ヘマスレバ、根本政策ト云フモノハ朝鮮ニ棉花ヲ作ッテ米ニ代用サセル、臺灣ニハ斯ウ云フ代作ヲ作ラセル、或ハ内地ハ非常ニ高イ土地ヲ以テヤッテ米ガ高クナケレバナラヌ

カラ農村ニ副業的ナ工業デモ非常ニ獎勵サレテ、其懷ロヲ良クシテヤルト云フヤウナコトヲ根本政策ノヤウニ考ヘマスルガ、其所謂今日政府ノ御考ニナツテ居ル、臨時議會デモ開イテ根本政策ヲドウスルト云フヤウナ御話ハドウ云フコトヲ意味シテ居ルモノデスカ、チヨット御尋ネシテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君)

今御話ノヤウナ

點ニモ根本策ノ一角ハ必ズ觸レテ來ルモノデス、唯御話ノヤウナ問題ニナリマス、隨分限りナク廣汎ナモノニナツテ參リマスノデ、其中ノ矢張り其米ノ生産ト云フモノニ相接スル問題、例ヘバ代作問題ト云ツタヤウナコトガ如何ナル程度ニ實行サレルカ、ドウ云フ規格デ將來策ヲ御設ケニナルカト云フヤウナコトガ矢張り考究サレル主題目ニナルト思フテ居リマスガ、假ニ御話ノ如ク米ダケデ以テ農村ノ窮乏ノ問題ヲ解決シヤウトスルコトハナカク困難デアリマスガ、併シ當分ノ間ハナカク今ノヤウナ作物ノ點等ハ、或ハ外地ニ於ケル代作ノ長足ノ進歩ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテモ、矢張り此米ノ供給過剩、其他ノ狀態カラ起ル米價ノ異常ナ壓迫ト云フモノガ去リマセスト、農村ノ外ノ事情ガ、直ニ御話ノヤウニ變化

スレバ宜シイノデスケレドモ其變化ノ容易ニ起サザル限り米價ノ安定維持ト云フコトガ矢張り其一方ノ重要ナ要點ト當分ナツテ參ルト考ヘマス

○上山滿之進君

私ハ昨日ノ質問ヲ補足シ、

尙ホ政府ノ御意見ヲ確カメル爲ニ質問イタシタイト思ヒマス、要點ハ今此場合強ヒテ此案ガ通過シナイデモ、實際ニ於テハ差支ハナイデアリマセヌカト云フコトガ要旨ナンデス、其譯ハ昨日總理大臣並ニ農林大臣カラ御答辯ヲ戴キマシタガ、要スルニ出來秋前ニ臨時議會ヲ召集スルト斯ウ云フコトヲ總理大臣トシテ又農林大臣トシテモ正式ニ只今言明サルコトハ是ハ出來ナイノガ御尤モト思ヒマスケレドモ、併シ御承知ノ通りノ經過ヲ經テ衆議院デモ最後ニ總理ノ答辯ニ信賴シテ衆議院ガ此案ヲ通シタト云フコトノ意味ハ非常ニ重大デアルト思フ、從テ總理大臣ニハ成案ヲ得テ臨時議會ヲ召集スルト云フ御決心ガアルト云フコトハ争フベカラザルコトデアルト思フ、若シサウデナクテ、唯御座ナリニ仰シヤクタクト云フコトデアレバ、是ハ大變ナコトデアルシ、又總理大臣ノ御性格カラ考ヘテモ、サウ云フ御座ナリヲ仰シヤル筈ハナイノデアリマスカラ、必ズ臨時議會ヲ御開キニナル、其前ニ

ハ成案ヲ得ルト云フ風ナ御覺悟ガアル斯ウ思ヒマス、サウ致シマス先ヅ出來秋前ニハ臨時議會ガ開カレルモノト我ミハ考ヘネバナラヌ、サウ考ヘマスト云フト、出來秋マデニ此金ハ要ラナイ、全然要ラナイ、多少ハ朝鮮米ノ八年米ヲ買フニ要リマセウケレドモ、ソレハ知レタモノデ、ソレダケノ金ハ今現ニ資金會計ガ持ツテ居ル金デ賄ヒガ附クノデスカラ、要スルニ只今是非トモ本

案ガ通ラナケレバ困ルト云フヤウナコトハナイヤウニ思フ、殊ニ天候ハ誰デモ分リマセヌガ、其頃ニナルト段々ニ豊凶ノ見据ガ附イテ來ル、見据ガ附イタ所デ、金ガ必要デアレバ適當ニ御提出ニナルト云フコトガ最モ至當ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、萬一々々、萬々一成案ガ出來ナイ、ソレデ臨時議會ガ開カレヌト云フコトガ萬々一起ツタトシタラ、其時ハ財政上ノ緊急處分デ九年度産米ヲ處置スル資金ガ得ラレルノデアリマス、又得ナケレバナラヌノデアリマス、法律デ、或一定ノ價格ニ米價ガ達シナイ場合ニハ申込メ、買フ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、全然サウ云フ場合ニ米ヲ買フト云フコトハ政府ノ義務ニナツテ居ルノデアリマス、金ヲ何處カラ出スト云フコトハ、是ハ政府ノ内輪ノ話デアリマスカラ、

ドウシテモ國民ハ米ヲ賣ツテ來ル、取ラヌト云フ譯ニイカナイ、ソコデドウシテモ此金ノヤリ繰リヲシナケレバナラヌ、是ハモウ當然ナコトデアルト思フ、又御役所ノ内輪ノコトデアリマスケレドモ、其場合ニ又大藏省ガ要求ニ應ジマイト云フコトモ考ヘラレマスケレドモ、大藏省ガ今日ノ場合既ニ四億五千萬ト云フモノニ同意ヲ與ヘテ居ル

ノデアリマスカラ、其時ニナツテソレダケノ金ガ要ルト云フコトニナレバ、是ハ不同意ヲ言フ筈モナク、ドノ點カラ考ヘテモ、今日此案ガ通ラナケレバ困ルト云フコトハアルベカラザルコトデアアル、唯昨日農林大臣ハ人心ノ不安ト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、抽象的ニ不安ト云フト、如何ニモ何カ不安ガアリサウニ聞エマスケレドモ、二十三圓三十錢デ買フト云フコトガ少クトモ此十二月マデハ動カナイコトデアアル、例外ノ場合ハ別デスケレドモ、先ヅ大體動カナイコトデアアルカラ、サウスルト其實ラウトスル、ソレカラ買フ金ハドウシテモ政府ハ責任支出ト言ヒマスカ、何ント言ヒマスカ、財政上ノ緊急處分ヲシテデモ出サナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマスケレバ、何ンニモ人心ノ不安ヲ其間ニ起ス譯ハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、政

府ノ御所見ハ無論是ト違フト思ヒマスガ、ドウ云フ點デ、是非此場合ニシテ置カナケレバナラヌ、此場合ニ取ッテ置カナケレバナラヌト云フコトニナルデアリマセウカ、今一應其點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 重ネテノ御質問

デアリマスノデ、重ネテ或ハ同ジコトヲ御答ヘ申上ゲルコトニ相成リマスカ知レマセヌガ、政府トシテハ其事ノ起リ得ルコトガ豫見セラレルコトデアリマス以上、其時ニナリマシテ、或ハ今御協賛ヲ願ハムトシテ居リマスモノダケヲ臨時議會ニ提案ヲシテ、又ソコデ御審議ヲ願フ、或ハソレニ代ルベキ非常ニ大キナ莫大ナ財政上ノ緊急處分ヲ致サナケレバナラヌト云フヤウナ事態ニ臨ミマスルコトハ、只今此議會ニ於テサウ云フ事ノ起リ得ベキコトヲ豫見スルノデアリマス、起スカモ知レヌケレドモ、一部分ハ必ズ起リ得ベキコトデアリマス、豫見イタシマスル以上ハ、其場合ニ處スルノ途ヲ只今開イテ置イテ戴キマスルコトハ、臨時議會ヲ開クト云フコトガ、何ニ致シマシテモ將來ニ掛ッテ居ルコトデアリマシテ、臨時議會ヲ開クベキ提案ノ内容モ今決ッテ居ル譯デハアリマセヌシ、昨日モ申シマシタヤウニ、假ニ、臨時議會

ヲ開クト致シマシテモ、提案ノ内容トシテハ、矢張り是ト同ジモノヲ、其場合ニ、今之ヲ協賛ヲ願ハズニ置イタトシマスレバ、願ハナケレバナラヌト云フ次第ニナルカモ知レマセヌ、若シ臨時議會ヲ開クコトヲ得ズシテ通常議會ニ臨ムトシマスレバ、是ト同ジ内容ノヲ、其時ニソレダケノ爲ニ御協賛ヲ經ルナリ、非常ニ大キナ財政上ノ處分ヲシナケレバナラヌト云フ事態ガ起ルノデアリマス、サウ云フコトヲ豫見イタシマスル以上ハ、此際ニ其手當ヲ御願ヲシテ、御協賛ヲ經テ置クト云フコトガ、政府トシテハ當ニ採ルベキ正當ナ方策デアル、斯ウ信ジテ居ル譯デゴザイマス

○上山滿之進君 是ダケノ金ガ九年度ニ於

テハ要ルト云フ豫見ガ付ク、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、豫見ハ付カヌト私ハ思フ、豊凶ニ依ッテスツカリ違フノデアリマス、何割ノ豊作ヲ見込シテ斯ウ云フコトヲ御立テニナツタノカ、其一割ノ御見込デ之ヲ立テタノカ、若シ二割ノ豊作ナルカモ知レヌ、ソレヲモ豫見シ得ルト云フコトデアリマシテ、全ク譯ノ分ラヌ數字ニナツテ來ル、豫見ト云フコトハ凡ソ斯ウ云フ風ニナルベキモノト云フコトノ、過去及現在ノ趨勢ヲ見テ、ソレニ依ッテ豫見スルノデアリ

マシテ、全ク分ラヌ事ヲ豫見スルト云フコトハドウシテモ考ヘラレナイノデアリマス、長岡君カラ、大變言葉ガ惡イケレドモト云フ御斷リガゴザイマシタガ、私ハ極メテ通例ト思ヒマスノデ、矢張り言葉ガ惡イト思ヒマスケレドモ長岡君ノ御言葉ヲ借用シマスガ、道樂息子ニ金ヲヤル、道樂息子ガヒヨットスルト是ハ妙ナ者ニ引ッ掛ッテ、此暮ニハエライ金ガ要ルカモ知レナイ、要ラヌカモ知レナイ、ソレチヤ妙ナ者ニ引ッ掛ル場

○國務大臣(後藤文夫君) チヨット、大變言葉

ノ今度ノ計畫ノ基礎ハ矢張り將來マアドンナコトガ起ルカモ知レナイト云フノデハナクテ、過去ニ出タ最大ノ事實ヲ凡ソ押ヘマシテ、ソレノヤウナコトガ起キタ場合ニ處スルコトガ出來ルヤウニト云フ、斯ウ云フ考デ是ハサウ云フコトノアリ得ベキコトヲ考ヘテ、今考ヘテ一應サウ豫想シテ見ルコトハ決シテ無理ヂヤナイ、過去ニアツタコトデアリマスカラ、併シソレハ再ビ繰返スコトハ或ハ非常ニ稀デアルト云フ見解モアルカモ知レマセヌガ、左様ニ考ヘマスト、能ク道樂息子ノ御譬ヘガアリマスガ、ドウモ少シ道樂息子ト違フヤウニ思ヒマスノハ、寧ロ此意思ノ、精神ノ曲ッテ居ル道樂息子ト云フノデハナクテ、機械的ニ動イテ

居ル一ツノ……ドウモ妙ナモノデアリマ
 スガ、假令金ヲ是ダケハ使ヒ得ルト、詰リ
 必要ナ場合ニハ使ヒ得ルトシテ居ツタカラ、
 其金ガ必ズ出テ行ツテシマフト云フノデハ
 ナクテ、必要ガナケレバ出ナイト云フコト
 ガ大體ノ筋デアリマシテ、道樂息子ハ金ヲ
 持タシテ置クトドシナコトニ使フヤラ、持
 タシタ以上ハドシナコトニ使フカ分ラヌノ
 デアリマスケレドモ、是ハサウ云フ性質ノ
 モノデナイヤウニ思ヒマスノデ、違ッテ居ル
 ト云フコトヲチヨット申上ゲテ置キタイト
 思ヒマス

○男爵福原俊九君

矢張りソレニ關聯シテ
 御尋ネ致シタイト思ヒマスノハ、私モ昨日
 臨時議會ノ時ノ問題デ御尋ネ致シマシタ
 ガ、其時ニ附加ヘテ農相ニ御尋ネ致シタカッ
 タデスケレドモ、總理ガオ出デシタカラ
 止メマシタガ、アノ時ニ臨時議會ヲ開ク理
 由ニ付テ懇々御説明ガアリマシタ、今モ尙
 ホ上山君トノ應答ノ御話ガアリマシテ、免
 ニ角政府トシテハ安全率ヲ餘計ニ取ツテ置
 クコトガ一番此際必要ダ、金ガ要ルト云フ
 コトハ一面御尤モナコトデ、或意味カラ言
 ヘバ精神的ニ安定シテ居レバ矢張り仕事ガ
 間違ハナイ、併シ又一方カラ言フテ又昨年
 アタリカラノ例ヲ見テモ、例ヘバ減反ト云

フヤウナ問題ガ昨年ノ十二月頃ニ出テ、非
 常ニ反對サレテソレガ駄目ニナツタ、其時ハ
 私ハ丁度朝鮮ニ居ツタガ、矢張り朝鮮デハ小作
 人ノ經濟指導ヲ熱心ニヤツテ居ラレル、ソコ
 ヘ持ツテ又内鮮人ノ精神的融和ガ出来掛カッ
 テ居ルガ、減反案ト云フコトニナルト直グ
 小作ノ問題ガ、私共ハ素人デアルケレドモ
 頭ニ來ル、矢張りソコニ不安ヲ與ヘルコト
 ニナル、又其後ニナツテ所謂外地米移入制
 限ト云フコトモ免ニ角言渡スト云フコトニ
 ナレバ、朝鮮アタリデハ騒ギ出ス、矢張り
 精神的ニ不安定ニサセルヤウナコトヲ矢ッ
 張り政府ノ方トシテモ故意デヤナイケレド
 モ、自然サウ云フコトガ出テ來ル、總テノ
 點ニ於テ十二分ニ國民ヲ安定サセル途ハ付
 ケナケレバナラヌト思ヒマスガ、所デ私ハ
 極ク素人デアリマスカラシテ、少シ質問ガ
 抽象的ニナルカモ知レマセヌガ、是ハ御尋
 ネシテ置カナケレバナラヌコトデアルシ、
 又必要ノコトト思ヒマスカラ特ニ御尋ヲ致
 シマスガ、一體米穀統制法ト云フモノハ實
 際今ノナンデ目的ヲ達スルコトガ出来ルカ、
 其目的ノ主ナル農村救済ト云フコトガ出来
 ルト云フト、今現在ニ於テモ出来サウモナ
 イ、唯其農村ノ米價ヲ生産費以上ニ安定シテ
 置クト云フケレドモ、併シ今回此米ノ豐作

ニ遭フテ買上ゲサレタ、其買上ゲサレタノ
 ハドウカト云フト、米ノ仲買人トカ、倉庫
 會社ヲ結局儲ケサシタコトニナツテ、農村自
 體ガ經濟的ニ非常ニ苦シンデ居ルカラシ
 テ、要スルニ其政府ガ米ヲ買入レルコトヲ
 發表サレル前ニ、既ニ安イ値デ「ブローカ
 ー」ニ取ラレテ、ソレデ現ニ私共此十二月
 ニ其現狀ヲ見テ居ッテ、モウ横濱ノ倉庫ア
 タリニ持ッテ行ッテ、政府ノ方デマダ米ヲ買
 フコトガ決ラヌ中ニ「ブローカー」ノ方カラ
 シテ倉庫ノ方ニ米ヲ預ケテ置ク、倉庫ノ方
 ニ豫約シヤウ、ドウモ分ラヌケレドモドウ
 ナルダラウ、ドウモオカシイト云ッテ聞イ
 テ見ルト、結局政府ガ買フト云フコトニナ
 ル、ソレ等チヤント先ニ買ッテ居ル、結局農
 村ハ米ヲ賣ッテ外ノモノノ租稅ナリ其他ノ
 爲ニ米ヲ安ク賣ッテ金ニシテ其ノ方ニ向ケ
 テ、サウシテ結局秋ニナツテ米ガナクナレ
 バ、今度ハ高イ米ヲ買ハナケレバナラヌト
 云フコトニ實際ナル、ソレハ始終アルコト
 デアリマス、所デ實際米ノ不作或ハ旱魃デ
 出来ナイト云フコトハ、天然ノ力デアアルカ
 ラシテ、實際大キナ「エツキス」ノ「フアク
 トル」ノ入ッテ居ル方程式ヲ解カウトスルカ
 ラ、實際ニ於テヤレナイノデアリマス、デス
 カラ米穀統制法ヲ其後ドウ云フ風ニ詰リ缺

陥モアリマスガ、ソレヲ實際缺陷ノナイヤウ
 ニシテ之ヲ行フト云フコトハ、御當局デモ實
 際ニ御分リニナラヌ、サウ云フモノヲソコヘ
 置イテ置イテ、矢張り或意味カラ言ヘバ、政府
 ノ方デ本當ニドウシタラ宜イト云フ策ヲ持タ
 ズニ置イテ、サウシテ唯眼ノ前ノモノヲ、
 眼ノ前ノ問題ヲ國民ガ安心スルヤウニ胡麻
 化シテ行クト云フヤウナ形ニ私共ハ思フ、
 結局ドウスルカト云フト、詰リ先程ノ藤山
 君ノ御質問ニナツタヤウニ、農村ノ經濟ガ立
 ツヤウニ、詰リ農村ノ本當ノ更生ガ出來ル
 ヤウニスルコトガ一番本デアツテ、ソレニハ
 米バカリデハナイ、米ノ値段ガ假ニ安ク
 ナツテモ、其農村ノ經濟、生活費ガ減ッテ來
 レバ安クナツテモ構ハヌ、安クナツテモ外ノ
 他ノ仕事ヲヤツテ、サウシテ農村ノ經濟ノ
 立ッテ行クヤウニナレバ宜イ、ソコデ實際
 ニ農村ノ自力更生ト云フコトガ今日起ッテ
 來ルノデ、ソレハ相當ニ内務省デモヤツテ居
 ラレル、實際ノ此問題ハナント云ッテモ農村
 ガ更生シテ、農村ノ詰リ自立ガ出來ルヤウ
 ニナラナケレバ、國家ト云フモノハ滅亡ス
 ルヨリ外ニ途ガナイ、幾ラ米ヲ買ッテ値段ヲ
 保ッテ居ツタ所デ駄目ナンデ、實際其實例ハ
 今マデ澤山聞イテ居ル、殊ニ内務省ノ方デ
 ハ模範村ナント云フヤウナモノガ出來タ

置クト云フケレドモ、併シ今回此米ノ豐作
 置クト云フケレドモ、併シ今回此米ノ豐作

リ、ソレデ相當ニ指導ハシテ居ラレルケレドモ、併シ其指導ハ本當ノ指導デナイト思フ、矢張りソレハ指導シテ行く人ハ熱心デアルケレドモ、政府ガ一ツノ統一的ニヤツテ居ラレナイ、詰リ言ヘバ本氣デヤツテ居ラレヌト云フヤウナ状態デアルヤウニ思フ、デ農相トシテハ議會前ニ大分ヤカマシクナツタノデ、五相會議デ農村ノ振興、更生ニ付テ色々御心配ニナツテ居ルコトニ付テハ、我々ハ非常ニ感謝イタシテ居リマスガ、併シソレモ國防ノ問題デ結局國防費ノ問題デ到頭其御考ヘノ一部モ現レルコトガ出來ナカッタヤウナコトデアル、誠ニ御氣ノ毒ニ思フ、デ結局農村ノ自力更生ト云フコトハ要スルニ農村ガ共同一致シテ働キ、無駄ヲ排シテ、サウシテ共ニ生キテ行くト云フ所ニ各農村ガ特殊ノ事情ニ依ツテ更生ノ方法ヲ立ツテ行く、ソレデ是ハ有名ナ事實デアルガ、一例ヲ擧ゲマスレバ、新潟縣蒲原郡ノ高柳村ノ如キハ、大正九年ニ行詰リカケテ、大正十二年ニ全ク行詰ツテシマッタ、ソレカラシテ其農村ハ自力更生ヲヤリ出シテ、サウシテ昨年ノ五月ハ模範農村ニナツタト云フコトデアル、其他イツモ模範農村トシテ人ガ見物ニ行くノハ、愛知縣ノ安城ノ如キ、又實際其他我々が能ク聞イテ居ル三

河ノ農村ノ如キ、東加茂郡ノ旭村、下山村ト云フ此二ツノ農村ノ事情ナドモ、最近是ハ二三年此方自力更生ヲヤツテ居リマスガ、是モ兎ニ角下山村ノ方ハモウ立派ニ立ツテ行ツテ居ル、又旭村ノ如キハ、マダ十分デナイケレドモ、是モ自力更生ガ出來ルヤウニ、段々緒ニ著イテ來テ居ル、デ兎ニ角農村ノ自力更生ト云フコトニ力ヲ盡サナケレバ、幾ラ米ノ問題ヲヤツテモ、要スルニ米ニ……今道樂息子ト言ハレルケレドモ、私共ハ農相ノ立場トシテハ御辯解デアルケレドモ、我々ハ惡イ意味デ言フテ居ルノデハナイケレドモ、結局ソレ道樂息子ニ金ヲ注ぎ込ムノト同ジコトデアル、農村ノ自力更生ノコトニ付テハ非常ニ努力シテ居ル人ノ話ヲ聞イテ見マスト、要スルニ日本ノ各農村ガ本當ニ自力更生ヲスル爲ニハ、五億ノ金ガアレバ宜シイ、大體農村ノ自力更生ノ爲ニ三億圓、後ハ色々指導シテ行く其他ノ爲ニ三億圓計五億圓ノ金ヲ使ヘバ立派ニ日本ノ農村ハ皆自力更生ガ出來ル、併シ今現ニ内務省ガ農村ヲ指導シテ居ルヤウニ、安城ナラバ安城ガ宜イト云フト、其農村ノ更生振リヲ見ニ行ツテ、ソレヲ模範ニシテヤルト云フヤウナニ、他所ノ農村ノ具合ヲ見テ、眞似ヲヤルノデハ結局碧海郡ノ養鶏ノ如ク養鶏

ガ宜イト言ヘバ何處モ養鶏ヲヤツテ、元モ子モイケナクナルト云フコトデ、矢張り其土地ノ特殊ノ事情ニ依ツテ自力更生ヲサシテ行カケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ、大抵ノ村ニハドノ村デモ數人ノ長老ナリ、又篤志ノサウ云フコトニ、金サヘアレバ指導シテ金ヲ出ス人ガ必ズアル、村々デ、其程度々々デアリマスケレドモ……ソレデアリマスカラサウ云フ人達ガ各村々デ、其ノ村ノ篤志家ニ依ッテ、其ノ村ヲ指導更生サセル、即チ必シモ米バカリヤラズニ所謂多角農ニスル、即チ豆ノ方ガ宜イ場合ニハ豆ノ方ヲヤルシ、又外ノモノノ詰リ自作農、……三作農ニシテ、サウシテ多角的ニ詰リ農家ヲ、其土地々々ニ依ツテ是レダケノモノヲヤラセルヤウニ、又一方カラ云ヘバ道路ヲ今結び付ケルノニ、道路ヲ主ニシテ居ルケレドモ、農村ニ矢張り道路ヲ造ル、サウシテ産業組合又ハ一方カラ云ヘバ、先程此委員會デモアリマシタガ、矢張り農村更生ノ爲ニハ酒ト鹽、ソレカラシテ綿絲ト云フヤウナモノヲ供給シテヤル、即チ酒ノ如キハ濁酒ヲ飲マセルヤウニシ、鹽ヲ安ク賣ルト云フコトニシテ行ケバ、農村ノ自力更生ハ出來ルト云フ實際ノ實例ガ澤山アルノデアリマスカ

ラ、私共ハ此ノ際、此ノ儘デ行ケバ十一億ト云フモノハ全部煙ニナルカモ知レヌ、ダカラ五億ヤ六億ノ金デ出來ルモノナラバ、其處ニ一ツ徹底のニ考ヘラレテ、サウシテソレト同時ニ米穀統制法ノ相當ノ修正モ或ハ止メテモ宜シイ、或意味カラ云ヘバ米穀ノ値段ハマア天然ニ委セテ仕舞ツテ、農村ガ詰リ經濟的ニ生キテ行キサヘスレバ構ハナイノデアルカラ、サウナレバ米穀ノ方ハ構ハナイト云フコトモ私ハ言ヘルト思フ、殊ニ今ノ農相ハ内務行政ノコトニハ極ク堪能デアルカラ、尙ホ更私共ハ今ノ農相ノ如キニ於キマシテ、根本的ニドウシテモ此ノ際立テラレルコトハ私共ハ最モ宜イ機會ト思フ、又從ツテ今日農民運動ガ非常ニ惡化シテ居ル、一般的ニ非常ニ惡化シテ居ルコトモ、詰リ農村ガ自力更生シテカラ經濟的ニチャント立ツテ行ケバ、自然ニ治安維持法モ何モ要ラナクナル、私共ハ此ノ機會ニ、私ガ臨時議會ヲ請求シタト云フ意味ハ、ソレガ六ヶ月ヤ七ヶ月デ出來ルカ出來ナイカ分リマセヌガ、併ナガラチャント色々實例ハアルシ、經驗ハアルシ、ソレヲドウ云フ風ニシテ宜シイカト云フコトニナレバ、或程度ノコトハ出來ヤセヌカト思フ、單ニ今言フヤウニ此ノ際只米ノ値段ヲ維持ス

ル爲ニ、此ノ法案ヲ此ノ儘兎ニ角ヤツテ吳

レ、アトハ努力スルカラト云フコトデハ、

私共ハ何シテカ、道樂息子ニ金ヲヤルト云

フヤウナ具合ニナツテ、ドウモ我ミトシテハ

諒解ガ十分出來ナイ、況ヤ此短イ期日デ此

ノ案ヲ審査スルコトモナカク、困難ノヤウ

ナ氣ガ致シマスノデ、サウ云フ點ニ對シテ

農相ノ御意見ヲ伺ツテ見タイ、ソレカラ今ノ

農村ノ經濟ノ問題ニ對シテハ、朝鮮ハ朝鮮

デ以テ小作人ノ經濟指導ヲ特ニヤツテ居ラ

レル、ダカラ私共ハ、先刻カラ度々問題ニ

出ルガ、朝鮮人ニ粟ヲ止メテ米ヲ喰ハセル

ヤウニシロト云フガ、今ハドウシテモ朝鮮

ハ米度ガ低イノデス、内地デモ米ヲ賣ツテ

安イ粟ヲ喰ハセテ其米デ以テ資金ヲ作ツテ

ヤラナクチャ仕様ガナイヂヤナイカ、一方

カラ言ハセレバ、我ミハサウ云ヘバ同ジコ

トヲ上流社會ニ言ヒタクナル、詰リ今日ハ、

中以上ノ所ハ麵麩ヲ喰フ、是モ麵麩ヲ止メ

テ米ヲ喰ヘバ餘程違フ、ダカラサウ云フモ

ノハ枝葉ノ問題ダト思フ、朝鮮デモ文化ガ

進ンデ來レバ、何ト云ツテモ小作人ガ粟ヲ

喰ハズニ米ヲ喰フヤウニナル、ダカラ根本

策ニ對シテ私ハ、農林大臣ハ最モ良イ立場

ニ置イテアルト思フカラシテ、特ニ其點ヲ

○國務大臣(後藤文夫君) 福原男爵ガ懇々

ト御述ベニナリマシタ御見解ハ大體ニ於テ

私至極御同感ニ考ヘルノデアリマス、唯

最初ニ結論ヲ申シマス、只今福原男爵ノ

御述ベニナリマシタヤウナ農村ノ根本的ノ

對策ハ、是ハ銳意考究シ又實現ヲシテ參ラ

ナケレバナラヌコトト私共ハ固ク信ジテ居

リマス、政府ニ於キマシテモ一昨年以來多

少ノ努力ヲ其方面ニ試ミテ居ルノデアリマ

スルケレドモ、ナカク是ハ一朝一夕ニハ

參リ難イノデアリマシテ、從テ色々他ノ方策

ニ依ツテ農村ノ經濟狀態ガ緩和サレテ、米ガ

サウ高クナクトモ農村ハ困ラナイト云フヤ

ウナ事情ニ至リマスレバ、今回ノ米穀問題

ハ自ラ又光景ヲ一變シテ參ルノデアラウト

思ヒマスルケレドモ、其御話ノ事柄ハ、出

來ルダケ努力ハスルノデ、ソレハ決シテ之

ヲ高閣ニ東ネテ置イテ、唯ヤル積リダト云

フコトデハイカヌノデ、是非共ソレハ著々

實行シテ參ラナケレバナラヌト思ヒマス、

唯其方策ヲ段々實行シテ參リマスコトト、

今日ノ米ノ増産過剰ノ狀況、米價ノ動モスレ

バ壓迫サレル事情ト云フヤウナモノニ對シ

テ行ク處置ハ直グ引換ヘニナラナイノデア

リマシテ、此方ハ矢張り此方デ處置ヲ致シ

改善サレル處置ヲ致シテ參リマシテ、其處

置ガ出來テ米價問題ハソレ程農村ニ取ツテ

痛切ナ問題ニ考ヘナクトモ宜イヤウナ時ガ

參リマスレバ、自カラ問題ハ變化シテ參ル

ト思ヒマスルケレドモ、唯農村ノ自力更生ハ

私共モ至極御同感ニ考ヘマスコトデ、出來ル

限リ之ヲ進メテ居リマス、併シ農村負擔ノ

問題デアリマス、又米價其他ノ農産物

ノ價格ト云フ問題ハ、單純ニ農村ノ自力更

生ト云フ努力ダケデハ如何トモ難イ色々

大キナ原因ニ左右サレル點ガアリマスノ

デ、從テ國家ノ政策ガ之ニ或程度關與シテ

參ルト云フコトハ先ヅ必要ノナクナルト云

フ時期ハ今ノ所豫見シ難イト考ヘルノデア

リマシテ、御話ノ通りノ農村振興ノ各種ノ

根本策、殊ニ農村ノ自力更生ノ努力ヲ基礎

ニシテ更生策ト云フモノニハ是非共力ヲ入

レナケレバナラヌト云フコトト私ハ固ク信

ズルノデアリマス、米穀問題ニ對スル當面

ノ政策竝ニ當分ノ間ノ政策ト云フモノハ、

差當リ矢張り米ノ問題ヲ中心ニシテ考ヘテ

參ル外ハナイヤウニ思フテ居ルノデアリマ

ス

○男爵福原俊丸君 實ハ斯ウ云フ農村ノ自

力更生ノ問題デモウ少シ伺ヒタイデスケレ

トハ却ツテ此際宜シクナイト思ヒマスカラ

止メマスガ、唯私ハ、農相ハ特ニ考ヘテ居

ラレマセウガ、政府全體トシテドウモマダ

農相ノ考ヘテ居ラレル程考ヘテ居ラレヌヤ

ウニ思フ、ダカラ臨時議會ヲ開クト云フコ

トニ付テモ、開カレル決心ガアルノカナイ

ノカ、上山君ハ開カレルモノト思フト言ハ

レルケレドモ、我ミガ大體考ヘルト、マア

開カレルモノヂヤナイガラウ、結局有耶無

耶ニナリハセスカト思ヒマスガ、臨時議會

ノ問題ハ別トシテ、序ニ御尋イタシタイノ

ハ、今政府デ買上ゲヤウト云フ米ヲ貯藏スル

倉庫ノ問題デアリマス、倉庫ハ第一回ノ時

ニ委員カラ質問ガアツテ、大體宜シイト

云フ御話デアリマシタケレドモ、丁度

今回ノ豐作デ急ニ米ヲ澤山買ハレタ、

ソレ迄倉庫ト云フモノハ、實ハ非常ニ

空イテ居タ、サウシテ振ハナカッタ、ソコデ

倉庫ガ空イテ居ッタカラシテ間ニ合ツタ、併

シマダソレヂヤ足ラナイノデ、假ニ或程度

劣等ナ倉庫ガアル、ソレナドハ此梅雨ニナッ

テ困ルカラシテ、ソレマデニハヤリ變ヘル

ト云フヤウナ約束デ入レテ居ラレル所モア

ル、又三井デスカ、三菱デスカ、兎ニ角犧

牲的ニ倉庫ヲ作ラセテサウシテソレニ米ヲ

入レルヤウニシテアル、デスカ、今後買

ハレル米ハ殆ド倉庫ノ問題ガ一番厄介チヤ
ナイカト思ヒマス、デサウ云フ問題ニ對シ
テ確信ガアツテ言ハレテ居ルノカ、一體言ヘ
バ、先程此案ヲ此際通スコトニ對シテノ御
説明ノ詰リ其論法ヲ行ケバ、矢張り政府ハ
チヤント倉庫ヲ建テ、サウシテチヤント買
フダケノモノヲ入レラレル倉庫ヲ置イテ置
カレナケレバ、斯ウ云フ風ニ買フト云フコ
トハイケヌト云フコトニナリ、民間ノモノ
ヲ買フト云ツテモ、何處ヘ入レルカ、倉庫ハ
ナイヂヤナイカ、サウスト金ガ積ンデアツ
テモ買ハヌト云フコトニナル、ソレデ私ハ、
倉庫ノ問題ハ實際政府委員ノ御説明ニアツ

○國務大臣(後藤文夫君) 簡單ニ御答イタ
シテ、後ハ政府委員カラ……、倉庫ハ相當
立派ナ倉庫、斯ウ云フ計畫通リノコトガ總
テ實行サレルト云フ期待ガ十分アルカドウ
カト云フト、十分ニハゴザイマセヌ、併シ
ナガラ若シサウ云フ事態ガ起キタトシマシ
テモ、當面ノ間ニ合セル處置ハ一通リ出來
ル積リデアリマス、從テ其結果、長クズツト
持ツテ行カナケレバナラヌコトニナリマス
レバ、ドウシテモ倉庫問題ガ續イテ起リマ

スノデ、特別會計ノ豫算ニ倉庫ノ問題其他
色ミノ豫算ト云フモノヲ計上シテ行カナケ
レバナラヌト云フコトニナリマスガ、併シ
ソレハ來議會ヲ待チマシテモ差支ナイ、當
面ニハ間ニ合ハスコトハ出來ルダラウト私
ノ經驗ナドカラ見マシテモ考ヘテ居リマス
譯デアリマス、尙ホ政府委員カラ御答イタ
シマス

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御話ノ倉庫
問題ハ大臣カラモ申上ゲマシタヤウニ相當
多量ノ米ヲ買フト云フナラバ、今ソレダケ
ノ收容力ハ空イテハ居ラヌト思ヒマス、併
シ只今デモ内地ニ於キマシテモ、正確ナ數字
ハ有ツテ居リマセヌガ、政府所有米ヲ抜イテ
政府ノ指定倉庫ダケデ三百萬石カラ四百萬
石ノ收容力ハアルト思ヒマス、ソレデ買入
ヲ致シマシテモ、貨車ノ運送ノ能力ニモ程
度ガゴザイマセヌシ、船ノ便ニモ程度ガゴザ
イマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、尙
ホ荷役ヲ致シマス人夫ニモ程度ガゴザイマ
スカラ、其程度ノ申込ニ應ジテ收容イタシ
テ居リマスル中ニ、若モドン／＼申込ガア
ルヤウナ場合ニハ他ニ急設ノ倉庫ヲ造ルト
云フコトモ今度ノ經驗ニ依リマス、左シ
テ困難デハナイヤウデアリマス、唯實行ス
ルト云フコトガ非常ニ遅レマヌレバ手遅レ

ニナリマスガ、モウ非常ニ供給過剩ト云フ
豫想ガ立ツテ申込ガ多イ狀況ニナリマスレ
バ、手當ヲスルコトハ相當出來ルト思ヒマ
スカラ、是ハサウ樂觀ヲ致シテ居ル譯デハ
ゴザイマセヌガ、間ニ合ハセル程度迄ハ出
來ルト、斯ウ確信イタシテ居リマス

○長岡隆一郎君 農林大臣ニ伺ヒタイノデ
ゴザイマスガ、一昨日來米ノ新規用途或ハ
用途轉換ト申シマスカ、此問題ニ付テ色ミ
御説明ガアリマシテ、私モ米ノ新用途ガ開
拓サレレバ非常ニ結構ダと思ツテ、多少ノ期
待ヲ有ツテ居ッタノデゴザイマスガ、併シ御
説明ヲ根據トシテ調べテ見ルト、ドウモ甚
ダ悲觀セザルヲ得ナイ、第一ハ「アルコール」
ノ釀造ト云フコトヲ御述べニナツタ、是ハ事
實ハ理化學研究所ノ某首腦者ニ聽イテ見マ
シタ、所ガ是ハ出來ル、確カニ出來ル、米
カラ「アルコール」ヲ造ルコトハ容易デアル、
併シ要スルニ價格ノ問題ダ、今「アルコー
ル」ヲ造ルノハ臺灣デ燃料ヲ焚イテ居ル甘
蔗ノ搾リ糟カラデモ「アルコール」ハ出來ル
ノデアアル、モット／＼安イ原料カラ幾ラデモ
「アルコール」ガ出來ルノデアツテ、米ノ釀造
ニ依ツテ「アルコール」ガ出來ル、出來ルガ米
ノ如キ非常ニ高イ穀物ヲ原料トシテ「アル
コール」ヲ造ルト云フコトハ、是ハ實ニ絹ガ

餘ルカラト云ツテ絹ヲ襪ノ代リ機械ノ油
ヲ拭イタラ宜カラウト云フヤウナモノデ、
學者ノ「ラヴオラトリ」ノ研究トシテハ意
味ガアルガ、實際經濟上ノ問題トシテハ滑
稽ナ位ノモノデアルト云フ話デアアル、其外
或ハ澱粉ヲ造ルトカ、餡ヲ造ルトカ、菓子
ヲ造ルトカ、或ハ清涼飲料トスルトカ、麵
類ヲ造ルトカ色ミノ御説明ガアリ、一應ハ
御尤モト承ツテ居ッタデアリマスガ、是等
ノ他ノ安イ原料デ以テ出來ルモノデアツテ、
米ノ如キ高イ穀類ヲ潰シテ造ルトシテモ、
是ハ士族ノ商法デ殆ド經濟的ノ問題トシテ
ハ探ルニ足ラヌト思フ、ノミナラズ假令出
來テモ麵類デアルトカ、菓子デアルトカ、
餡デアルトカ、或ハ澱粉デアルトカ云フモ
ノハ、極メテ少量デアツテ今推積シテ居ル米
ノ處分方法トシテハ計算ニ入ル程ノ數ニ上
ラナイ、ソコデ今度豫算ニ八萬圓バカリ御
取りニナツテ米ノ新規用途ヲ研究ニナルト
云フノデアリマスガ、果シテ其經濟的ニ米ノ
新規用途ヲ開拓シ得ルト云フ御確信ガアツ
テオヤリニナツテ居ルモノデアアルカ、或ハ皮
肉ニ申セバ唯名義ダケ米ノ新規用途ヲ開拓
スルト云フコトデ、オヤリニナツテ居ルノカ、
多少疑ヒヲ挾マザルヲ得ナイヤウナ氣ガス
ルノデアリマスガ、果シテ此「アルコール」

トカ、其他菓子、飴等ノコトニ依ツテ、米ノ新用途ヲ開拓、用途轉換ト云フ看板程ノ開拓ガ出來ル御確信ガアルノデアリマセウカ、伺ツテ置キタイノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 先達テモ御説明

申上ゲタカト思ヒマスガ、政府ノ考ヘテ居リマス新用途試驗、新用途ノ開拓ト云フコトニ依ツテ、我國ノ生産米ガ其方面ニ經濟的ニ用ヒラレル途ガ發見サレルコトガイツ、今一ツハ政府ノ有ツテ居ル米ノ相當ノ數量ハ政府ハ持チ續ケテ宜シイト考ヘルノデアリマスケレドモ、其殘餘ノ部分ハ政府ガ長ク之ヲ持つト云フコトト比較シテ見テ、新用途ノ方ニ處分スル方ガ經濟的ニモ利益デアルト云フヤウナ場合ニ、處分スルノ方法ヲ發見イタシタイ、斯ウ云フヤウナ二通りノ目的カラ新規利用ノ試驗竝ニ、新規用途ノ開拓ノ爲ニ、政府米ヲ處分スル途ヲ開イテ戴カウトシテ居ルノデアリマス、御話ノ如ク米ヲ原料トシテノ用法ハ、米ヲ飯米トシテ消費スルヨリモ、ヨリ高價ニ又ハソレト等シイ位ノ値段段デ、米ヲ原料トシテ拵ヘルノデ、可ナリ多量ニ消費サレル米ノ用途ト云フモノハ、只今ノ所此見當ハ付イテ居ラマノデアリマス、從テ所謂米ノ供給ガ今日多イト云フ狀況ニ對シ

テ、此供給ヲ救ヒ上ゲル、米ノ消費ヲ一般的ニ促進スル、米ノ値段ヲ安クシテ促進スルト云フコトデナク、米ノ値段ヲサウ變化サセルコトナク、或ハ影響サセルコトナクシテ、或ハ米ノ値段ヲ安クスルヤウナ、値段ノ下ガルコトヲ防グコトノ出來ルヤウニ一方ニ消費ガ促進サレルト云フヤウナ用途ノ發見ハ、可ナリ困難ナコトト思フノデアリマス、併ナガラ是迄實ハ餘リ研究ヲ殆ドサレテ居リマセヌ、米ハ飯米トシテ使フコトガ一番ノ方法ナリトシテ前提サレテ居リマス、或ハ酒造米、酒ニ潰スカ、飯米トシテ使フカト云フコトニ殆ド米ハ限ラレテ居リマス、幸ヒニ政府米ヲ少量デアリマスケレドモ、利用シテ試驗研究スル、可ナリ高價ナ原料ヲ試驗研究ノ材料ニ供スルノデアリマス、經濟的新用途ト云フモノヲ發見スルコトガ出來ルノデハナイカト云フ希望ヲ懷イテ居ルト云フ譯デアリマス、是迄研究ヲ専門家トノ協議會デ致シタ所ニ依リマシテモ、御話ノ如ク「アルコール」ナドハ可成リ米ヲ原料トシテ用キルナラバ現在ノ「アルコール」ノ市價ヲ以テスレバ餘程安イ代價デ出來ルト云フヤウナ計算ガ出テ參リマス、或ハ味噌、醬油ノ原料ト云フヤウナコトニ考ヘテ見マスト大分高イ値段段デモ引

合フト云フヤウナ話モアリマス、マダ十分ナ研究ナリ實驗ナリガ出來テ居ル譯デハアリマセヌガ……、更ニ之ヲ澱粉、高級ノ澱粉トスルト云フヤウナコトニナリマスト、一層原料代價ガ高價ニ見積ラレルト云フヤウナ話モアルノデアリマス、是等ノ點ハ御話ノ如ク未知數デアリマス、未知數デアリマスガ政府米ノ處分ノ方途トシテハ、或ハ數量ノ比較的經濟的ニ消化ノ出來ル方法ガ發見サレヤセヌカト云フ期待ヲ持つテ居リマス、一般ニ此米ノ消費ヲ増進スルト云フ新用途ノ開拓ト云フ方面ニハマダ十分ナ見當ハ今日付イテ云リマセスケレドモ、是迄殆ド研究ノ無イコトデアリマスカラ、其研究ニ於テ何等カノ途ヲ發見スルコトガ出來ハセヌカ、専門家ノ側デハ可ナリ興味ヲ以テ研究モシテ見ヤウト云フヤウナ様子モアルノデアリマス、サウ云フ希望ヲ繋ゲテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス

○長岡隆一郎君 御説明ヲ承リマスト始

私ノ杞憂ヲ裏書シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、困難デアアルガ多少ノ望ヲ囑シテ居ルト斯ウ仰シヤルガ、ソレハ困難ニ非ズシテ實ハ不可能ノ事デアアル、列ベラレタ新規用途ノモノヲ見マスト、何レモ米以下ノ非常ニ安イ、穀類其他ノ物カラ出來ルモノ

デアリマス、是ハ専門家ガ興味ヲ以テ研究所デ御研究ニナルト云フコトハ是ハ宜シウゴザンセウ、併ナガラ之ニ依ツテ手品使ヒノヤウニ何等カノ解決案ガ出テ來ルモノト思ハレナイ、唯一時ノ氣休メトシカ伺ハレナイノデゴザイマス、然ラバ海外輸出ト云フコトモ御述ベニナリマシタノデ、私ハ秘密ト云フコトヲ知リナガラ伺ツタノデアリマスガ、是ハ秘密ト云フコトデアリマスカラ只今ハ申上ゲマセヌガ、要スルニ數量ト云ヒ、價格ト云ヒ殆ド前途ニ何等ノ期待ヲ持つコトガ出來ナイ、結局此處デ問題ニナルノハ昨日モ御話ト思フノデアリマス、是ハ私ハ表面カラ見ナキヤイカヌト思フノデ、實ハ濁酒製造ノ最モ盛ンナノハ、密造ノ盛ンナノハ秋田縣、次イデハ高知縣ダト思フノデアリマス、秋田縣ノ私ハ隨分山村迄入ッテ調べテ見マシタ、所ガ彼等ニ會ッテ聞イテ見ルト、是ハ惡事ヲ爲シテ居ルト云フ觀念ヲ持つテ居ラナイノデス農民ハ……、人ヲ殺セバ罰セラレル、人ノ物ヲ盜メバ罰セラレル、是ハ刑法デ規定シテアルト云フダケデナシニ、是ハ國法上禁ジテアルト云フコトダケデナシニ道德的ニ惡イコトダト考ヘテ居リマスケレドモ、濁酒ヲ造ルト云フコトハ、彼等ハ稅

法ノ關係 國家收入ノ關係ト云フコト迄ハ知
識ガ無クシテ、自分デ醬油モ造リ得ルノヲ、
味噌ヲ造リ得ルノヲ、何故自分デ飲ム酒ヲ
造ツテイケナイノダラウカ、酒屋ヂヤナイ
カラ餘所ニ賣ルト云フコトハ惡イダラウケ
レドモ、昔カラ自分ノ所デ飲ム酒ヲ自分デ
造ルト云フコトガ何故惡イノダラウカト云
フコトデ、刑辟ニ觸レルト云フコトヲ寧ロ
不思議ニ思ツテ居ル、ソレデ實際ノ狀況ヲ見
マスルト云フト、非常ナ過大ナ罰金ヲ納メ
ルコトガ出來ヌカラ、檢舉サレテ者ハ一家
デ以テ働キノ無イ老人トカ云フヤウナ者
ヲ、其罰金ニ代ヘタ拘留刑ニ服サセテ居ル
ノデアリマス、殆ド一家ノ犠牲トナツテ監
獄ニ、……刑務所ニ行クト云フヤウナ者ニ
ナツテ居ル、是ハ私ハ餘程考フベキ問題ト
思ツテ居リマシテ、昨日個人トシテハ藏相
モ、亦農相モ好意ヲ以テ考慮ヲスルト云フ
コトデ一面非常ニ喜ンダノデアリマスルケ
レドモ、他方カラ見ルト云フト萬一是ガ實
現サレテ自家用濁酒製造ト云フコトガ許サ
ルト云フコトニナリマス、一面國民ノ風
紀上、或ハ國民ノ保健衛生上、更ニ憂慮ス
ベキコトガ出來ヤシナイカ、清酒ノ販賣高
ガ減ルトカ云フヤウナ問題ヨリモ、趣旨ハ
無論ソコニハナイノデアリマセウケレド

モ、何トナク國家ガ飲酒ト云フコトヲ獎勵
スルト云フヤウナ微妙ナ影響ヲ民衆ニ與ヘ
ヤシナイカ、酒ノ如キハ、出來ルナラバ全
然之ヲ減ラシテ、出來ルナラバ「ドライ」ニ爲
スト云フコトガ望マシキコトデアリマス、
又近來自力更生ノ實ヲ擧ゲタト云フヤウナ
村ニハ、五箇年間禁酒スルト云フヤウニ、
酒ヲ農村カラ驅逐スルコトニ依ツテ農村ノ
更生ヲ圖ツタト云フ所モアル、一面カラ見レ
バ他ニ娛樂ノ無イ農民カラ酒ヲ奪フト云フ
コトハ考ヘモノデアリマスガ、濁酒ヲ許ス
ト云フコトニ依ツテ……自家用濁酒ヲ醸造
スルト云フコトヲ許スト云フコトニ依ツテ、
何トナク國民ニ飲酒ヲ國家ガ獎勵シテ居ル
ノダト云フヤウナ、非常ニ緩ンダ氣持ヲ起
サシテ、米ノ問題ヨリモ精神的ニ、國民ノ
風紀上憂フベキ大キナ現象ガ現ハレテ來ヤ
シナイカト云フ心配モアルノデスカラ、將
來稅法ノ關係カラ濁酒ノ製造ヲ許スカ許サ
ナイカト云フコトハ、是ハ別問題ト致シマ
シテ、是ハ農林大臣トシテハ御答ガ出來マ
スマイガ、併ナガラ其問題ハ別トシテ、今
ノ利害輕重ヲ考ヘテ見テ、濁酒ノ製造ヲ許
スト云フコトハ理論的ニ宜イモノデゴザイ
マセウカ、惡イモノデゴザイマセウカ、後
藤農相トシテノ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 御話ノ如ク是ハ
稅法ノ關係カラバカリハ考ヘラレマセヌ、
又米ノ消費ト云フ點カラノミモ考ヘラレマ
セヌ、國民ノ風紀衛生ト云フ點モ考慮ニ入レ
ナケレバナラヌコトダラウト思ヒマス、ガ今
日ノ農村ノ實狀ニ於テ、酒ニ關スル負擔ガ可
ナリ重イ、色シナ負債等ノ大キナ原因ヲ成シ
テ居ルト云フコトモアリ、此酒ヲ止メル、酒ヲ
節酒スルト云フコトニ依ツテ之ヲ救済スルコト
ガ出來得レバ、一番宜イ方法デアラウト思
ヒマス、併ナガラ酒ヲ飲ムト云フコトガ絶
對ニ禁止サレ得ナイモノデアルト致シマス
レバ、濁酒製造ト云フヤウナ、如何ニモ今日
ノ農村ノ實狀カラ見マシテ、在來ノ風俗習
慣ヲ變化サセテ、稅法ノ爲メノ要求カラ今
日ノヤウナ制度ヲ見テ居リマスコトヲ、其
儘デ宜シイカドウカト云フヤウナコトモ、隨
分研究ノ値打ガアルト思フノデアリマス、
是ハ研究ノ價值ノアル問題デアルト云フ風
ニ考ヘテ居リマス、今、結論ヲ出シテ居ル
譯デハナイノデアリマス

○長岡隆一 郎君 意見ノ相違ニ互ルコトハ
質問ヲ繰返シマセヌガ、私ハ要スルニ米ノ
用途轉換、新規用途ノ開拓ト云フコトハ、
遠キ將來ハイザ知ラズ、當面ノ問題トシテ
ハ殆ド考慮ニ入レ得ザル砂上ノ樓閣ニ過ギ
ナイト云フ感ヲ持タザルヲ得ナカッタノデ
ゴザイマス、次ニ一昨日來ノ質問應答ヲ伺ッ
テ居リマスルト云フト、代作獎勵ト云フコ
トヲ頻リニ高調サレテ居ル、殊ニ外地ニ於
テハ米ニ代フルニ、朝鮮ニ於テハ棉作ヲ獎勵
シヤウ、臺灣ニ於テハ甘蔗、麻、蔬菜等ヲ
獎勵シテ、米田ヲ減ジヤウト云ヤウナ御說
ガアッタノデ、私ハ是ハ出來レバ結構ナコト
ト思ウテ一ノ期待ヲ有ツテ居ッタノデアリマ
ス、ガ是モ數々調ベテ見マスト矢張り一ノ
空想ニ過ギナイト云フ風ナ結論ニ到達シタ
ノデアリマス、之ニ付テ若シ私ノ蒙ヲ啓イ
テ戴ケレバ甚ダ仕合セデアリマスガ、是ハ
拓務大臣デナクテモ却ツテ政府委員ノ方ノ
實際ノ狀況ヲ御存ジデアリ、且ツ事務ニ明
ルイ方カラノ御答辯ノ方ガ結構デゴザイマ
ス、兔モ角モ代用作ノ獎勵ガ可能デアリ
ヤ、即チ此農業ヲ致ス者ハ誰デモ收益ノ多
イモノヲ作ルト云フノガ是ガ當然ノ話デ、
私ノ何ハ誤ツテ居ルカ知レマセヌガ、現在朝
鮮ニ於ケル米田ト云フモノガ百六十七萬町
歩アル、而シテ本年ハ千八百萬石米ガ出來
タガ、平年ニ於テハ千六百萬石アル、是
ガ其果シテ耕地ニ於テモ、生産高ニ於テ
モ、減少スル見込ガアリヤ否ヤ、是ハアリ
マセヌ、私ノ結論ヲ申上ゲレバ……朝鮮總

督府ノ基本調査ニ依リマスと云フト、マダ
 マダ新規ニ米田ヲ開ク餘地ガ非常ニ多イ、
 土地ノ開田ニ依ッテ得ルモノガ、三十三萬町
 歩、地目變換ニ依ッテ新ニ出來ルモノガ十四萬
 五千町歩、開墾ニ依ッテ出來ルモノガ一萬六千
 町歩、干拓即チ開墾ニ依ッテ米田ヲ作り得ル
 モノガ三十五萬町歩其他ガ八萬五千町歩
 デ、合セテ六十五萬町歩ト云フモノハ新規
 開墾ノ餘地ガアル、從來ノ計畫ニ依ルト、
 其中、三十五萬町歩ダケ開拓スル積リデ
 アツタガ、今實施計畫ノアルモノハ十五萬九
 千町歩デ、アト四十九萬町歩ハマダ未計畫
 ニナッテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスガ、
 而シテ拓務大臣ノ御説明ニ依レバ、既ニ工
 事ニ著手シタモノハ致方ガナイガ、將來ノ
 工事ニ著手スルモノハ許可ヲ見合セル、許
 可ヲ見合セルト云ヒマシテモ、是ハ補助金
 ヲ與ヘル新規ノ土地改良ダケデアツテ、承ル
 所ニ依ルト、土地ノ改善ニハ二割、地目變
 換ニハ二割五分、開墾ニハ三割、干拓ニハ
 五割ト云フ補助ヲ與ヘラレテ居ルサウデア
 リマスガ、今井田サンノ御説明ニ依ルト云
 フト、米ノ値ガ上リサヘスレバ、補助ヲ與
 ヘズシテモ自力ヲ新ニ土地ヲ開クト云フコ
 トノ出來ルモノモアル、斯ウ云フコトデア
 リマスルト云フト、米價ガ上リサヘシマス

レバ、朝鮮人ガ補助ヲ得ズシテ、新ニ米田
 ヲ作ルト云フコトハ是ハ御差止メニナル譯
 ニハ行キマスマイ、如何ニ朝鮮總督府デ御
 獎勵ニナラヌデモ、又サウ云フコトハスベ
 キコトデモアリマスマイ、若シ新ニ土地ガ
 殖エマセヌデモ、耕地ガ殖エマセヌデモ、
 朝鮮ニ於テモ矢張り農事ノ改良、肥料ノ改
 善等ニ依ッテ收穫ハ増スモノト見ラレル、現
 ニ内地ノ半分シカ同ジ一反歩デモ生産高ガ
 ナイ、半分シカナイト云フ狀況デアレバ、
 土地ヲ縱シ耕地ガ殖エナクテモ農業ノ發達
 ニ依ッテ生産高ハ増スモノト見ラレル、承ル
 所ニ依リマスと云フト、單ニ種粳ヲ改良シ
 タダケテモ全鮮ニ於テ三百萬石增收ガ出來
 ルト云フ御見込ダサウデアリマス、然ラバ
 此棉ノ作付ト云フモノガ米ヨリモ大イニ
 利益ガアルノカト伺ヒマスと云フト、是モ
 今井田サンノ御説明ニ依リマスと云フト、
 一反當リハ棉ハ十圓デアアル、米ハ十八圓乃
 至二十圓デアアル、殆ド米ノ方ガ倍收穫ガア
 ルト云フコトデアリマスレバ、農民トシテ
 ハ如何ニ御獎勵ニナッテモ此倍モ收入ノア
 ル米田ヲ捨テ、棉ヲ作ルト云フ氣ニハ恐ラ
 クナリマスマイ、是ハ恰モ水ヲ高キニ導カ
 ウトスルヤウナモノデアアル、唯私ガ考ヘマ
 シタノハ是ハ甚ダ迂濶ナ考ヘデアリマシタ

ガ、水田ノ作業ノ方ガ往々ニシテ苦シイ、
 棉ノ作業ノ方ガ樂デアアルト云フ考ヲ實ハ私
 ハ持ッテ居ツタ、所ガ此頃朝鮮人ニ聽イテ見
 マスルト云フト、是ハ甚ダ私意外ダツタ、水
 田作業ハサウ苦シクナイ、殊ニ除草ノ如キ
 ハ畑作デアアルト數回ヤラナケレバナラヌガ、
 水田作業デアアルト、一回カ二回デ宜イ、作
 業ガ樂デアツテ金ガ儲カルカラ米ヲ作ラシ
 テ貰フノガ一番宜イト云フコトヲ申シテ居
 ル、斯ウナリマスと云フト、拓務大臣ノ仰
 セニナリマシタ今ノ米田ヲ棉作ニ變ヘルト
 云フコトハ唯一ツノ氣休メノ御話デアツテ、
 不可能ノコトヂヤナイカ、是モ今井田サン
 ノ御説明ノ中ニアリマシタガ、棉作ハ現在
 二十萬町歩アル、今後十年間ニ十五萬町歩
 増ス見込デアアル、斯ウ云フコトデアリマシ
 タカラ、私ハ十五萬町歩ト云フモノハ現在
 ノ水田ガソレダケ減ルノカト思ッテ居ツタ、
 百六十七萬町歩ノ内カラ十五萬町歩棉作ニ
 變ルモノガアルト思ッテ居リマシタガ、實ハ
 左ニアラズシテ、水田カラ棉作ニ變ルノハ
 先ヅ一割位ダラウ、斯ウ云フコトデアリマ
 スカラ、十五萬町歩ノ内十年間ニ僅ニ一萬
 五千町歩米田ガ減ルダケダ、之ヲ百六十七
 萬町歩ニ較ベマスルト云フト、實ニ九牛ノ
 一毛ト申スカ、大海ノ一滴ト申スカ、計算ニ

入ラス數ニナッテ參ル、デ是ガ唯斯ウ云フコ
 トモアルト云フ一ツノ例ニ御擧ゲニナル、
 是ハ私ハ構ヒマセヌ、ガ併ナガラ此近キ將
 來ニ棉作ノ獎勵ニ依ッテ米田ヲ減ラスト云
 フヤウナコトハ我メノ計算ニ入ル數ニナル
 マイト思フ、勿論此政府ガ臺灣デ從來ヤラ
 レタヤウニデス、外國カラ砂糖ヲ買ヘバ非
 常ニ安ク買ヘルノニ、十割近イ稅ヲ設ケテ
 國民ニ高イ砂糖ヲ舐メサセテ居ル、是モ致
 方ガアリマスマイ、サウ云フ非常ナ犠牲ヲ
 拂ヘバ別デアリマスケレドモ、棉ニ對シテ
 斯カル高率ノ關稅ヲ課スルナドト云フコト
 ハ諸般ノ狀況ヲ考ヘテ出來ナイ、消費者ノ
 利害關係ノミナラズ、紡績會社等ノ關係ヲ
 考ヘテモ出來ナイ、結局此棉作ヲ獎勵スル
 トスレバナカク、多額ノ獎勵金ヲ與ヘナケ
 レバナラス、即チ米ヲ作ルト同ジ位ノ收益
 アリト云フダケノ差額ト云フモノヲ補助シ
 テヤラナケレバ恐ラクハ作ル者ハ無カラウ
 ト思フ、マア……尤モ今棉ガ安イ、或ハ朝
 鮮デハ農法ガ進歩セズシテ、一段歩アタリ
 ノ棉ノ收穫ガ少イカラ、之ヲ農法ヲ改良シ
 テ多收穫アルヤウニスルト云フヤウナコト
 モ考ヘラレマスケレドモ、併ナガラ一方米
 ノ値段ガ上ガル、サウシテ米モ段々一段歩
 アタリノ收穫ガ増スト云フト、棉作ニ依ッテ

米ヨリモ利益ノアル收穫が出来、農民ノ懐
ロニ入ルト云フコトハ考ヘラレナイ、結局
是ハ一ツノ……斯ウ云フコトモアル、斯ウ
云フ方針デアルト云フ引例トシテ御出シニ
ナルコトハ差支ナイノデアリマスケレド
モ、十年間ニ一萬五千町歩ダケト云フヤウ
ナコトガデス、年々増殖スル朝鮮ノ米ヲ押
ヘルト云フ力ガアルモノトハ私共ニハ信ジ
ラレナイノデゴザイマス、今伺ヒマシタ以
外ニ棉作ニ付テ確ナ御成算ガアルナラバ、
今井田サンカラデモ農務局長カラデモ御答
辯ヲ伺ヘレバ結構デアリマス

○政府委員(今井田清徳君) 大體色ミナ數

字ヲ擧ゲテ御話ノアリマシタコトハ私共モ
同様ニ存ジテ居リマス、サウシテ朝鮮ニ於
キマシテハ稲作ノ出來ル所ハ米作ヲ致スコ
トガ棉作ヨリモ有利デアルコトモ御話ノ通
リデアリマス、從テ有利ナ作物ヲ止メマシテ、
不利益ナ作物ヲ獎勵スルト云フコトニハ非常
ニ困難ヲ感ズルノデアリマス、ドウシテモ是ハ
有利ナル作物ヲ作ルト同等以上ノ收益ガ農民ノ
懐ロニ入りマセスケレバ、轉換スルト云フ
コトハ困難ナコトモ御説ノ通りデアリマ
ス、從テ今後棉作ヲ獎勵シ、米作ニ代エル
ニ棉作ヲ以テスルト云フコトニ付キマシテ
ハ、此點ニ付キマシテ相當ノ補助助成ヲシナ

ケレバナラスノデアリマス、サウシテ其方
法トシマシテハ直ニ轉換スルトコトニ付キマ
シテハ、其損失ヲ或程度マデ補償シテヤル
ト云フコトガ必要デアアル、又漸次棉作ノ耕
作ノ技術ガ進歩シマスケレバ收穫ガ増加イタ
シマシテ、假ニ現在一反當リ八十斤バカリ
ノ收穫ニナツテ居リマスガ、是ガ百五十斤ナ
リ、二百斤ナリ相當ノ收穫量ガ殖エマスケ
レバ政府ガ補償又ハ補助ヲシマセヌデモ、米
作ヲ作ルヨリモ有利ニナルコトデアリマス
カラ、長イ期間ニハ左様ニ増加スルト云フ
ヤウナコトニナリマスカラ、米作ヲ棉作ニ
轉換スルト云フコトモ不可能デハナイノデ
アリマスガ直ニ是様ナ大收穫ヲ得ルト云フ
コトハ困難デアリマスカラ、大規模ニ稲作
ヲ棉作ニ轉換スルノニハ相當ノ補助ヲ致サ
ナケレバナラスノデアリマス、補助ヲ致サ
ズシテ轉換スルト云フコトハ御話ノ通り非
常ニ困難ナノデアリマス、米穀政策ノ見地
カラ轉換スル必要ガアル、又國策上棉ヲ獎
勵スルトコトガ最モ得策デアルト云フヤウナ
見地カラ考ヘマシテ、ヤラムトスルナラバ、
相當ノ補助ヲ致ス、相當ノ補助ヲ致スト云
フコトニ致シマスケレバ、或程度ノ轉換ハ不
可能デハナイヤウニ存ジテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ現在棉作ノ獎勵ヲ致シテ居リ

マスノハ、米穀對策ノ一ツノ方法トシテ主
トシテヤツテ居ルト云フ意味デハナイノデ
アリマシテ、棉ヲ獎勵スルト云フコトガ當
然農家ノ收入ヲ殖ヤス所以デアアル、又一面
ニ於キマシテハ棉ノ供給上ニ於キマシテ幾
分カデモ裨益ナル所ガアルノデハナイカト云フ
風ナ見地カラ數十年來棉作ノ獎勵ヲ致シ、又
昨年來之ヲ大規模ニヤルコトニ致シ、又本
年ハ更ニモウ少シ補助ヲ致スコトニ致シタ
ノデアリマス、サウシテ御話ノアリマシタ
通り、耕地面積ト致シマシテハ十年間ニ約
十五萬町歩バカリ増加イタスト云フ方針ヲ
執ツタノデアリマス、而モ其中ノドレ位ノ部
分ガ稲作ガ棉作ニ轉換サレルカト云フコト
ニ付キマシテハ、恐ラク一割見當ガ轉換セ
ラレルノデハナイカト云フ豫想ヲ致シテ居
ルノデアリマス、併シ此棉作ヲ獎勵シテ、
先程申上ゲマシタ稲作ヲ棉作ニ轉換スルト
云フコトハ主トシテ米穀政策ノ上カラ出タ
モノデナイノデアリマス、米ノ生産ヲ幾分
デモ減少スルト云フ意味ニ於キマシテ、代
作獎勵ト云フ意味デ計畫ヲ立テマスルナラ
バ、又自ラ別途ノ方法ヲ考ヘナケレバナラ
ヌ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○長岡隆一郎君 時間ニナリマシタガ、チ

ヨット此問題ダケ切リ付テ置キタイト思

ヒマスガ、只今ノ説明ニ依レバ、矢張り私
ノ杞憂ガ裏書サレタヤウナ形ニナルノデア
リマス、私ハ初メカラ棉作ノ獎勵ト云フコ
トニ反對シテ居ルノデモ何デモナイ、今マ
テ不毛ノ土地ヲ開墾スル、或ハ畑ニ棉ヲ植
エルト云フヤウナコトハ、是ハ誰モ異議ノ
ナイコトデ、非常ニ原料ノ不足シテ居ル棉
ガ、朝鮮カラ入ルヤウニナリマスカラ、是
ハ誠ニ結構ナコトデアツテ、此コトヲトヤカ
ウ申シテ居ルノデハ決シテナイノデ、拓務
大臣ガ衆議院ニ於テモ、貴族院ニ於テモ、
棉作ニ依ツテ何カ水田ガ減少スルガ如キ、所
謂代作獎勵ト云フ意味デ高調セラレマシタ
カラ、私ハソレヲ申シテ居ルノデ、只今大
體ニ於テ私ノ數字ヲ御認メニナツテ、將來十
年間ニ増ス棉作十五萬町歩ト云フモノトシ
テ、水田カラ替ツテ來ルモノハ一割位ノ見當
ト云フコトデゴザイマスカラ、結局總督府
ノ御理想通りニ行キマシテモ、百六十七萬
町歩ノ十年間ニ一萬五千町歩減ルト云フ
コトシカ出テ來ナイ、是デハ當局ノ代作獎
勵ト云フコトニハ殆ド意味ヲ爲シマセヌ、
困難ナ所デヤナイ私ハ不可能デアラウト思
フ、此一割、一萬五千町歩殖エルカ殖エナ
イカ、餘程是ハ疑問デアリマス、私ハ實ハ
農業ノ經驗ハアル學問ヤ理屈ハ知りマセヌ

ガ、自分デ手ニ「マメ」ヲ拵ヘテ農業ヲ現ニ

致シテ居ル、併ナガラナカク農業ノ技術

ト云フコトハ素人ノ御考ヘニナルヤウニ簡

單ナモノデアリマセヌ、私ハ果樹蔬菜ニ

付テハ相當ノ自信モアリマスガ、併ナガラ

果樹園藝デモ五箇年位掛ラナケレバ實ハ吞

込メマセヌ、私ハ水田ノ經驗ハ一切ナイデ

アリマスガ、長岡ニ今水田ヲヤレト御命

令ニナツタ所デ、來年カラ水田ノ作業ヲ直グ

覺エテ來ル譯ニハ行カナイ、今マデ水田作

業ニ慣レテ居ッテ、サウシテ而カモ利益ガ此

方ガ多イト云フモノヲ、經驗ノナイ棉作ニ

シロト言ッタ所デ、而カモ利益ノナイ棉作ヲ

ヤレト言ッタ所デ、今井田サンノ御理想通り

ニ十箇年間ニ一萬五千町歩ナカク水田ガ

減ルカドウカ、是スラ私ハ疑ハシク思フノ

デアリマス、縦シ此理想ガ實現サレルトシ

テモ、百六十七萬町歩ノ中ノ僅カ十年間ニ

一萬五千町歩、而カモ一方ニ於テ米作ノ方

ハドシク増加スル傾向ガアルト云フコト

ハ、是ハ御認メニナラズニ居ラレナイと思

フ、然ラバ此朝鮮ニ於ケル産米ヲ減ス爲ニ、

棉作ト云フ代作ヲ獎勵スルト云フ一ツノ看

板ハ是ハ御下ロシニナラニヤ行クマイと思

ヒマスガ、併シ是レ以上ハ意見ノ相違ニナ

リマスカラ申シマセヌ、又引續イテ御尋シ

タイコトモゴザイマスガ……

○委員長(子爵青木信光君) マダ午後ヤリ

マスカラ……ソレデハ休憩ヲシマシテ午後

ハ一時半カラ開會ヲ致シマス

午後零時十一分休憩

午後二時八分開會

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ御質

問ノオアリニナル方ハ此際ニ願ヒマス

○上山滿之進君 長岡君ガ午後ニ續イテ質

問スルト云フコトデゴザイマシタガ、今見

エマセヌカラ、私質問シテモ宜シウゴザイ

マスカ

○委員長(子爵青木信光君) 宜シウゴザイ

マス

○上山滿之進君 昨日農林大臣ハ統制法ノ

威力ガ非常ニ大デアッタ、サウシテ又統制法

ヲ作ッテ半年カ一年ニシカナラナイカラ、今

功罪ヲ論ズルノハマダ早イト云フコトデ、

何カ斯ウ統制法ノ現在ノ制度ガ大體ニ於テ

動カサヌ方ガ宜イノダト云フ風ニ、私共ニ

ハ聞エルヤウナ御答辯ガアリマシタケレド

モ、是ハ財政上ハ別問題ダト云フコトヲ仰

セニナリマシタ、勿論財政ノ上ニ甚シキ煩

ヒヲ後ニ將來ニ貽ス又現在ニ惹起スト云フ

コトガナケレバ是ハ問題ハ輕クナリマスケ

レドモ財政上、非常ニ憂慮ニ堪エナイモノ

ガアリマス、ノミナラズ統制法自體ノ立テ

方ニ於テモ頗ル缺陷ガアリハシナイカト私

ハ思ヒマス、缺陷ガアリマスカ、アリマセ

ヌカト云フコトヲ今御伺シテモ昨日ノ御答

辯ニ對シテ甚ダ變デアルカラ是ハ伺ヒマセ

ヌガ、何ヨリ九百萬石ト云フ米ヲ今背負ヒ

込シテ今年ノ出來秋後ニハ更ニ何百萬石或

ハ何千萬石マダ背負ヒ込ムカモ分ラナイ、

モウ是ダケデモ統制法ノ缺陷ガ何處カニア

ルト云フコトハ明ラカデアルト思フノデア

リマス、是ハサウデアルトカナイトカ云フ

コトヲ只今明言ヲ戴クト云フ風ノ質問ヲス

ルノデアアリマセヌケレドモ私ニハサウ思

ヘルシ、又何人モサウ考ヘルダラウト思フ、

ソレニ付テ一ツ二ツダケ御尋ネ致シタイノ

デアリマスガ、是ハ農林大臣デナクトモ宜

シウゴザイマス、政府委員デ結構デスガ、

本會議ノ議場デチヨット觸レテ置キマシタ

問題デアリマス、生産費ノ調べト云フモノ

ノ取扱ガ穩當デアルカナイカ、妥當デア

カ、ナイカト云フコトヲ申シマシテソレノ

實例ト致シテ昭和七年ノ生産費ハ二十圓六

十八錢トナツテ居ル、八年ノ生産費ハ二十二

圓十七錢トナツテ居ル、凡ソ一圓五十錢ノ開

キガアル、而モ八年ノ方ガ多イ、八年トハ昨

年ノコトデス、昨年ハ非常ニ豐作デアッタ、

豐作デアレバ生産費ハ普通ニ下ガル筈デア

ル、大キイ數字ヲ以テ或數字ヲ割ルノデア

リマスカラドウシテモ生産費ガ下ガル筈ナ

ンデスガ、是ガ其七年ニ比ベテ八年ハ上ガッ

タト云フコトハドウデアラウカ、ソレカラソ

レガー一ツトモウ一ツハ七年ノ生産費調べノ

取扱ニハ二千戸ノ中デ、二千戸ノ生産費ノ調

ベノ中デ確カ是ハ以前ニ聞キマシタト

思ヒマスガ、違ッテ居ラバ御訂正ヲ願ヒタ

インデスガ、確カ十五圓カラ三十圓迄ノ平均

ヲ取ッタ、處ガ八年ハ、十八圓カラ三十三

圓迄取ッタ、是ハドウ云フ譯デアリマセウ

カ、其理由ハ伺ヒマセヌガ、ソレヲチヨッ

ト伺ヒマス、之ヲ伺フ意味ハ總體ニ八年ノ

最低價格ト云フモノガ此爲ニ非常ニ高クナッ

タンデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデア

リマス、尙ホ一歩進ンデ是ハサウデアルト

ハ言ヒマセヌケレドモ總體ニ此八年ノ最低

價格ガ高過ギタノデヤナイカ、高過ギタ結

果買入米ガ非常ニ殖エタノデヤナイカト云

フ風ニモ思ハレマスノデ是ハ私ノ決マッタ

議論デアリマセヌ、サウ云フ風ニモ思ハ

レル、兔モ角モ七年ノ生産費ハ、二十圓六

十八錢、八年ハ、二十二圓十七錢、一圓五

十錢上ガツテ居ル、其上ガツタ年ハ豐年、大

豊年デアル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ七年ノ生産費ハ、十五圓カラ三十圓ヲ平均シタト思ヒマスガ、八年ハ、十八圓カラ三十三圓迄平均シタ、此邊ヲ譯ヘドウ云フ譯デアリマセウカ、政府委員デ宜シウゴザイマスカラドウゾ詳シク御聞カセテ願ヒタイ

○政府委員(荷見安君)

只今御尋ネノ昭和七年ノ公定米價ヲ決定イタシマシタ時ノ基礎ニナツタ生産費ハ十七圓カラ二十圓迄デアリマス、ソレカラ昭和八年ガ十八圓カラ三十三圓迄、是ハ御話ノ通りデアリマス、十五圓デゴザイマセヌデ十七圓デアリマス、ソレカラ今度ソレ何故一圓單價ヲ上ゲタ所ヲ取ツカト云フコトデアリマス、是ハ全ク米穀事情ニ應ジタ生キタ判断ヲ各委員トシテ致シタ譯ナノデアリマスガ、全然理由ノナイ譯デアリマセヌノデ、御承知ノ通り色々御相談モ致シマシテ、此前ノ議會ガ終了イタシマシテカラ、生産費ノ調査項目ノ改正ヲ行ヒマシテ、是ハ最初ニ生産費ノ調査項目ヲ決定イタシマシタノト略、同様ノ組織デ、關係官廳ノ生産費ニ關スル局長或ハ米穀委員ノ方、其他専門ノ各大學ノ主任教授ナドガ全國カラ集テ賞ヒマシテ

モアルシ、項目ニ三點ヲ加ヘルガ宜カラウト云フコトニナリマシテ、其三點ノコトハ詳細ハ申上ゲマセヌガ、租税其他ノ公課ノ中ニ戸數割ヲ加ヘルコト、水利息或ハ病虫害驅除豫防費ト云フヤウナコトニ付テノ部落協議費、又ハ之ニ準ズルモノヲ加ヘルコト、モウ一ツハ米穀検査ノ手数料ヲ加ヘルコトニナリマシタ、是ハ各、相當ノ理由ガゴザイマスノデアリマスガ、其コトハ此處デ申上ゲルノハ非常ニ不適當デゴザイマスカラ申上ゲマセヌガ、其三項目ヲ加ヘマシテ調査ヲ致シマシタ結果ハドウ云フ風ニナルカトシマス、大體前年ノモノガ、ソレニ該當スル經費ガ計上シテゴザイマセヌカラハキリシタコトハ申サレヌノデアリマ

ノデ、ソレ迄取リマシテ平均シテ、今御話ノ二十二圓十七錢ト云フ石當リノ生産費ヲ算出シタ譯ニナツテ居リマス

○上山滿之進君 是ハ役所ノ秘密デアアル、詳シイ数字ハ秘密デアアルト思ヒマス、私ハ米穀委員ノ或人カラ聞キマシタノデスガ、此八年ノ生産費調べハ、二千戸ノ中デ低イノハ十五圓デスカ、十三圓デスカト云フノガアツテ高イノハ三十五圓モ七圓モアリマシタラウ、色々其人ミデ自分ノ使ツタ生産費ノ高ガ違ヒマスケレドモ、其戸數ハ二千戸ノ中デ、上ト下ト、高イ所ト低イ所ノ戸數ハ極ク僅カデアアル、此位ノ程度ハ増シテ宜カラウト思フノデスガ、其處デ三十三圓ト云フノハ非常ニ少イ、ソレカラ十八圓ト云フヨリモト下ガ、十三圓、十六圓、十七圓トゴザイマスガ、私ハ唯聞イタダケデハキリ頭ニアリマセヌケレドモ、カナリ數ガ多イ、百何十戸ト云フノガ矢張りアル、低イ方ノ生産費ヲ出シタ數ノ多イ方ヲ除ケテシマツテ、高イ方ヲ出シタ數ノ少イノヲ入レタト云フ理由ハドウ云フ譯デスカ、是ハ米穀委員ノ人カラ聞キマシタノデ、ドシナ數ト云フコトハ私言フコトハ出來マセヌケレドモ、是ダケハ事實デス、ドウ云フ譯デスカ、サウスルト結局生産費ガ高クナ

ル、斯ウ云フコトニナル

○政府委員(荷見安君) ソレハ只今申上ゲマシタヤウニ、大體最低ト最高ノ範圍ヲ昨年ヨリ調査項目ノ改正ニ依リ増加シタダケヲ略ニ上ニ引上ゲタニ依リマス、ソレカラ御承知ノ通り昭和七年ノ時ノ千三十戸ノ調査ト、今回ノ二千戸ノ調査トハ調査農家ノ選定ガ主要米産地ニ普及イタシマシタ爲、丁度其中心ニナリマス農家ノ數ガ……中心ト申シマス、只今申シマシタヤウナ十八圓程度カラ二十何圓マデノ所ガ非常ニ多數ノ戸數ニ上リマスノデ、大體其外ノ少シ位前後ノ額ヲ加除イタシマシタ所ガ、結果ニ於テハ餘リ動カナイヤウナ非常ニ大キナ總體ニナリマスカラ、數字モ餘リ上ラヌヤウナ結果ニナツテ居リマス、大體私ノ計算イタシマシタ所デハ、真ン中ハ非常ニ山ニナツテ居リマスカラ、此山ノ分ガ大體ヲ支配イタシマスカラ、其兩側ヲ少シ位ツツ餘計ニ取リマシテモ餘リ影響ヲセヌヤウナ結果ニナツテ居リマス、ソレデ只今ノ御質問ニ對シマシテハ、私ハ前回申上ゲマシタヤウナ程度ノ御答辯ヲ申上ゲル外別ニ詳細……

○上山滿之進君 大變立入ッテスルヤウデゴザイマスケレドモ、何ダカコウ先キヘ先ヅ以テ凡ソ此位ノ生産費ヲ見ヤウト云フコ

トノ腹ガ出来テ、ソレニ數字ガ合フヤウニ出来テ居ルヤウナ氣ガスル、是ハ邪推デシタラ悪イデセウケレドモ、風説ハ色ミアリマシテ、閣内デモ或人ハ二十三圓ニシナケレバナラス、或人ハ二十五圓ニシナケレバナラストカ、其發言ガ力ガアッタヤウナコトモ聞キマス、サウ云フコトニ依ッテ農林大臣ハ動カサレルトハ思ヒマセヌガ、何トナク意識的デナクシテモ無意識的ニサウ云フ或勢力ガ支配シタノデハナイカト云フ氣ガ致シマス、是ハ私ノ邪推カモ知レマセヌカラ別ニ質問モ致シマセヌ、若シ惡カッタラ何時デモ取消シマスガ、斯ウ云フ氣ガスルノデアリマス、其他現在ノ米穀ニ付テ、色ミ根本的ニ考ヘナケレバナラス問題ガ澤山アルト思ヒマス、ドウカ十分ニ御考ヘテ願ヒタイト考ヘテ居リマス、サウシテソレヲ審議會ト申シマスカ、ソレニ御掛ケ下サツテ、次ノ議會、臨時議會ナリニ、米穀制度ノ根本策ヲ立テルヤウニ願ヒタイ、今ノ點ダケデナク、外ニモ重大ナ點ガ澤山アルト思ヒマスカラ、ドウゾ御願ヒ致シマス、ソレカラ今一ツチヨット伺ッテ置キマスガ、取引所ガ非常ニ困ルト云フ、此間モ數人私ノ處ヘ話ニ來マシタガ、確カ前年ニ比ベテ取引高ハ三分ノ一ニナッテ居ル、ソレ等ヲ政府

カラ補償シテ貫ハナケレバナラスト云フコトヲ言フテ來タノデスガ、取引高ガ減ッタコトハ確カデアラウト思フノデアリマシタガ、又農林大臣ニ取引所ヲドウナサルカト云フコトヲ伺フノモ筋違ヒデアリマスガ、若シ何か取引所ニ對スル御考ガアレバ、ドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスカト云フコトヲ、チヨット御考ガアレバ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 只今ノ所、取引所ニ付テハ格段ナ考ヲ有ッテ居リマス

○男爵福原俊九君 序ニソレニ關聯シテ御尋ネ致シマス、矢張り我々ノ所デモ取引所ノ、全國米穀取引所ノ取引員組合聯合總會カラ嘆願書ガ出テ居リマスガ、讀ンデ見ルト云フト尤モラシイ、ソレデ御話ヲ聽キマスト云フト、米穀統制調査會ニ於テ、政府案トシテ提出シタ米價公定制案、及ビ米穀管理制案ニ、取引市場方面ニ對スル賠償制度ヲ附隨セラレタイト云フコトデスガ、今度所謂高低、相場ノ最高ト最低ノ間デ自由取引サレルカラシテ、ソレデ先ヅ是ナラバ宜カラウト云フコトデ、其賠償制度ヲ除カレタト云フコトヲ聞キマシタガ、今ノ御話デヤ矢張り自由取引ガ出來ルト云フ御見込デアアル譯デスカ、大體此内容ヲ見ルト、此統計表ナド

付ケテ居ルノヲ見ルト、此統計表ハ嘘デハナイト思フガ、確カニ八年度ノ十一月ニ統制法ガ實施サレテカラト云フモノハ、餘程取引モ減ッテ、前五年間ニ比ベマシテ、六割カラ減ッテ居ルト云フヤウナ状態デ、實際取引所ハ米ノ賣買ガ以前ノヤウニナイ、是ハ併シ斯ウ云フ統制案ガ實施サレタ場合ニハ、已ムヲ得ヌ、犠牲ニナル、國民トシテ犠牲ニ堪ヘニヤナラスト云フ論モ立ツカモ知レマセヌケレドモ、併シ事柄ガ全ク政府ノ方針デ行ッタノデアアルカラシテ、之ニ對シテハ相當ニ賠償ヲ考ヘテヤツテ宜イデヤナイカト思ヒマス、是ハ矢張り取引所カラシテ嘆願ヲ申シテ居ル、此取引所ノ決議シタモノヲ見ルト、ソレニハ所謂岩田博士、美濃部博士、佐佐木博士ノ意見ガ矢張り詳細ニ國家ハ相當ニ賠償ヲ考ヘルベキモノダト云フ意見ガ出テ居リマス、私ハ其法律ノコトハ至ッテ素人デアリマスカラ、讀ンデ見ルト尤モノヤウニ思ヒマスガ、其點ヲモウ少シ大臣ノ御考ヘテ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 先程上山サンノ御尋ネニ對シマシテ、取引所ノ事ニ付テハ私トシテハ只今ノ所別段ノ考ヘヲ有ッテ居リマセヌ、是ハ統制法ノ調査會ニ掛ッタ當時カラ相當論ゼラレタ問題デアッタノデア

リマス、併ナガラ此統制法ハ全然相場ノ動きヲ止メタモノデナクシテ、最高最低ノ範圍内ニ於テハ自由ニ動く趣意ニナッテ居ルノデアル、從ッテ實際ノ米ノ需給ノ事情カラシテ或時ハ最低價格ニクツ付キ、或時ハ最高價格ニクツ付クトカ、或ハ動カナイコトガアルカモ知レナイガ、又中ニハ自由ニ動くト云フ場合モ隨分アリ得ルコトデアリマス、只今ハ丁度動カナイト云フ事實ニ當面シタ譯デアリマス、從ッテ取引所ノ取引高ハ非常ニ減ッテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、ドウモ直ニ今サウ云フ事情ガ起キテ、モウ是ガ決定的ナ事情デ將來ドウ云フコトニナルガラウト判斷スベキデアルカ、又事情ガ變化シテ相場ガ動クコトガアリマスカ、ドウモ少シマダ判斷ヲ申シ兼ネルノデアリマス、初期デアリマスカラ、只今ノ所格段ノ考ヘヲ持ッテ居リマセヌト申ス外ナイノデアリマスルガ、色ミノ事柄ノ推移ニ付テハ能ク注意ヲ致シマシテ、考究イタシテ見タイト思ヒマス

○男爵福原俊九君 御尤モナ御話デゴザイマス、實ハマダ十一月ニ實施シテカラ暇ガナイカラ將來相當ニ米價ノ動キガアルト云フコトハ御尤モカモ知レヌト思ヒマス、併ナガラ先程ノ色ミナ場合ノ施設トシテモ二重

ニモ三重ニモ安全率ヲ取ラレテ、臨時議會ノ時ノ御説明ニシテモ、安全率ヲ取ラレテ、サウシテ矢張り此精神の安定ト云フコトニ對シテハ矢張り考慮シテ居ラレルノゾアルカラシテ、矢張り現在十一月カラ今日マデノ五箇月ノ状態ヲ見、將來ハ分リマセヌガ、マア將來斯ウ云フ状態デアレバ相當ニ考慮スルト云フコトハ矢張り相當考ヘテ居ルト云フコトガ明カニナツテ居レバ、矢張り其取引所ニ關係ノ方面ニ精神的ニ安定シヤセムカト思フ、今ノヤウニ唯ドウヤラ分ラヌト云フノヂヤ矢張り不安定ヂヤナイカト思ヒマスガ、今ノ御話ガ詰リ將來此ノ儘デ、斯ウ云フ状態デ釘付ケニナツテ、米價ガ動カナイト云フ状態ガ續ケバ、相當ニ政府トシテハ考慮シヤウト云フヤウニ承ツテ置イテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) チョット政府ト

シテノ意見ヲ申上ゲルノハ非常ニ困難デアリマスノデ、實ハ所管ハ商工省ノ所管ニナツテ居リマスガ、併シ事柄ハ我ヒノ方ニ關係ガアリマスノデ、始終話ハシテ居ルノデアリマス、只今ノ所チョット御答ヘヲ申サウナ話ガ出來テ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、サウ云フヤウナ希望ガ取引所側ニアリ、或ハ取引所ヲ廢シテシマヒタイト云フヤウ

ナ事ヲ言フ論者モアル、取引所ハ存立ノ要ナシト云フヤウナ時代ニ立至レバ兎ニ角、取引所ヲ存在シテ置クコトガ宜シイカ、ドウモ今俄ニ是ハ決シ兼ネルト思ヒマス、チョット考ヘマシタ所デハ取引所ノ機能ガ狭マルト云フヤウナコトガ今ノ實情カラ見ニマスケレドモ、之ヲ廢メテ宜シイカドウカト云フコトハ俄ニ決シ難イ問題カト思ヒマス、サウシマス、政府ノ大キナ統制作用デ以テ値段ガ自由市場ニ於ケル普通ノ需要供給決メル時ト、違ッタ決メ方ガ行ハレルコトニナリマスケレドモ、取引所ガ存立シテ先キ行キノ値段ナドヲ圖ツテ取引スルト云フ働キハマダ可ナリ殘ルト思ヒマス、モウ少シ研究イタシマセヌト今決定シ兼ネル問題ト思ヒマス

○松本眞平君 チョットソレニ關聯シマシ

テ、今ノ取引所ノ問題デゴザイマスガ、政府ノ方デ米穀統制調査會ニ提案ヲ致シタ或ハ專賣法案デアルカ、米價統制法案デアルカ、米穀管理案ト云フモノニ對シテハ、ソレゾレ取引所ニ對シテ賠償規程ヲ設ケテ、御提案ヲ爲スツヤウニ承知イタシテ居リマシタデスガ、只今ノ御説明ニ依リマス、云フト、米穀統制案ト云フモノハ、上下ノ鞘ガ相當アル、從テソコニ高低スル自由

ナル餘地ガアルカラ賠償スル必要ハナイ、斯ウ云フヤウナ意味合デ此米穀統制案ニ對シテ賠償規程ヲ削除シテ御提案ニナツタモノデアラウト思ヒマス、私共昨年協賛ヲ致シマス時ニモ、左様ニ諒解シテ同意ヲ致シタノデアリマスガ、今回若シ其根本的ノ政策ノ變更ト致シマシテ、或ハ專賣法デアルトカ、米價統制法デアルトカ、或ハ米穀管理案ニ近イヤウナモノ、即チ此法制ニ依ッテ、取引其他或者ノ利益ヲ非常ニ壓迫スルト云フヤウナ意味合ノ法案ガ出タ場合ニ於テハ、矢張り主義トシテ是ガ賠償法案ヲ附則トシテ附ケル、斯ウ云フヤウナコトニ諒解ヲ致シテ置イテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 只今御話ノコト

ハ、マア將來如何ナル案ガ立チマスルカ、假定ニ付テノ御話デアリマスガ、大體條理ハ自然左様相成ルコトニナルデアラウト思ヒマス
○上山滿之進君 モウ少シ伺ヒタイノデスガ、是ハ伺フト云フヨリハ、チョット經過ヲ私カラ述べテ置キマス、一昨日私ハ此年度ノ米ノ需給生産ヲ政府ノ見ル所ニ依ッテヤツテ賞ヒタイト云フコトヲ申シマシタ、先刻私限リ賞ヒマシタガ、之ニ依ルト、又殖エテ行キマシテ、一億七千石ト云フモノニ年

度末ノ御調べニナツテ居ルノデアリマス、私ハマダ此調査ヲ大分考究セネバナラヌ點ガアルト思ヒマス、大體材料ノ取方ガドウデアラウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、今考究スル暇ガアリマセヌガ、此政府ノ調査ハ、政府ガ今年ノ實績ニ依ッテ調査サレタト云フ其調査ハ多クナツテ居リマスケレドモ、私ハ一昨日カ第一回ノ時ニ申シマシタ通り、矢張り依然トシテ昭和七年十一月一日ノ在米調べト云フモノハ私ノ計算ニ依レバ三百三十石、ソレカラ昨年ノ昭和八年度ノ産米ノ實收高ハ、私ノ計算ニ依レバ四百五十萬石、詰リ從來隱レテ居ッタモノガ、調査ガ成立ニナツタ結果表面ニ現ハレタ數字デアッテ、實際ノ増額ノ數字デハナイト云フコトハ、依然トシテ今日主張イタシマス、其理由ハ其際詳シク申述ベマシタカラ今申シマセヌ、サウシテ其三百三十萬石カ、四百五十萬石カ、多少ノ數字ハ別トシテ矢張り兩回トモ數百萬石多クナツタ、調査ノ方法ノ變更ノ爲ニ多クナツタト云フコトハ、之ハ誰モ蓋シ争フコトガ出來ヌコトデアルト思ヒマス、此點デ此問題ハ先ツ打切ツテ置キマス、ソシテ後ニ今回戴キマシタ政府ノ調査ヲ根據ニシテ能ク考ヘマシテ、又將來五月一日ノ在米調べニ依ッテ、ソレヲ待ツテモ考ヘナケレ

バナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、之ハチヨット申上ゲテ置キマス、ソレカラ御尋ネ致シタイコトハ、此家計費ト云フモノガ、之ハ非常ナ調査ノムヅカシイモノデアルコトハ承知シテ居リマスガ、今調査ノ程度ガドノ位ニ進ンデ居ルノデアリマセウカ、之ヲ伺フノハ昨日來私申上ゲマシタ、ドウモ今ノ九百萬石ガ三十圓五十錢デナケレバドウシテモ賣レヌ、斯ウ云フ風ニ勅令デ規定ニナリマスカラ、此三十圓五十錢ト云フモノハドウシテ出タカト云フト、全ク家計費ヲ見テナイデ出テ居ル、之ハ調査ガ十分ニ出來テナイカラ見ラレナイノハ當然デアリマスガ、其ノ爲ニ非常ニ上ッテ居ル、今ノ場合ニ伺フノハ、家計費ノ調査事項ノ模様ヲ伺ヒタイ、之モ政府委員デ結構デゴザイマスカラ……

○政府委員(荷見安君) 只今ノ家計費ノ調査ノ模様ハ昨年ノ九月以後スツト調査ヲ致シテ居リマスノデ、毎月々々ノ表ヲ内閣ノ統計局デ纏メテ居リマスノデスカラ、私ノ所ニ材料ハマダゴザイマセヌデスカ、大體既ニ二回ノ調査ヲ致シマシテ、其二回ノ調査ノ結果ニ基イテ、此勅令ニ規定イタシテアリマスカラ方法デ計算ヲ致シテ見マス、餘程只今決メテ居リマスル物價參酌値

上値ニ割カラ三割ト云フ程度デ決メマシタ金額ニ對等スルヤウナモノガ出得ルヤウニ思ヒマス、其場合ニドウ云フ風ナ割合デ米代ニ代用シ得ルモノヲ抑ヘタカト申シマスト、之ハ米穀調査會ノ當時ニ御研究ヲ願フヤウナ費目、詰リ家計費中ノ副食物費、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費及ビ貯金額ノ合計額ニ一定割合ヲ乗ズル、其割合ト云フノハ前々回ノ調査ノ時ニ一割カラ一割五分位ト云フ御話ヲ申上ゲテ置キマシタガ、其一割カ一割五分位ヲ乘ジマシタモノヲ前述ノ米代ニ加ヘテ、ソレヲ消費量デ割りマシタモノハ、大體三十圓カラ三十一圓位ノ間ニナルヤウデゴザイマシテ、家計費ノ調査ト致シマシテハ、最初ニ見マシタ所ト大變ナ差ハナイヤウニ思ヒマス、最モ此調査ガ相當回ヲ重ネマセスト云フト、安心シテ使用シ得ルヤウナ數字ト申スコトハ無理デアルト思ヒマス、之ハ御承知ノ通りニ生産費ノ調査デモ十數年ヤツテ來マシタモノヲ、漸ク最近材料ニ使ヒマシタト云フヤウナ譯デアリマスカラ、直ニ之ヲ二回或ハ三回ノ調査デ實際ノ運用ニ使フト云フコトハ、マア餘程考ヘナケレバイケナイコトカト思ヒマスケレドモ、數字ト致シマシテハ稍、妥當ノモノガ出テ居リマスシ、ソレカラ

家計費ノ記帳ヲ始メタ者ガ最後マデ記帳ヲ續ケテ行キマスル程度モ非常ニ成績ガ宜シイサウデアリマスカラ、之ヲ相當繼續シテ行ケバ、斯ウ云フ風ナ政策ニ用ヒテモ安心ノ付クヤウナモノガ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○内田重成君 私ハ先程長岡君ノ質問イタサレマシタ政府所有米特別處理法ニ關聯ヲ致シマシテ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、此米穀ノ新規利用ニ關スル試驗研究竝ニ米穀新規用途ノ開拓ノ問題ハ、昨年統制法審議ノ際ニ度々問題ニ出マシタコトデ、其當時各委員ノ希望ハ此點ニ付キマシテ大ニ論議ヲ盡サレテ居リマシタノデアリマス、從テ其後ニ於キマシテ政府ニ於テハ實際ニ其試驗研究竝ニ用途開拓ニ付テノ問題ヲ現實ニ御取扱ニ相成ツタコトデアラウトモ考ヘルノデアリマス、此特別處理法ハ蓋シ其現レノ一ツデハアリマセウガ、昨年議會終了後今日ニ至リマスル迄ノ間ニ於テ、此問題ニ付テ現ニ御實行ニ相成ツテ居リマスル點ハ如何ナル種類ノモノデアリマスカ、如何ナル程度ノモノデアリマスカ、如何ナル方法ニ依ラレテ居ルカト云フコトヲ承ハリタイ、尙ホ併セテ將來此特別處理法施行ノ上ハ此實行方法ハドウ云フ風ニ御實行

ニナリ、又其實行機關ハ如何ナル御設備ガアルモノデアルカ、此法規ニ依ッテ見マスレバ、第二條ニ於テ農林大臣ガ米穀處理委員會ニ諮問シテ處分ニ關スル主要事項ヲ定ムルト云フコトダケガアリマシテ、其實際上ノ問題ニ付キマシテハ、毫モ此規則ノ上ニハ規定ハゴザリマセヌ、又之ニ付キマシテ如何ナル方法ニ依リ此目的ヲ達成スルト云フコトニ付キマシテ、マダ私ハ承ラヌヤウニ考ヘテ居リマス、其詳細ヲ一ツ御見込ヲ承リタイト考ヘマス

○國務大臣(後藤文夫君) 私ヨリ大要申上ゲマシテ、政府委員カラ更ニ細カニ申上ゲサセタイト思ヒマス、昨年来以來専門家等ノ會合ヲ時々開キマシテ、色々調査研究ヲ致シテ參ッテ居リマスガ、何分ニモ此米ヲ其儘材料ニ利用スルト云フコトガ出來マセヌノデ、特別ニ試驗研究ノ經費ヲモ昨年ハ盛ッテ居リマセヌ、唯研究協議會ヲ開イタト云フ程度ニ實ハ止マツテ居リマス、其研究協議會ノ結果トシテ或程度ニ、將來ノ見込ト申スマデニハ參リマセヌケレドモ、色々研究スベキ點ガアル、場合ニ依ツタラ相當ナ量ノ消費モ之ニ依ッテ起リハセヌカト云フヤウナコトガ考ヘラレマシタノデ、政府ノ所有米穀ヲ其爲ニハ或ハ試驗研究ノ用ニ供スルコト

如何ナル程度ノモノデアリマスカ、如何ナル方法ニ依ラレテ居ルカト云フコトヲ承ハリタイ、尙ホ併セテ將來此特別處理法施行ノ上ハ此實行方法ハドウ云フ風ニ御實行

ガ出来、或ハ値段ノ上ニ於テ相當引下ゲテ之ヲ原料トシテ試験サセテ見ルコトモ出来ルト云フヤウナ途ヲ開キタイト云フコトモ此處理法ヲ提出イタシタ譯デアリマス、此諮問委員會ニ諮問スルト云フ趣旨ハ、此處理法案ガ會計規定ノ自ラ例外ヲナスコトニナリマスノデ、是ガ無暗ニナニニナツテハイケマセヌノデ、此諮問委員會ハサウ云フコトヲ寧ロ嚴重ニ監視スル意味デノ諮問機關ニ致シタイノデ、實際ノ利用試験研究ノ方ハ、只今マデ協議會ノ形ヲ専門家其他ノ會合ヲ致シテ居リマスルノヲ、場合ニ依リマシタナラバ、稍、常設ノ調査機關ノヤウナ形ニシマシテ研究ヲ續ケテ參リ、ソコデ考ヘ出シタ事柄ハ、或ハ官立ノ試験所デ試験ラシテ貰ヒ、或ハ民間ノ方ニ試験ヲ委託シテヤルト云フヤウナ、各種ノ方法ヲ行ッテ見タイト云フヤウナ大體腹案デ居リマス、是マデ協議會等デ研究シマシタ題目トナリマシタコトノ大要、今後ノ見込等ヲ尙ホ政府委員カラ一ツ御話ヲ申上ゲマス

マシテ色々研究ヲ重ネテ參ッタノデアリマス、ソレデ皆専門々々ノ方ニ集ツテ熱心ニ研究シテ戴イタ結果、只今デハ大體斯ウ云フ風ニスレバ使ヘヤウカト云フ見込ヲ申立テテ居ルノガアリマスガ、ソレハ決シテ正確ニスレダケト云フ譯ニハ參ラスノデアリマスガ、ソレ位ハ入用カト云フ、是ハ机ノ上ノ話デアリマス、大體醬油ノ原料ニ米ヲ使フコトハ、只今ハ小麥ヲ使ツテ居リマスガ、若モ米ガ代用出来レバ、小麥ヨリモ良イ味ノ醬油ガ出来ルノデアツテ是ハ結構ダ、値段ガ餘リ高クナケレバ百數十萬石之ニ轉用出来ル、ソレカラ味噌ノ材料トシテモ百萬石程度ノモノハ使ヘルダラウ、尤モ是マデモ相當味噌ノ方ニ使ツタ分ガアルノデアリマスガ、是ガ相當ニ増加出来ルデアラウ、尙ホ先程カラ御話ニナツテ居リマスル餘デアリマスツカ、葡萄酒デアルトカト云ヤウナコトニ付テモ、是モ幾分考ヘラレルシ、輸出向キノ米粉ト云フヤウナモノモ考ヘラレル、尙ホ新飲料ト致シマシテハ「アルコール」ヲ含マナイ飲料ガ出来ルト云フコトハ、是ハ醸造試験所アタリデモ研究シテゴザイマスノデ、實際ノ製品アタリモ見マシタノデスガ、今少シソレニ研究ヲ加ヘレバ相當其方ニモ向ケ得ルノデハ

ナカラウカ、ソレカラ焼酎ノヤウナモノモ勿論出来マスシ、焼酎ガ出来レバ支那酒モ出来ル、尙「ビール」ノ原料トシテモ相當用ヒラレルデアラウカラ、ソレ等モ研究シヤウト云フコトニナツテ居リマスシ、先刻來御話ノ出テ居リマスル「アルコール」ノ製造デアリマスレバ、是ハソレヲ製造シタ分ガ一時ニ市場ニ出テ價格ヲ低メルコトニナリマス、原料ガ幾ラ安クテモ引合ハヌコトニナリマスケレドモ、相當ノ程度デアレバ、是モ作り得ル、唯有利ナモノデハナイコトハ事實デアリマスガ、米トシテ置イテ品質ヲ下ゲテ經費ヲカケテ行クト云フ點カラ見レバ、「アルコール」ニシタ方ガ引合フカモ知レナイ、ソレカラアトハ澱粉デアリマスツカ、糊デアリマスツカト云フヤウナモノモカナリ相當作レルダラウト、今各専門々々ノ方ニ御集リデ數回ノ協議會ヲ長イ間ヤツテ戴イタ結果デ略、見當ラ付ケマスノハ斯ウ云フ問題デアリマス、併シ是ハ私共ガ今回幸ヒニ七萬圓バカリノ斯ウ云フモノノ研究ノ費用モ御承認ヲ得タノデアリマスシ、是ニ依ツテ政府或ハ民間ノ各種ノ團體ナドニモ依頼ヲ致シマシテ調査ヲ致シテ行ケバ、是等ノ方法モ相當何トカ目鼻ノ付クヤウニ致シタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリ

マス、併シ何セ新規利用トカ新規用途トカ申シマシテ皆新シイコトデアリマス、是マデノコトデアレバ過去ノ經驗カラ御話モ出来マスノデスケレドモ、新シイコトヲヤツテ見ヤウト云フノデアリマスカラ、非常ニ意氣込シテ斷言シテ申上ゲル譯ニハ參リマセヌデ、斯ウ云フ風ナ程度ニ研究ヲ致シテ居リマスツト云フコトダケヲ申上ゲマス

○内田重成君 只今ノ特別處理法ニ關シマスル問題ニ付テ更ニ伺ヒマスガ、其米穀ノ新規利用ノ試験研究竝ニ新規用途ノ發見ト云フコトハ最も重大ナル關係ヲ米穀法ニ齎スルモノデアルト考ヘルノデアリマスルガ、是等ノ實行方法ニ付テ今少シ大々的ニ御研究ニナルマデ實行ヲ進メラル、ト云フ御意嚮ハナイモノデアルカ、又將來其豫算ノ使用ニ付テノ方法ハ單ニ學者其他ヲ集メラレテ、サウウフコトノ協議ヲスルトカ研究ヲスルト云フ位ノ程度ニ止ムルノデ、或ハ特別ノ機關ヲ設置スルト云フヤウナ御設備、又御計畫ハナイモノデアルカドウカト云フコトヲ承リタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 政府委員カラ其事ヲ少シ詳シク申上ゲマスガ、研究機關デモ作ツテ人及設備ヲ置イテ大々的ニ一ツ研究ヲシテ見タラドウカト云フコトモ昨年アタ

リ色ニ研究ハ致シテ居リマシタガ、先ヅ差當リトシテハ左様イタサナクトモ或ハ醸造試験所デアリマスとか、理化學研究所デアリマスとか、或ハ各種ノ學校ノ試験所デアリマスとか、或ハ民間ノ營業者ニ委託シテ試験ヲ致シマスとか云フヤウナ事柄ニ依ツテ、經費ガ相當アリマスレバ可ナリノ試験ガ出來ルダラウ、又政府自體モ多少設備ハ有チマシテ研究モ致シ、ソレニ附屬シマシテ専門家ノ協議會ヲ繼續的ニ設置シマシテ、色ミナ暗示ヤ題目ガ茲ニ出テ參ルノデアリマスカラ、或ハソレハ政府自ラ、或ハ政府ノ試験機關、或ハ民間ニ委託シテヤラセテ見ルト云フコトデ參ルコトガ先ヅ適當デアラウト云フノデ、只今ノ規模ノ立テ方ヲ計畫イタシテ居ルノデアリマス、モウ少シ詳シクハ政府委員カラ……

○政府委員(荷見安君) 今ノ御話ノ大體範圍内デアリマスガ、私共モ是迄集ツテ貫ヒマシタ學者デハ、例ヘバ我々ノ内輪デハ農事試験場長デアリマスとか、ソレカラ醸造試験所ノ黒野博士とか、或ハ鈴木梅太郎サント云フ風ナ方ヤ、又ハ陸軍アタリノ糧秣ノ方ニ關係シテ居ラレル方とか、或ハ大學ノ博士ト云フヤウナ方ニ御集リヲ願ツテ研究ラシテ居ルノデアリマス、マア是ハドウ

云フ手段ニシヤウカト云フ色ミナ研究ヲ只今申上ゲタヤウニシタノデアリマスガ、其方法ヲ附ケマシテ、今度ハ少シハ委託品モ使ヘルノデアリマスカラ民間ノ大キナ、斯ウ云フ風ナ材料ヲ使ツテ營業ヲシテ居リマスル會社ノヤウナモノニモ、各方面ニ出來ル限リ委託ヲシテ協力ヲシテ貰ヒタイ、又役所ノ中ニモ出來ル範圍ニ於キマシテハ研究ノ機關ヲ作ツテ、サウ云フ民間ノ會社アタリニ委託スル迄ノ間ノ、斯ウ云フモノヲ委託シヤウカト云フヤウナコトヲモ、出來ルダケ研究シテ貰ヒタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只今申上ゲマシタヤウニ大學デアリマスとか、理化學研究所デアリマスとか、各種ノサウ云フ所モ十分入レテ、陸海軍ノ方デアリマスと糧秣關係ノ人アタリハ勿論參加シテ貰ツテ居ルノデアリマスガ、出來ルダケ政府ノ内部ノ人ノ知識モ集メ、又是ガ實行ニ付キマシテハ政府デハ連モ大規模ニスル譯ニハ行カヌノデアリマスカラ、民間ノ各種ノ團體或ハ營業會社アタリニ、斯ウ云フモノヲ頼ンデ作ラセテ見テ、ソレガ經濟上ウマク成立ツカドウカト云フコトモ研究シテ見タイ、其爲メニハ我々ノ間デ出來ルダケ手ヲ盡シテ、サウ云フ研究ニ當ルヤウナモノノ時間ヲ餘計ニ作りタイト云フ風ニ考

ヘテ居リマス

○内田重成君 簡單ニ伺ヒマスルガ、此問題ハ米穀ニ關スル重大ナル關係トナルモノト考ヘルノデアリマス、今ノ御話ノヤウナ片手間ノ仕事デハ私ハ甚ダ不十分デアルト考ヘルノデアリマス、併シ是ハ意見ノ相違ニナリマスノデ申上ゲマセヌガ、先程御話ニナリマシタ支那酒釀造ノ可能性ニ付テノ御言葉ガアリマシタガ、是ハ嘗テ私モ承ツ

テ、此釀造ガ若シ可能デアルト云フコトナラバ非常ニ面白イ利用方法デアルト云フコトヲ感ジテ居ッタノデアリマスガ、是マデ御取調ニナツテ居リマス支那酒釀造ニ付テノ是マデノ成績ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 是ハ只今申上ゲマシタヤウナ學者、専門家が集リマシテ、斯ウ云フモノハ出來ル可能性ガアルカラ研究シヤウト云フ研究ノ題目ニ出シタダケデアリマシテ、是カラ研究ヲ始メナケレバイケマセヌノデ……

○國務大臣(後藤文夫君) 私チヨット今ノニ附加ヘテ申上ゲマスガ、支那酒ノ釀造ハ、臺灣總督府デハ今酒ノ專賣ヲヤツテ居リマシテ、アソコデ支那酒ヲ現ニ造ツテ居リマス、日本酒ト違ヒマシテ支那酒ハ貯藏ニ長ク堪ヘルノデアリマシテ、ソレカラ之ヲ長

ク置イテ置キマスと、隨分風味ノアル良イモノニモナルノデ、日本ノ酒ガ殆ド遠距離ノ輸送ニ堪ヘズ、又長イ間氣候ノ變化ノアル所ニ置クコトニ堪ヘナイト云フ形ニナツテ居ルコトカラ、改メテ支那酒風ノ米ノ酒ガ出來ルト云フコトニナリマスと、是ハ一ツノ米ノ用途ノ開拓ニナリ、場合ニ依リマシテハ海外輸出品ニモナルノヂヤナイカト云フコトヲ専門家ナドデハ豫想シテ居ル人ガアルノデアリマスガ、釀造試験所ナドデモ研究ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、マダ實際トシテハソコ迄參ツテ居リマセヌガ、サウ云フ方面ノ研究モ致シテ見タイト思ツテ居リマス

○内田重成君 私モウ一ツ伺ヒタイ、此米穀統制法ノ根幹トナツテ居リマス生産費ノ規定デアリマスガ、生産費ニ關シテハ、本法ニ於キマシテハ唯生産費ト云フ文字ダケアツテ、其内容ハ勅令ニ讓ツテアル、デ當時其勅令ナルモノハ私共審査ノ權ヲ有シナカッタモノデアリマスガ、規定サレタル第四條、又昨日頂戴シマシタ米穀生産費説明ナルモノヲ拜見イタシマスルト、其八項ノ租稅其他ノ公課ト云フ規定ノ中ニモ、公課ニシテモ、尙ホ農家ノ米ヲ土臺ニ致シマス收入ニ課セラルルモノニシテ不足シテ居ルモ

ノガアルヤウニ思フ、例ヘバ所得税ノ如キモノ、又はハ農家ノ負擔シマス所謂出資ノ中デ法律ノ結果ニ依ルモノ、又ハ法律ニ依ラズシテ任意制デハアルケレドモ、農家トシテハ當然負擔セザルヲ得ザルモノ、又當然デハナイケレドモ、其地方ノ状況カラ見テ農家トシテハ已ムヲ得ザル負擔ニ屬スル所ノ種類ノモノ、所謂出物ト稱スルモノ、サウ云フ各種ノ負擔ガアルノデアリマス、サウシテソレハ多ク農家ノ唯一ノ收入デアル所ノ米ノ收入ガ負擔スル譯デアアル、大抵其各戸ノ耕作スル耕地反別ニ割當テテ負擔セシメラルルモノデアアル、ソレハ公租公課以外ニ於テ左様ナモノガ多數ニアルノデアリマス、是ガ農家ノ負擔ノ大部分ヲ爲シテ居ルモノデアアル、而シテ農家トシテハ矢張り是ヲ負擔ラスルト云フコトガ一つノ丁度公租公課ト同ジコトニ相成ルノデアリマス、其例ヲ申シテ見マスルト、例ヘバ神社費ノ如キモノデアルトカ、又教育會ノ費用デアルトカ、消防組ノ費用デアルトカ、赤十字社ノ費用デアルトカ言フモノ、近頃デハ國防義會ニ屬スル費用デアルト云フヤウナ、是ハ地方ニ於キマシテハ、都市ト違ッテ、ドウシテモソレヲ外レルト云フコトハ出來ナイ負擔デアアルノデアリマス、サウシ

テソレガ悉ク此耕作反別割デ皆徴收サレル、所謂繋グト申シテ居リマス、ソレデ此負擔ト云フモノハ農民ノ頭デハ矢張り皆米ガ皆負フモノデアルト云フコトニ考ヘテ居ル、ソレデアアルカラ是等ノ費用ト云フモノハ、極メテ勅令ナリ、又ハ實際ノ御取扱ノ上デハ制限サレタル範圍内ニ於テ出來テ居ルノデ是デハ實際ノ實情ニハ合ハヌモノデアルト云フコトニ私ハ考ヘル、ソレカラ今一ツ此反當ノ收入ノ中カラ副収入ヲ差引イテアルノデアリマスガ、此副収入ト云フモノハ之ヲ全般的ニ總テノ土地ニ副収入アルモノト考ヘテ差引カルルト是ハ狀況ハ違ヒハセヌカト考ヘルノデアリマス、土地ニ依ッテ副収入ノアル所トナイ所トガアル、ソレデ副収入ノアル場所、ナイ場所ガアルニ拘ラズ、一般的ニ副収入アルモノトシテ之ヲ差引クト云フコトハ、此生産費ト云フモノヲ出ス上ニ於テ實情ニ即シナイモノデアルト云フコトニ考ヘルノデアリマス、此二點ニ付テ一應御説明ヲ承リタイト思ヒマス

トニ相成ルト思ヒマスガ、實際ノ扱ヒトシマシテハ、是ハ生産農家ニ於テ、調査農家トシテ選ンダ農家ニ於テ記帳サセルノデアリマシテ、副収入ガナケレバ副収入ヲ記帳シマセヌシ、實際アルダケノ副収入ヲ記帳サシテ、ソレガ基礎ニナッテ計算スルコトニナッテ居リマス、是ハ御話ノヤウナ趣旨ニ取ッテ居リマス、ソレカラ前段ノ農家ノ事實上ノ負擔ニ屬シテ、公租公課ト云フ項目ノ中ニハ入ラヌモノデモ、實ハ公租公課ノ課カルト同ジヤウナ課カリ方デ、農村ニ生活シテ居ル以上ハ反別割等ノ形デ負擔サセラレル經費ト云フモノガアル、是ガ矢張り生産費ノ中ニ組入レナイト不都合デハナイカト云フ趣旨デノ御尋ト思ヒマスガ、此生産費ノ中ニ組入レルベキモノハ何々デアアル、其何々ヲドウ云フ程度ニ米ノ生産費トシテ組入レルベキカト云フコトニ付キマシテハ、随分實際家及専門家ノ、先程申上ゲタヤウナ會合ニ於テ研究ヲ重ネテ來マシタノデアリマス、最初此生産費ノ規定ガ前ノ米穀法ノ時代ニ出來マシテカラ生産費ニ取入レルベキ要目、及び其要目ノ如何ナルモノガ米ノ生産費トシテ取入レルベキカト云フコトヲ色々計算イタシマシテ、實際家及ビ専門家ノ會議ヲ開イテ研

究ノ結果ガ出來テ居リマシタ、ソレニ對シテ又議會デモ色々ナ意見ガアリマスシ、又世間デモ色々ナ批評ガアリ、更ニ又統制法ノ實際ノ實施ニ當リマシテ重ネテ研究ヲ遂ゲマシタ結果ガ、此處ニ勅令カラ省令等デ規定ヲ致シマシタヤウナ方法ニ依ッテ、生産費ノ計算ヲスルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、今御話ノアリマシタヤウナモノハ、公租公課ノ負擔ニ準ズルモノトシテ生産費ノ中ニ組入レルノニハ不適當デハナイカト云フコトデ、可成リ公租公課ノ範圍ヲ擴ゲタノデアリマスケレドモ、サウ云フモノハ入レナイコトガ適當デアラウト云フ結論ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此生産費ノ調査項目ヲ定メルコトハ可成リムツカシイ問題デアリマスケレドモ、相當慎重ナル研究ヲ遂ゲマシタ結果ガ、只今ノヤウナ方法ニ依ルコトニナッテ居リマス、只今ノ所デハ先ヅ生産費ノ調査項目ト致シマシテハ、此處ニ定メテアリマスヤウナモノガ適當デアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○内田重成者 是ハ直接ノ問題デアリマセヌカラ、其程度デ止メマス、次ニ昨日來上山委員カラモ御尋ネニナリマシタ問題デアリマスガ、米作ノ豫想並ニ其實收ノ統計ハ、

是ハ米穀法ノ基本ニナルモノデアリマス
ガ、ソレノ調査ハ從來頗ル杜撰デアルト云
フ評ヲ聞クノデアリマス、最近ニ於テハ稍、
有給ノ人ナドヲ配置サレルト云フコト
デ、正確ニ參ルト云フコトモ承ルノデア
リマス、此調査ニ從事イタシマスル者ノ話
ヲ承ハリマス、是ハ全ク各自ノ目分量デ、
毫モ眞ヲ得テ居ルモノデヤナイト云フコト
ヲ屢、承ルノデアリマス、然ルニ拘ラズ

デモ、私ハ甚ダ正確ヲ缺イテ居ルヤウニ思
フ、是ハ農村ニ於テ其實情ヲ知ル者ノ眼カ
ヲ見マスルト、畢竟斯ウ云フモノハ當テニ
ナラヌト云フコトノ感ジガ直グ起キルノデ
アリマス、現在ニ於テノ調査ノ方法ニ付キマ
シテドウ云フ風ニ御調査爲サレテ、ドウ云
フ人ガ其調査ニ從事シテ居ルカト云フコト
ヲ承ハリタイト思ヒマス

既ニ只今申上ゲマシタヤウニシテ調査イタ
シマシタモノハ、長年ノ習慣デ實行イタシ
テ來テ居ルノデアリマスガ、之ヲ發表シナ
ケレバ色ミニ之ヲ想像イタシマシテ、却テ
臆測ガ加ハッテ不當ナ結果ヲ招クコトガ、發
表スル場合ニ比シテ尙ホ餘計デアラウト思
ハレルノデアリマスノデ、是ハ從來ノ通り
ニ發表シテ參ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス、
此度改善サレマシタ米ノ生産統計ノ要點ハ
極ク搔擷ンデ申上ゲマス、具體的ノ調査

ニナッテ居リマス、ソレカラ收穫高ノ調査方
法ト致シマシテハ準備調査ト致シマシテ、
調査員ガ調査區内ニアル農家デ、其調査區
ニ屬スル市町村内デ米作ヲ爲ス者ニ付キマ
シテ、其經營農家世帯主ノ住所又ハ居所及
氏名等ヲ調査イタシマス、ソレカラ調査區
内デ米作イタシマス農家デ此調査區ニ屬ス
ル市町村ノ他ノ調査區内ニアルモノニ付テ
モ、同ジヤウニ調査ヲ致スコトニナリマシ
テゴザイマス、ソレカラ作柄調査ト致シマ
シテハ其調査區内ノ米作地ヲ實際ニ調査員
ガ巡廻シマシテ、作柄ヲ調査シマス、是モ
水稻陸稻別ニ、粳米糯米毎ニ作柄ヲ上、中、
下ノ等級ニ區分シテ見取圖ニ表示スルト云
フコトヲ致シマシタ、次ニ坪刈調査ヲ致シ
マシタ、ソレカラ調査員ハ坪刈ノ結果ヲ利
用イタシマシタ水稻、陸稻ノ粳米、糯米毎
ニ各上、中、下ノ作柄ノ一段歩ノ收穫高ヲ
見積ルノデアリマス、ソレカラ米ノ生産統
計調査基準票ト云フモノヲ作成イタシマシ
タ、ソレカラソレニ作付段別ヲ記入イタ
シ、收穫高ノ調査ハ農家ニ調査票ヲ配布シ
マシテ、各農家ヲシテ調査セシムルト云フ
風ニ致シマシテ、其結果ヲ各府縣ニ報告ス
ルノデアリマス、調査機關ト致シマシテハ
全國ノ米作ヲ致シマスル市町村ニ付テ調査

第一回豫想、第二回豫想トシテ發表サルル、
其發表ガドウ云フ意味デ發表サルルカト
云フコトニ付テハ、其必要ヲ非常ニ疑ッテ
居ルノデアリマス、是ガ爲ニ好キ影響ヲ受
ケル場合ハ少クテ、悪シキ影響ヲ受クル場
合ガ多イヤウニ感ズル、米作ガ不良デア
ルト云フコトニナリマスルト、ドウモ地方ニ

○國務大臣(後藤文夫君) 政府委員ヨリ御
説明ヲ致サセマス

○政府委員(荷見安君) 米ノ生産統計ノ問
題ニ付キマシテハ、是ハ從來ハ農林統計規
則ナル農林省令デ規定イタシマシタ手續ニ
依ッテ、市町村長ガ其市町村内ノ豫想收穫
高デアリマストカ、或ハ實收高デアリマス
トカ云フモノヲ調査イタシマシテ、之ヲ府

マシテ、調査員ガ市町村ニ備付ノ字限圖デ
アリマストカ、耕地圖其他ノ材料ヲ使ヒマシ
テ、米作見込地ノ田、畑、地番、段別、河
川、道路等ヲ表ハシマシタ調査區ノ見取圖
ヲ作ルコトニ致シマシタ、ソレカラ實地ノ
巡回調査ト致シマシテ、調査員ハ其只今申
上ゲマシタ調査區ノ見取圖ヲ持ッテ、米作地
ヲ巡回イタシマシテ、水稻及陸稻ノ各、ニ
付キマシテ粳米、糯米別ニ其作付面積ヲ步
測イタシマスルカ、或ハ丈量ヲ致シマシテ
其調査ノ結果ヲ調査區ノ見取圖ニ書クコト

於テ地主小作人ノ關係ニ於テハ、小作人ノ
方面カラハ常ニ米作ハ不良デアルト云フコ
トヲ主張シタガ爾傾向ガ多イ、ソレヲ言ヒ
觸ラシタガ爾傾向ガ多イ、單ニ其一點ノミ
ヲ以テシマシテモ、サウ云フ發表ガ人心ニ
及ボス影響ニ於テ相當アルノデアリマス、
而シテソレガ正確デアラナラバ尙ホ恕スベ
シ、頗ル不正確デアアル、豫想デアアルニ拘ラ
ズ、之ガ人心ニ相當影響スルモノデアラウ
ト思ハレル、此實收額ニ於キマシテノ調査

縣ニ報告スル、府縣カラ又農林省ニ報告シ
タモノヲ取纏メテ居リマシタノデ、是ハ免
ニ角米ノ政策ヲ實行イタシテ參リマスノニ
ハ、ドレ位取レルモノデアルカ、或ハド
レ位ノ收穫ガアツカト云フコトガ分リ
マセスト、政策ヲ立テルノニ非常ニ困
難デアリマスカラ、サウ云フコトハ長イ
コト實行シテ居ル譯デアリマス、ソレデ
之ヲ發表スルト惡イ結果ガ起ルカモ知レヌ
ト思フガドウカト云フ御話デアリマスガ、

トカ云フモノヲ調査イタシマシテ、之ヲ府
縣ニ報告スル、府縣カラ又農林省ニ報告シ
タモノヲ取纏メテ居リマシタノデ、是ハ免
ニ角米ノ政策ヲ實行イタシテ參リマスノニ
ハ、ドレ位取レルモノデアルカ、或ハド
レ位ノ收穫ガアツカト云フコトガ分リ
マセスト、政策ヲ立テルノニ非常ニ困
難デアリマスカラ、サウ云フコトハ長イ
コト實行シテ居ル譯デアリマス、ソレデ
之ヲ發表スルト惡イ結果ガ起ルカモ知レヌ
ト思フガドウカト云フ御話デアリマスガ、

マシテ、調査員ガ市町村ニ備付ノ字限圖デ
アリマストカ、耕地圖其他ノ材料ヲ使ヒマシ
テ、米作見込地ノ田、畑、地番、段別、河
川、道路等ヲ表ハシマシタ調査區ノ見取圖
ヲ作ルコトニ致シマシタ、ソレカラ實地ノ
巡回調査ト致シマシテ、調査員ハ其只今申
上ゲマシタ調査區ノ見取圖ヲ持ッテ、米作地
ヲ巡回イタシマシテ、水稻及陸稻ノ各、ニ
付キマシテ粳米、糯米別ニ其作付面積ヲ步
測イタシマスルカ、或ハ丈量ヲ致シマシテ
其調査ノ結果ヲ調査區ノ見取圖ニ書クコト

區ヲ設ケマシテ、調査員ヲ置クコトニナツテ居リマス、市町村長ハ各管内ノ調査事務ヲ主掌シテ居リ、市町村ノ統計職員ガ之ヲ補助スルコトニナツテ居リマス、道府縣ニハ市町村ニ於ケル米ノ生産統計調査ノ指導監督ノ爲ニ新ニ專任職員ヲ配置スルコトニ致シマシタ、斯ウ云フ風ナモノニ依ツテ從來市町村カラ米ノ生産統計ノ調査ヲ致サセテ居リマシタガ、其方法ガ統一イタシテ居リマセヌデシタノデ、ソレヲ統一スル方法ト致シマシテ、昭和八年度以降全國各地ニ一齊ニ施行イタシマシタ、調査ノ狀況ハ以上ノ通りデアリマス、之ニ付キマシテハ農林省ノ統計報告規則ト云フモノヲ昭和八年六月二十日ニ農林省令第十三號ヲ以テ改正イタシテ居ルノデアリマス、其新舊ノ狀況等モ茲ニ申上ゲレバ詳細ニ申上ゲラレマスガ、餘リ煩瑣ニナリマスルカラ大體ノ狀況ヲ御答へ申上ゲテ置キマス

トガ可能ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ簡單ニ御伺ヒ致シマス、是ハ私ハ臺灣ノ事情ニ付テハ餘リ能ク存ジマセヌシ、殊ニ率直ニ申上ゲマス、臺灣ヲ視察ニ參リマシタ時分ニハ、甚ダ光榮ノ至リデアリマス、ケレドモ、總督府カラ案内ノ官吏ヲ附ケテ戴イタ爲ニ臺灣人ノ話ヲ能ク聽クコトガ出來マセヌデシタ、却テ南支那ノ汕頭、廈門、廣東等ヲ旅行シマシタ際ニ、同地方ニ居ル臺灣人ノ話ヲ聞キマシテ、臺灣人ノ不平ノアル所ヲ聞クコトガ出來タノデアリマス、色ミ話ガアリマスルガ、矢張り彼等ハ米ヲ作りタイガ、ソレヲ色ミ掣肘ヲ受ケル、ドウシテモ某砂糖會社ニ收メルモノヲ作レトカ、或ハ三年ニ一遍デナケレバ、米ヲ作ッテハイカスト云フコトヲ言ハレルノガ實際困ル、自分等トシテハ勿論收益ノ多イ米ヲ作りタインノダト云フコトヲロミニ申シテ居ツタ、平塚サンノ御説明ヲ承リマス、現在臺灣ニ於ケル水田ガ四十三萬甲、八年ノ收穫高ガ八百六十六萬石、是ハ豐年デアツタガ、平年デハ約八百萬石ト云フコトデゴザイマス、而シテ將來新ニ開拓シ得ベキ土地ハ約八萬九千甲デアツテ、其中ノ七割五分ハ水田デアル、八年ノ八百六十六萬石ノ中ニ蓬萊米ハ約三百二十六萬石デアル、斯ウ云フ御

話デアアル、サウシテ衆議院ノ質問應答ヲ速記録デ見マス云フト、蓬萊米ノ作付反別ヲ成ルタケ蓬萊米ニ變更スルニ於テハ南支那等ニ輸出スルコトガ出來ル、御承知ノ通り蓬萊米ハ内地人ノ嗜好ニハ適シマスケレドモ、臺灣人ハ是ハ好マナイ、若シ此蓬萊米ノ作付反別ヲ減ジテ、在來米ノ作付反別ヲ増加スルコトハ、餘程是ハ面白イ御意見ト思ッテ聞イテ居リマシタガ、是モヨク研究シテ見マス、一ツノ空想ニ過ギズシテ、蓬萊米トノ間ニ於テ一石ニ付テ四五圓ノ價格ノ相違ガアル、蓬萊米ガ高イ、然ラバ利益ノ多イ方ノモノヲ作ルノガ當然デ、四五圓ノ損ヲシテ蓬萊米ヨリモ在來米ヲ作レト言ッテモ、是ハ不自然ナ話デアアル、ソレカラ甘蔗、麻等ヲ代用トシテ作ラセルト仰ッシヤイマスガ、是モ先程御尋ネノ際ニ申上ゲタヤウニ、新ニ荒蕪地ヲ開墾シテ、新ニ甘蔗ト麻ヲ作りニナルト云フコトハ、是ハ何人モ異存ノアルベキ管デアリマセヌガ、米ノ方ハ非常ニ利益ノ多イ、利益ノ少イ甘蔗、麻ヲ作ルト云ッテモ、是ハ差額ヲ辨償シテヤルカ、ソレ以上ノ獎勵金ヲヤルカ、餘程巨額ノ獎勵金、補助金ヲ與ヘナケレバ作ル筈ハナイト思フ、矢張り米價ガ騰貴イタシマスレバ、米ノ作付反別、殊ニ

蓬萊米ノ作付反別ハ増加スルト見ルヨリ外ナイ、又反別ガ増加セヌデモ、農事ノ改良ニ依ツテ米ノ產出高ハ増加スルト見ル外ハナイト思ヒマス、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(平塚廣義君) 只今御質問ノ點デゴザイマスルガ、蓬萊米ヲ成ルタケ減ラシマシテ、在來米ヲ獎勵スル、積極的ノ獎勵ト云フコトハ先達テハ申上ゲタトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、從來蓬萊米ハ割合ニ少カッタモノガ、需要ガ多クナリマシタガ爲ニ、又米價ノ關係上蓬萊米ニ變テ行クト云フ傾向ガ、先刻御讀上ゲニナリマシタ統計ニ依リマシテ明瞭デアリマス、併シ在來種ヲ矢張り本島人ガ多數之ヲ食ベテ居リマスノデ、其在來種ハ益之ヲ食用ニ供スルト云フコトト共ニ、又蓬萊米ニ於キマシテモ、本島人ニ於キマシテモ蓬萊米ヲ賞美スルト云フ傾向キニモナツテ參ッテ居リマスノデ、在來種ハ在來種トシテ、先刻農林大臣ノ御話ノアリマシタヤウナ米酒デアリマス、老酒デアリマス、トカ、臺灣ノ酒ニ向ッテ尙ホ一層ノ研究ヲ重ネテ、支那酒同様ノ酒ヲ拵ヘルト云フコトモ考ヘテ居リマスルシ、又先刻是モ大臣ノ御説明ニアリマシタ通り、米粉等ニ付キマシテモ考究イタシテ居リマスルヤウナ次第デゴザ

イマス、要シマスルニ臺灣ノ島民ノ嗜好ニ
 應ジマシテ、在來種ヲ消費出來ル方面ニ向ッ
 テハ益、之ヲ獎勵スル、又之ヲ食用ニ供セ
 シムル量多クシタイ、サウシテ一面ニ於
 キマシテハ蓬萊米ノ減産ヲ圖リタイ、サウ
 シテ或ハ減産ヲ圖ルノミナラズ、蓬萊米ヲ
 臺灣自體ニ於テモ、臺灣人自體ニ於テモ消
 費スルヤウニ致シタイト斯ウ考ヘテ居ルヤ
 ウナ次第ゴザイマス、而シテ對策ノコト
 ニ付キマシテ、衆議院ニ於テ説明ヲ致シマ
 シタノハ、九年度ノ代作獎勵ノ大體ノ計畫
 ヲ申シタノデアリマス、是ハ現ニ水田等ヲ
 使ヒマシテ、サウシテ獎勵ヲ致スコトノ出
 來ル現在ノ狀況ノ、其程度ノ調ベデアリマ
 シテ、未ダ開墾後水田ニナッテ居ラスモノ
 ヲ開墾イタシマシテ、之ニ麻、胡麻等ヲ植
 エルト云フ調ベハナイノデアリマス、本當
 ノ代作ト云フ意味ヲ爲スヤウニ獎勵ヲ爲ス
 コトノ出來ル程度ヲ、九年度ニ於テ獎勵ス
 ルコトト致シマシテ計畫ヲ立テタノデアリ
 マス、從テ此九年度ノ方ニ於キマシテハ相
 當ノ獎勵費モ豫算ニ計上イタシマシテ、御
 協贊ヲ得タノデアリマス、尙ホ是レ以上ノ
 此代作ノ意味ヲ、尙ホモウ少シ擴張メテ甘
 蔗、麻或ハ野菜、煙草ト云フヤウナモノヲ
 獎勵シテ參ルト云フ、其程度ノ點ニ付キマ

シテハ、尙ホ一層考究ヲ要スル次第デアリ
 マス、其考究ヲ要スル點ト申シマスルノハ、
 只今御質問ノアリマシタ通りニ獎勵金ヲ多
 クシナケレバ、尙ホ是レ以上ノ代作ノ獎勵
 ハ困難デアラウカト考ヘラレルノデアリマ
 ス、併シ是モ獎勵金ヲ交付イタシマスレ
 バ、或程度ノ擴張ガ出來得ルドラウト斯ウ
 考ヘテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ
 是等ノ麻或ハ煙草、蔬菜ト云フヤウナモノ
 ハ、現在ニ於キマシテ見込ノアル特殊ノ作
 物デアリマスルケレドモ、先ヅ九年度ト致
 シマシテ此代作獎勵計畫ヲ立テマシテモ、
 現實ニ之ガ實行ガ出來ルト斯ウ確信イタシ
 テ居リマス、只今ノ對岸ニ對スル關係、或
 ハ滿洲其ノ他ニ對シマスル關係ヨリ致シマ
 シテ、此獎勵計畫ハ九年度ニ於テ實行出來
 ル、尙ホ十年度以降ニ於キマシテ根本的ニ
 ドウシタラ宜シイカト云フコトハ、今茲ニ
 申上ゲルコトハ未ダ出來マセヌケレドモ、
 此九年度ノ方面ニ於キマシテノ計畫ハ以上
 申上ゲマシタヤウナ通りデゴザイマス、尙
 ホ甘蔗、詰リ臺灣「カムチャ」ト申シテ居リ
 マスルガ、砂糖デアリマスルガ、是ハ此計
 畫ノ豫算ノ中ニハ入ッテ居リマセヌノデ、是
 モ九年度ニ於キマシテ、七千五百甲ノ面積
 ニ互リ、其面積ヲ擴張イタシマシテ、詰リ米

ニ代ッテ砂糖ガ増産セラレルト云フ、斯ウ云フ
 計畫ニナルノデアリマス、サウ致シマシテ
 九年度ニ於キマシテハ、粗ニ於キマシテハ
 十九萬石ノ減産ヲ致スコトガ出來ル、斯ウ
 云フ計畫デアリマシテ、是ハ今日ノ斯ウ云フ
 特殊作物或ハ甘蔗等ノ經濟狀態等ヲ觀察イ
 タシマシテ、現在ニ即シタ獎勵方法ニ依リ
 マシテ、此計畫ヲ立テテ差支ガナイ、斯ウ
 考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ耕
 地ガ先刻御質問ノ中ニアリマシタ通り、耕
 地モ臺灣ニ於キマシテハ、將來擴張イタサ
 ルベキモノモ見込ミ得ルノデアリマス、是
 等ノ耕地ノ擴張部分ニ對シマシテ、ソレガ
 全部水田ト云フヤウナ計畫デアリマセヌ
 ノデ、畑ニナルモノモ澤山ゴザイマスル
 シ、其七割五分ノ水田ト云フ從來ノ統計カ
 ラ推シマシテ、左様ナ結果ニナルノデアリ
 マスルシ、是等ノ將來ノ擴張ト云フコトモ
 考ヘル、又今申上ゲマシタ代作獎勵ト云フ
 コトヲ現實ニサレル所ノ其時々ノ經濟狀態
 ニ應ジマシテ、併ナガラ一定ノ方針ニ基キ
 マシテ、之ヲ獎勵シテ參リマシタナラバ、
 相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルドラウト斯ウ考ヘテ
 居ルノデアリマス、サウシテ臺灣ニ於キマ
 シテハ御承知ノ通り増産計畫ト申シマスル
 ヤウナモノハ殊更ニハナイノデアリマシ

テ、此點ハ御諒承ヲ願ッテ置キタイト思フノ
 デアリマス、甘蔗ノ點ニ付テ不平ガアツタ
 ト云フコトデゴザイマスルガ、是ハ或時代
 ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナコトヲ農
 民ガ申シタコトモゴザイマスルノデアリマ
 ス、併シ今日ニ於キマシテハ砂糖ノ減産ヲ
 計リマシテ、サウシテ先刻申上ゲマシタ七
 千五百甲ヲ來年ニ於キマシテ擴張イタシマ
 シテモ差支ガナイト、斯ウ云フコトニ相成ッ
 テ居ルノデアリマス

○長岡隆一郎君 御答辯ハ誠ニ御深切デ且
 ツ御溥澤デアリマスケレドモ、矢張り疑問
 ハ水解シナイノデアリマシテ、蓬萊米ノ消
 費量ヲ増加スルコトヲ御圖リニナルト云フ
 コトハ、是ハ昨日モ話ニ出マシタガ、朝鮮
 ニ於テ粟ノ消費量ヲ減ジテ米ノ消費量ヲ殖
 ヤサウト云ッテモ同ジコトデアッテ、農民ノ
 生活程度ガ高マラナケレバソレハ出來ナイ
 コトデアリマス、臺灣人ノ嗜好ニハ在來米
 ガ適シテ居ル、價格ハ蓬萊米ガ高イ、成程
 臺灣ニ於ケル米ノ消費量ガ幾ラカツツ増進
 シテ居リマスケレドモ、特ニ蓬萊米ノ消費
 量ガ非常ニ促進シタトハ見ラレナイ、又此
 代作ノ獎勵ト云フコトヲナサッテ甘蔗、麻、
 蔬菜ノ作付反別ノ獎勵ト混ジテ御説明ニナ
 リマスケレドモ、私ハ先程申上ゲマシタヤ

ウリ甘蔗ヤ麻、蔬菜、葉煙草等ヲ御獎勵ニナル方針ニハ何ニモ異存ハナイ、唯之ニ依ッテ從來利益ノ多イ米田ヲドノ位減ジ得ルカト云フコトニ付テハ、具體的ノ御計畫ガ掛ッテ居ルモノトハ思ヘナイ、併シドウモ平塚サントハ從來ノ御關係モアリマスノデ是レ以上申上ゲタクアリマセヌガ、要スルニ自然ノ經濟上ノ原則ヲ認ムル以上ハ、農民ガ利益ノアルモノヲ作ルト云フコトハ當然ノコトデアッテ、利益ノナイモノヲ米ノ代リニ作ラセテ、兩總督府ニ於テ之ニ獎勵金ヲ與ヘル、之ニ補助金ヲ與ヘルト云フコトハ却テ不自然ナリ方デアアル、別ニ補助金獎勵金ヲ與ヘテ居ル間ハ不利益ナ作物モ作りマサガ、是ハ水ノ低キニ就クガ如クニ利益ノアル米ヲ作りタイト云フコトハ是ハ當然ノ話デアアル、又之ヲ強ヒテ阻止スルト云フコトハ植民地統治ノ上ニ於テ如何カトモ考ヘマス、デ結論トシテハ要スルニ外地米ノ買入ト云フコトニ於テ、其結果トシテ朝鮮臺灣ニ於テ米ガ將來益、増産スルト云フ結論ニ到達セザルヲ得ナイ、次ニ農林大臣ニ伺ヒタイコトガアルノデアリマス、昨日ハ有馬伯トノ質問應答ヲ承ッテ居リマシテ、尙ホ之ニ付テ昨夜モ考慮シタノデアリマスルガ、農林大臣ハ此米穀政策ト云フモノハ社會政

策ト違フノダカラ、ドウモ此米ト云フモノヲ社會政策的ニ使フト云フ譯ニ行カヌト云フ、色々手續事務上ノ御話ガアリマシテ、事務官ノ御答辯トシテハ其體ヲ成シテ居リマスガ、國務大臣トシテ御考ヘ下サルト云フト、モウ少シ大局ニ眼ヲ注イデ戴キタイト云フヤウナ氣モ致スノデ、無論米穀政策ハ社會政策デハゴザイマスマイガ、併ナガラ社會政策ハ單ニ內務省ノ一部局ノ專賣デハナクシテ、私ハ國政ノ全般ト云フモノハ、各省ノ政策ト云フモノハ總テ社會政策ヲ加味シナケレバナラヌ、此傾向ノ下ニ行カナケレバナラヌト私ハ信ジテ居ル、ソコデ從來ノ買上方法ニ付テ、私ハ非難スルノデハゴザイマセヌ、米穀統制法ハ米價ノ維持、數量ノ調節ト云フコトヲ目的トシテ居ルカラ、其結果細民ガ得ヲシヤウガ、大農ガ損ヲシヤウガ、其反對デアラウガ、是ハ顧ミル所デナイカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ此事情ハ能ク御酌取ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、大體其小農、自作農、小作農等ハ、米ハ十一月カラ三月迄ノ間ニ殆ド手放シテシマヒマス、一家ノ食糧ヲ殘シテ手放スト云フ餘裕ノアル者ハ宜シイノデアリマスケレドモ、或ハ租稅ノ負擔デアルトカ、或ハ肥料ノ代金デアルトカ、或ハ負債ノ利

子ト云フヤウナコトカラシテ、大體三月頃迄ニハ手放シテシマフノデアリマス、今日以後色々御發動ニナリマシテモ、四月以降ニナリマスト云フト、米ノ商人ガ大地主デナケレバ、米ヲ有ッテ居ル者ハ殆ドナイ、或ハ農林大臣ノ御説明ノヤウニ、多少ノ糶ノ貯藏トカ、其他ノ關係モアリマセウガ、併ナガラ大體ニ於テ端境期ニナリマスト云フト、米ヲ作ル者ガ米ヲ買フ、貧農ハ自分ノ食糧トシテ此時ニ買ハナケレバナラヌト云フ實際ノ農村ノ狀況デアリマスノデ、米價ガ端境期ニ高クナレバ、大農或ハ米商人ハ喜ビマセウガ、小農ハ却テ苦痛ヲ感ズル、矢張り米穀政策ハ社會政策ニアラズトシテモ、是等ノコトニ付テハ、相當矢張り御考慮下サル方ガ國務大臣トシテ、御深切デアナイカト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウ

際ニ影響スル米穀政策ノ結果ヲ無論考慮シテ掛ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、從テ出廻期ト申シマスカ、新穀ノ盛ニ賣出サレル時期ニ於テ、米價ガ相當ニ維持サレルト云フコトハ、一番此米穀政策デハ重要ナコトニナルノデアリマス、從テ期調節等ノ働キヲモ出廻期ニハ加ヘテ、普通ノ最高最低ノ價格以外ニ、米價ヲ維持スルト云フ以外ニ、季節調節法ト云フ働キヲモ加ヘテアリマスルノハ、主トシテ此出廻期ニ於ケル内地外地ノ米ノ殺到ヲ防イデ、米價ヲ自然ノ狀態ニ殺到シナイヤウニ、ナガラカニ供給サレル風ノ狀態ニ置キタイト云フヤウナコトカラ參ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ能ク議論ガアリマスガ、最低價格ヲ段先ニ行ク程高クシテ買上グルヤウナコトニシタ方ガ宜イデヤナイカ、サウスレバ一時ニ殺到シナイデ濟ムダラウト云フノデアリマスガ、併シ賣リ出サナケレバナラナイモノハ矢張り出廻期ニハ矢張り賣ラナケレバナラヌノデアリマス、先ニ高クナルカラ持チ耐ヘテ行クト云フ力ノ無イモノガ可ナリ多イノデアリマス、米價ノ高低ヲ先高ニシテ置クト云フコトニ付テハ、其點カラモ全然疑念ガアルト云フヤウナ譯デ、マア一年中大體一本ノ値段段行クト云フヤウナ形ニ

致シテ爾譯デアリマス、是等ハ詰リ大抵統制法ガ目標トスルコトハハツキリ致シテ居ルノデアリマスガ、其目標トスルコトヲ其實現イタスコトノ限度内ニ於テハ、矢張り米作ニ關係ノアル農民ノ境遇ノ異ナル人達ノ間ニ、成ルベク工合ノ良イ結果ニ相成ルヤウニト云フコトヲ考慮シテ考フベキコトデアラウト思ッテ居リマス、サウ云フ意味ニ於テ御話ノ社會政策的ノ考ヘ方ガ幾ラカ入ッテ居ルト申スナラバ、入ッテ居ルト申シテモ宜シト考ヘテ居リマス、併シ大體ノ方針ハ米穀政策ハ御承知ノ通りナ目標ヲ有ッテ居リマスルカラシテ、ソレカラ離レル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、ソレカラ尙ホ是ハ御尋ネノ中ニ含マッテ居ナカッタカモ知レマセスガ、昨日御尋ネノアリマシタヤウナコトニ付テノ米穀政策ノ運用ト、ソレカラ全ク社會救濟的ノ意味ニ於ケル救助政策ト云フモノト別箇ニ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ、私ガ有馬伯爵ノ御尋ノ趣旨ヲ能ク了解シテ居リ、又サウ云フ趣旨ニ添フヤウニ色ミナ施設、或ハ制度ト云フヤウナモノヲ考究シテ行カケリヤナラヌト云フコトモ御同感デアリナガラ、一時ノ手續ノヤウナコトヲ申シマシタノハ、動モ致シマスト米穀政策ノ運用ノ上カラ持ッテ居リマス

ル米ヲ、農林省ト云フ米價政策ヲ運用スル役所ガ持ッテ居リマス、其役所ガ直ニ其米ヲ社會救濟政策ヘ、其役所デ使ハセルヤウナ意味ニ誤解シテ居ラレル人ガ多イノデアリマシテ、是ハ勿論此社會救濟政策ヲヤルト斯ウ云フコトニナリマス、社會救濟政策ヲ所管シテ居ル人ガ、其社會救濟政策ニ之ヲ扱ッテ呉レナケレバ、全クサウ云フコトヲ不斷考ヘテ居ナイ、其目標ノ爲ニ動イテ居ナイ所デ以テ、此米ヲ其儘直接ニ社會救濟政策ニ出サセルヤウナ議論ガ能クアリマスノデ、サウ云フコトノ誤解ノナイヤウニシテ戴キタイト云フ趣旨ト私附加ヘテ申シタヤウナ譯デアリマス、併ナガラ米穀政策ノ運用ノ上カラ、適當ニ設ケテアリマスル方法ガアリマスルガ、其方法ヲ社會救濟政策ニ出來ル限リ密接ニ結び合シテ、右カラ左ニ動イテ行クヤウニスルト云フ不斷ノ用意ナリ、又火急ノ場合ニ於ケル、サウ云フ働キナリヲ附ケルコトニハ、當局トシテハ十分ニ常ニ熟慮シテ参リタイト、又参リツツ今日迄アルノデアリマス、ソレガ救濟ノ目的ノ爲ニ轉賣ヲ致シマストカ、貸下ゲヤスルトカ、延納ニシテ拂下ゲテヤルト云フヤウナ各種ノ手段ヲ講ジテ、其方途ヲ結び付ケテ置クノデアリマス、然ルニ更ニ進ンデ

此社會救濟政策ニ政府ノ持米ヲ利用スルト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、別箇ノ機關、別箇ノ方策ヲ立テマシテ、ソレト相結ビ付クヤウニ考ヘナケリヤナラヌト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○長岡隆一郎君 只今ノ後段ニ御述ベニナリマシタコトガ、私ノ間ハムト欲スル趣旨デアツテ、理窟ハ其通リト思ヒマス、米穀統制法ナル特別會計法ノ趣旨ハ、私モ不東ナガラ存ジテ居ル、併ナガラ茲ニ社會常識カラ考ヘテ、ドウシテモ考ヘサセラレルコトガ起キテ來ルノデアリマス、即チ農林省ニ於テハ澤山ノ米ヲ御買ヒニナル、是ガ其儘永年保存サセラルルナラバ差支アリマセヌケレドモ、是ハ人傳ノ話デ眞偽ハ知りマセヌガ、岡山縣ノ大原研究所ノ研究ニ依ルト、玄米トシテ貯藏シテ置イタモノハ六箇月経テバ「ヴィイタミン」ガ無クナル、一年経ツト云フト榮養價値ガ殆ド無クナル、今後買入ニ次クニ買入ラシテ居ラレバ、結局米ハ倉庫ノ中デ腐ラシテシマフト云フコトヲ豫想シナケレバナラヌ、結局「ブラジル」デヤッタヤウニ、珈琲ヲ海ノ中ニ棄テルト云フヤウナコトニナルカモ知レナイ、所ガ一方ニ於テ米ドコロデハナイ、何モ食ハナイ缺食兒童ガ世ノ中ニ澤山アル、是ハ文部省デモ色ミ

御心配デ相當豫算モ取ッテ給食シテ居ラレルヤウデスケレドモ、一方デハ其米ヲ腐ラシテ無價値ニシテシマフト云フコトガ米穀會計、特別會計ノ目的デアツテ當然デアル、私ノ方ハ社會政策ヲヤル役所デハナイト云フコトデハ、何トナク茲ニ何等カノ矛盾ヲ私等ハ感ゼザルヲ得ナイ、常識上……是ハ大臣モ御承知デアリマセウガ、イツツヤ深川ノ農林省ノ米穀倉庫ノ前ニ濱園町ト云フアノ東京市ノ無料宿泊所ガアリマス、アスコノ所長ノ白井ト云フ、是ハチヨット變リ者デアリマスケレドモ、極ク純ナ男デアル、是ガ「ラヂオ」デ放送イタシマシテ、自分等ノ所ニ宿泊シテ居ル「ルンペン」ハ、此頃金魚ヲ續ケテ居ル、金魚ト言ッテモ大臣ハ御存ジナイカモ知レマセヌガ、物ヲ食ハズニ水バカリ飲ンデ暮シテ居ル、「ルンペン」ヲ金魚ト云フノデス、自分等ノ方デハ金魚ノ生活ヲシテ居ルモノガ數百人カアルノダガ、眼ノ前ニ農林省ノ倉庫ガアツテ米ガ腐リ掛ッテ居ル、又之ヲ涎ヲ垂シテ指ヲ唾ヘテ眺メテ居ル間ハ宜イガ、「コンクリート」ノ倉庫ヲ壞スコトニナツタラ大變ドラウト云フコトヲ「ラヂオ」デ放送シタコトガアル、私翌日會ヒマシテアア云フコトヲ言ウテハ公吏トシテ不謹慎デナイカト云フコトヲ注意シ

タコトガアリマシタガ、斯ウ云フ矛盾ト云フモノハ何人モ感ズルノデアアル、ソレデ米ヲソシナニ拂下ヲスルト云フコトヲシマスレバ、之ヲ轉賣シテ利益ヲ得ルモノモアリマセウシ、色ミアリマセウ、又米ノ消費量ガ減退スルト云フ御心配モアリマセウケレドモ、米ガ食ヘヌモノガアル、食ハズニ飢エテ居ルト云フモノニ對シテ腐ル米ヲヤツタ所デ是ハ米ノ消費量ガ減退スルモノデハナイ、新ニ將ニ腐ラムトシテ居ル米ヲ食ツテ命ヲ繋グモノモ出來ル、ココ等ハ大臣トシテ廣ク眼ヲ御注ギニナツタナラバ、何等カ理論ニ拘泥セズニオヤリニナル方法ガアルノデナイカ、衆議院ノ御説明ヲ見マスト云フト、サウ云フコトヲスルト折角米ヲ買上ゲタ、之ヲ細民ニ食ハセルト云フコトデハ、又米價ガ下ル、馳ゴツコラスルモノダト云フ、馳ゴツコト云フ巧妙ナ御説明デアリマシタガ、今マデ米ヲ食ツテ居ルモノニヤルナラバ、是ハ米ノ消費ガ減退シマセウ、米ノ食ヘヌ奴、將ニ飢エムトシテ居ルモノ、斯ウ云フ者ニハドウセ腐ル米デアラナラバ、安イ値段デ外國ニ投資シナケレバナラヌト云フモノナラバ、寧ロソコヲ廣ク御考ニナツテハドウカト云フ氣モ致スノデアリマス、無論唯徒ニ金錢、物品ヲ呉レルト云フコトハ是ハ宜

シクナイコトデ、是ハ情民ヲ養成スル、或ハ乞食根性ヲ養ハセルト云フヤウナ非難モアリマセウ、少クモ有馬伯ノ言ハレタ缺食兒童ノ如キニ、氣前ヨクオヤリニナツタ方ガ宜イノデヤナイカ、ドウセ腐ルモノナラバ、サウシタ方ガ宜イノデヤナイカ、或ハソレヲ持ッテ行ッテ……家ニ持ッテ歸ッテ親父ガ其貰ッタ米ヲ叩キ賣ッテ酒ヲ飲ムト云フコトモ、ソレハ稀ニハアリマセウ、弊害ヲ考ヘレバ幾ラモゴザイマセウケレドモ、是ハ農林省ノ事務官ノ御答辯ナラソレデ私滿足スルノデスケレドモ、何トシテモ、理窟ハ成程仰シヤル通りデ、米穀特別會計ナリ、米穀統制法ナリノ精神ヲ、頭カラ上段ニ振冠ッテオイデニナルト私ハ太刀打ちハ出來マセウケレドモ、何等カゾコニ今ノ臼井ノ言ッヤウナ考ヘサセラレル何事カガアル、ヤリ方ニ何等カ常識上缺陷ガアリ、人ヲシテ不平ノ念ヲ抱カシメ得ルモノガアリトセバ、ソコニモウ少シ法規ヲ超越シテ御考ニナル餘地ハナイデゴザイマセウカ、是ハ理窟ハ私ハ伺ヒタクナイ、モウ少シ涙ノアル常識論ヲ伺ヒタイノデス

○國務大臣(後藤文夫君) 能ク御趣旨ハ了解ガ用來マスガ、實ハ今日法規ヲ超越セズシテ、法律ニ基イテ可ナリヤツテ居リマスノ

デス、餘リ大キナ聲デ實ハ言ハヌ方ガ宜イノデスガ、可ナリヤツテ居リマス、併シ是ハ今ヤツテ居ル限度デハ時々弊害ヲ生ズルト云フ聲ヲ聞クコトガアリマス、併ナガラ大シク弊害ハ私ハ無イト思ヒマス、更ニ……併シソレデハ、ソレデハ十分ニ今ノ缺食兒童トカ窮民トカノ救助ガ行ハレテ居ルカト言ヒマスト、是ハナカク行ハレテ居リマセヌ、併シ其方法サヘ立チマズレバ、其方法ヲ通シテ米ヲ向ケルト云フコトハ、政府ハ米ヲ持ッテ居リマスカラ十分出來ルノデアリマス、デ御話ノ要點ハ、農林省或ハ農林大臣ダケガ、法規ニ拘泥セズシテ、大所高所カラ觀テヤレバ出來ルト云フコトニ、私トシテ聞エルノデアリマス、デソコニ流レル「トシネル」ガ出來サヘズレバ、ソレハ幾ラデモ流スノデス、所ガ「トシネル」ノ出口ノ方ヲ扱フ所デ、マダ之ヲ……別ノ一ツ考ヘナケレバナラヌ問題ガアルラシイ、マアソレガ私共ガ折ミ考究スル時ニ、矢張り支障ト云フカ、或ハ支障デハナイ矢張り其見解ガ不適當デアルト言ヒマスルカ、今ノ御不滿ヲ御感ジニナルヤウナ事態ガ茲ニ殘サレテ居ルト云フコトニ相成ッテ居ルノダラウト思フノデス、ソレデ昨日モ申上ゲタト思ヒマスルガ、金デ救助ヲ致シマスルノ

モ、米デ救助ヲ致シマスノモ、實ハ面倒臭サハ同ジ、ト云フヨリハ金ノ方ガ簡單デス、金デ救助シタラ、ソレデ米ヲ買ヒニ來タラ賣ッテ宜イ、米デ救助ヲ致シマストスレバ、矢張り特別會計ノ中カラ其代價ダケ落シテ行クト云フ一種ノ形式ヲ執ルコトニ致シマス、如何ニ大所高所カラ考ヘマシテモ、サウ云フ形式ヲ執ルヨリ外ハナイト考ヘマス、何處カニ流レノ圓滑デナイ所ガアルノデヤナイカト云フ御質問ナラバ、私モ左様ニ感ズルノデアリマス、此流レノ圓滑ナ方法ヲ設ケルコトガ出來レバ、相當ナ手續ガ講ゼラレマスルシ、又ソレヲ設ケルコトヲ考究イタシテ宜シイモノデアルト考ヘテ居リマスノデ、有馬伯爵ニ其御答ヲシタヤウナ次第デアリマス

○松本眞平君 私モ今ノ長岡サンノ御質問ニ關聯シテ一言申述ベクタイト思フノデスガ、私共豫算總會ニ於テモ、此龐大ナル米ヲドウ處分ナサルカト云フヤウナ問題、主トシテ私ハ此問題ニ觸レタノデスケレドモ、此千何百萬ト云フ米ヲ處分ラスルト云フコトニ付テハ、先刻長岡サンノ御話ノヤウニ、新規ノ用途ト云フヤウナモノモ、是ハホンノ僅カデアラ、恐ラクハドウモ一箇年ニ百萬石乃至二百萬石ト云フ程度デアラウト思フ、又輸出

ト云フコトモ必要デアリマスルガ、是亦ドウモ二三百萬石ヲ出デマイト思フ、果シテ左様デアルトスト云フト、此處大ナル米ハドウスルカト云フト、先ヅ腐ラカシテシマフト云フヨリ外ハナイ、一方腐ラカス、直グ隣ニハ缺食兒童ガ居ルト云フヤウナコトデ、是非ハ社會政策的ニ考ヘテ、此米ヲ國民ニ……缺食兒童其他災害救助ト云フヤウナ方面ニ、廉賣ヲスルトカ、或ハ無償デ吳レトカ云フヤウナ、社會政策的ノ見地ニ立ツテ之ヲ處分スルニ非ザレバ、處分ガ出來ナイシ、又之ヲ左様ナ意味デ處分スルコトガ、一番値高ク處分ノ出來ル所以デアラウ、斯ウ云フヤウナ風ニ私ハ深く考ヘテ居ルノデス、デソレ等ノ事ニ關シテ只今農林大臣モ、左様ナコトモアルケレドモ、ドウモ「トシネル」ヲ……或程度ノ「トシネル」ヲ通サナケレバ、是ハ少シクヤリニクイト云フヤウナ御話デアアル、成程色々法規其他ノ關係ニ縛ラレテ、内務省ノ方カラ交渉ガアツテ、サウ云フヤウナコトナラバ其方面ニ米ヲ出シマセウト、斯ウ云フヤウナ消極的ノ立場ニバカリ御立チニ……私ノ希望トシテハ……ナラズニ、積極的ニ何カノ問題ニ付テハ其「トシネル」ニ向ツテ此方カラ積極的ニ話ヲシ掛ケテ、其「トシネル」ヲ通

シテ適當ナ社會政策的ノ施設、其他ノ方面ニ之ヲ流シテヤル、斯ウ云フヤウナ方面ニ十分御留意ヲ戴キタイト思フノデス、唯此問題ニ付テハ何時デモ農林省デ躊躇ナサルト云フ點ハ、米ヲ廉價拂下ゲ若クハ處分ヲスルト云フコトニナルト云フト、其米ガ逆作用ヲ起シテ市場ヘ戻ル、或ハ只今長岡サンノ御話ノヤウニ、颯ゴッゴデモツテ米價ヲ下ゲルト云フヤウナコトニ付テ、農林省ハ大分懸念ガアルラシイ、デ私共ハ此米ヲ處分スルニ付テハ、ドウシテモ大體ニ於テ之ヲ白米ニ轉換シテ處分スル方ガ宜シイト思フ、サウスルト云フト玄米トシテ市場ニ再ビ戻ルト云フヤウナ懸念ハナイ、併シ如何ニ白米ニシテ之ヲ處分シマシテモ、多量ニ之ヲ處分スル結果ハ、必ズ此米價ノ低落ト云フコトニ付テノ影響ガアルト云フコトハ、是ハドウモ已ムヲ得マセズ、已ムヲ得マセズケレドモ、水ヲ常ニ水車デグル／＼グル／＼廻シテ居ル間ニハ、自然其水ノ分量ガ減ルト云フヤウナ……磨滅其他ノ方法ニ依ツテ減ルト同ジヤウナ譯デ、五百萬石拂下ゲ若クハ處分ヲシテ結果トシテハ相當ナ低落ノ影響ハアルガ、併シ五百萬石ソレダケノ影響ハナイ、恐ラクハ三百萬石トカ或ハ二百萬石トカ云フヤウナ、段々ニ廻シタ

結果幾分ノ低落ハアルケレドモ、併シ左程ノ低落ハナカラウト思フ、其結果トシテ逆作用ヲ起シテ、又自然白米デ賣ツタモノガ、其反對ニ玄米ノモノヲ政府ガ買上ゲニヤナラスト云フヤウナコトニナルカラ、ソコニ差損ト云フモノハドウシテモ起リマス、起ルケレドモ、ソレデモ尙且ツ是ハ内地デ其方面ニ處分ヲスルヨリ外ニハ、私共今考ヘテ居ル所デハ、此處大ナル分量ヲ處分スルト云フコトガ出來ナイ、モウ一ツハ最モ値高ク處分ヲスルト云フコトハ、矢張り内地ヨリ外ナイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、私共ハ農林省ガドウカ餘リ米價低落ト云フコトニ付テハ、自ラ他ニ方法ヲ御考ニナツテ、米價低落ト云フコトノ御懸念ナク、「トシネル」ヲ通スコトニ積極的ニ御活動ヲ戴キタイト思フ、一例ヲ申シマスと云フト昨年ノ夏頃、或災害地デ以テ色々ノ手續ノ結果、或ハ内務省ヲ通ジテカドウカ知りマセヌガ、廉價拂下ノ請求ヲシタ、幸ヒ其米ハヤツテ來タガ、ヤツテ來タ時ハ幾箇月經タカ知レナイケレドモ、夏頃請求シタノガ丁度十一月カ十二月頃ニナツテ米ガ到達シタ、丁度新米ノ時期ニナツテ其ヒネ米ガ參ツタト云フヤウナ風ニ私ハ聞イテ居リマス旁、ナカ／＼手續ニ關シテハ餘程手間ガカカルヤウニ考

ヘラレルノデ、ドウカ「トシネル」ヲ少シ此方ノ方カラ積極的ニ通シテデモ社會政策的ニ成ルベク弊害ノ少ナイヤウニ、一ツ此米ノ御處分ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長岡隆一 郎君 只今ノ問題ハ此程度ニ止メマシテ、外ノ問題ニ付テハ、最モ御理解ノアル大臣デアラレマスルカラ、是レ以上質問申上ゲマセズ、唯私ガ法令ヲ超越シテト申シマスノハ小シ言葉ガ過ギマシタガ、是ハ何モ法規ヲ無視シ、違反シロト云フトヲ官吏ニ申スノデハナイ、若シ邪魔ニナル法規ガアレバ、相當ノ改正ヲシテオヤリニナツタラ宜カラウト云フ意味デゴザイマス、ソレカラ今迄ヤツテ居ルコトニ付テモ多少ノ弊害ハアルト仰シヤイマシタガ、是ハ物ニハ必ズ弊害ヲ伴フ、殊ニ私モ昔ハ官吏ヲシテ居リマシテ、サウ云フコトヲ申ス資格モアリマセヌガ、官僚ト云フモノハ動モスレバ物ノ弊害ノ方ガ先キニ目ニ付ク、今迄ノ慣例ニ依ツテヤツテ居リマスと云フト先ヅ過チガアリマセヌガ、是ニ一歩改良ヲ加ヘ、進歩ヲ加ヘルト云フヤウナコトガアレバ必ズ弊害モアル、現ニ斯ウ云フ弊害ガ生ジタト云フコトデ弊害ヲ過大ニ見テ、物ノ進歩ヲ妨ゲルト云フコトガアリマス、詰

リ從來ノ範疇ノ中ニ立テ籠ッテ居ッタ方ガ安
全ダト云フコトハ、是ハドウモ共通ノ弊害
デ、宜シク大臣ハ其部下ノ官吏ニ御相談ニ
ナラズニ、一ツ此問題ニ付テハ廣キ御考ヲ
以テ御處置アラムコトヲ望ミマス

○藤山雷太君 私ハ先刻臺灣民政長官ノ御

答辯ニ依ッテ、チヨット御尋ヲ申上ゲデ見タ

イト思ヒマス、臺灣ノ蓬萊米ト云フモノハ、

一體蓬萊米トシテ生レタノハ臺灣ニ内地カ

ラ行ッタ人ガ、皆臺灣ノ在來ノ米ヲ用フルコ

トヲ餘リ喜バナイ、從テ内地カラ隨分米ガ

臺灣ニ行ッタモノデアリマス、ソコデ何トカ

シテ内地カラ米ヲ呼バナイデ、臺灣ニ來ル

日本人ハ臺灣ノ米ヲ食フコトヲヤリタイト

云フ意味ニ於テ、或ハ蓬萊米ノ生産ニ付テ

ハ非常ニ御苦心ニナッタト私ハ考ヘテ居リ

マス、其當時……サウシテ漸ク日本内地米

ニチットモ變ラナイ位ノ蓬萊米ト云フモノ

ガ出來テ來タノデアリマス、アノ種子ナド

ヲ採ッテ、アレ迄ニ仕上ゲルニハ非常ナ御

骨折ニナッタト思フ、ソレデ今日ノ蓬萊米ト

云フモノハ内地米ト殆ド同ジコトデ、寧ロ

或人ハ内地米ヨリモ良イト云フ位ノコトヲ

言ッテ居ル人モアル位デアリマスカラ、私ハ

自然ニ放任シテ置ケバ蓬萊米ト云フモノハ

非常ニ増産ニナリハシナイカト思フ、殊ニ

況ヤ今迄ハ非常ニ御獎勵ニナッタ、蓬萊米ト

云フモノヲ是非作ッテ、増産ヲ御計畫ニナッ

テ居ルヤウニ私ハ想像シテ居リマス、從テ

隨分蓬萊米ノ生産ト云フモノハ今日相當ナ

額ニ達シテ居マスカラ、併シ何ガ一番困ル

カト言ヘバ、蓬萊米ヲ作ッテ臺灣ノ土人……

臺灣ノ土人ト云フト言葉ガ變デスカ、臺灣

ノ人ハ餘リ喜バナイ、先ヅ「コロトン」米

見タヤウナモノガ好キナンデアリマス、ソ

デ賣先ト云フコトニナリマス、ドウシテ

モ内地ヘ持ッテ行クヨリ外ハナイト云フヤ

ウナ形勢ヂヤナイカト私ハ考ヘテ居リマ

ス、ソコデ殊ニ若シ値段ヲ極メテ、内地米

ト是ダケノ格差デ是ダケ買ッテヤルト云フ

ヤウナコトニナリマス、非常ニ増

産シテ來ル虞レハナイカト云フコトヲ考ヘ

テ居リマスガ、先刻ノ民政長官ノ御話デ

ハ、臺灣ノ蓬萊米ハ成ルダケ減産ヲ計ッテ、

他ノ代用ヲ獎勵スル積リデアルト云フヤウ

ナ意味ニ御答辯ガアツタト考ヘマスガ、サウ

云フコトニ承知シテ置イテ宜シイノデアリ

マスカラ、チヨット御尋ネ申シテ置キマス

○政府委員(平塚廣義君) 只今藤山サンカ

ラ御質問デアリマスカラ、只今ノ米穀事情

ヨリ考ヘマシテ、蓬萊米ノ減産ヲ圖ルト云

フコトニ進ンデ參ッテ居ルノデアリマス、併

シ在來種ト蓬萊米トノ關係ニ付キマシテ

ハ、先刻長岡サンノ御質問ニ大體御答ヘ申

上ゲマシタ通り、其間ニ無理ノナイヤウニ

致シタイ、斯ウ大體考ヘテ居ルノデアリマ

ス、要シマスカラノ是迄ノ最近ノ狀況カラ

申上ゲマスカラ、島内ニ於テ使用ヲ致シマ

スル蓬萊米ハ大體三十二三萬石デハナイカ

ト思フノデアリマス、サウ致シマスト大體

本島ノ人、臺灣ノ人ミガ消費イタシマス

ルモノハ十萬石位ノモノデアラウ、是ハ從

來ヨリモ詰リ此十萬石ト云フ統計モ餘程増

シテ居ルノデアリマシテ、從テ之ニ慣レマ

スレバ、蓬萊米ニ慣レマスカラト云フト大變

結構デアリマスカラ、本島人モ之ヲ使用

スルト云フ傾キニ相成ッテ居ルノデアリマ

ス、左様ノ關係ニナッテ居リマスカラ、一

般ノ需要供給ノ關係、經濟上ノ關係ヲ無視

シテ極端ニ之ヲ抑ヘルト云フ考ヘハ毛頭ナ

イノデアリマス、唯米穀ノ我國ニ於テノ國

情ニ即シタル政策ヲ立テテ、之ニ依ッテ具體

的ニ實行ヲ致シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居

ルノデアリマス、尙ホ先刻四五圓ノ開キガ

在來米ト蓬萊米トノ間ニアルト云フコト

ガ、長岡サンノ御質問中ニゴザイマシタ

ガ、衆議院ノ委員會ニ於テ私ガ御説明申上

ゲマシタ中ニ、四五圓ト云フコトヲ申シテ

置イタノデアリマスカラ、若シ之ヲ御指定

ノ御言葉デアリマスカラ、アノ當時ノ

質問ノ要點ハ外國米、詰リ蘭貢米アタリト

ノ差ハドノ位ノモノカト云フノデアリマシ

タノデ、四五圓ノ差ガ本島ノ在來種ト四五

圓ノ差ガアル、斯ウ申上ゲタノデアリマ

ス、念ノ爲ニ申添ヘテ置キマス

○藤山雷太君 サウ致シマスカラ積極

的ニ御獎勵ニナッテ蓬萊米ノ増加ヲ圖ルト

云フコトハ、無論今後ハナイヤウニ承知シ

テ置イテ宜シイ譯デアリマスカ、是迄ハ大

分蓬萊米ト云フモノノ増産ヲ御獎勵ニナッ

タヤウニ、私ナドハ想像シテ居リマスガ、

殊ニ私ハ臺灣ニハ蓬萊米デハナク代用作ハ

隨分アルダラウ、外ニ色々ノアノ熱帯ヲ利

用シテヤリマスカラ、アノ今日ノ狀態ニアリ

ガ内地ノヲ脅カスヤウナ今日ノ狀態ニアリ

マスレバ、成ルダケ作ラヌト云フコトヲ言

フコトハ、是ハ無論出來ナイダラウト思ヒ

マスケレドモ、其點ハ十分ニ御考慮ニナル

コトト承知シテ置イテ宜イ譯デアリマスカ

カ、チヨットソレヲ……

○政府委員(平塚廣義君) 藤山サンノ御説

ノ通り蓬萊米ハ非常ニ熱心ナ研究ヲ遂ゲマ

シテ、今日ノヤウナ結果ヲ得タノデアリマ

ス、尙ホ此改良等ニ付キマシテハ、尙ホ將

來研究ヲ續ケル積リデアリマス、唯先刻申上ゲマシタ通りニ日本ノ米穀ノ事情ニ鑑ミマシテ、耕作ノ經濟上ノ割當等ニ付キマシテハ、相當調整ノ取レタ方法ニ向ッテヤリタイ、斯ウ考ヘテ居リマスルケレドモ、其點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 私引續キ外地米ノ輸入制限管理ノコトニ付テ一ツ御尋シテ見タイト思ヒマス、此米穀政策ガ非常ニ困難ヲ伴フト云フコトハ勿論言フ迄モナイコトデアリマス、殊ニ此外地米ガ益、増加シテ内地ニ輸入シテ來ル、本年度ノ如キハ内地デ七千萬石モ出來テ居ルカラシテ、三百萬石位外地カラ入ッテ來レバ、先ヅ需給ノ調節ガ取レルト云フコトニナツテ、朝鮮カラハ八百三十萬石、正確ニ申セバ八百三十七萬石、臺灣カラハ四百十三萬石入ッテ來マス、サウシテ之ヲ買ハニヤナラス、斯ウ云フ問題ニナル、併ナガラ此今申上ゲタ數字ノ如ク、如何ニシテ此内地ニ於ケル豐年ガ續キマシテモ、内地人ノ消費スル米ダケハ是ハ出來ナイ、此度ノ豐作デストラ尙且ツ三百萬石不足ガアル、矢張りドウシテモ外地米ハ入レナケレバナラヌト云フコトハ、是ハモウ數字ガ明カニ雄辯ニ證明シテ居ルノミナラス、是ハ米穀部長

アタリハ能ク御存知デアリマセウガ、朝鮮米ハ大阪地方ノ人ミガ嗜好トシテ、矢張り此普通ノ家庭ニ於テ多少朝鮮米ヲ混合シテ入レナイト云フト嗜好ニ合ハナイ、丁度東京ノ我ミノ食ベテ居リマス米ノ中ニ、東北ノ軟質米ガ幾ラカ入ッテ居ル、是ガ東京人ノ嗜好ニ適スルト云フヤウナ譯デ、例ヘバ内地ノ生産高ガ七千三百萬石ニ上リマシテモ、朝鮮米ハ必要ガアル譯デアリマス、ソコデ大正十二三年頃デゴザイマスカ農林省……當時ノ農商務省ノ米穀委員會ニ於テ、是ハ非公式ノモノデゴザイマシタラウガ、將來三十年間ノ米穀ノ需給ト云フコトニ付テ見込ヲ御示シニナツタコトガ、當時ハ人口百萬ニ増加スルナラ米ガ足りナクナルト云フヤウナコトデ、米ガ不足ニナルト云フ御計算デアッタ、ソコデ其所謂増殖計畫ナルモノガ起リ、又内地ニ於テハ耕地整理法ニ加フルニ開墾助成法ナルモノガ出來テ、頻ニ開墾ヲ御獎勵ニナツタ、ソコデ能ク拓務省ノ方ハ朝鮮ニ對シテ内地ノ米ノ足りナイ時ハ産米増殖計畫ヲ樹テテ、作レ作レト云フテ居ル、ソレニ拘ラズ此米ガ餘ッテ來ルト云フト、内地ニ入レテハイカヌト云フコトハ甚ダ得手勝手ノ話ダ、斯ウ云フコトヲ仰ッシヤルノデアリマスケレドモ、是ハ單リ朝鮮ノミ

ナラズ内地デモ實ハサウナンデ、此開墾助成法ノ補助ニ依ッテ各地デ開墾ヲヤリマシタガ、此計畫ハ當時米價ガ三十五圓デアルト云フヤウナコトカラ、收支ノ計算ヲ立テテ後ニ三十圓ニナリ、二十八圓ニナリマシタガ、此計畫ニ依ッテ折角開墾ラシテ見タ所ガ、米價ガ二十二三圓ニ下ツタト云フ爲ニ、初ノ算盤ト云フモノガ一向桁ニ合ハナクナツテ、今日農村ニ負債金ノ山ヲ築イテ居ルト云フコトハ、當時ノ獎勵ノ結果モ一ツ與ッテ力ガアル、當時ノ農商務省ノ見込違ヒノ爲ニ非常ナ損害ヲ受ケタト云フコトハ單リ朝鮮ニハ限ラナイ、内地デモ其通りデアアル、併シ是ハドウモ見込ノコトデアリマスルカラ、其當時ノ農商務省ノ當局者ヲ責メタ所デ是ハ仕方ガナイ、併ナガラ之ニ依ッテ迷惑ヲ蒙ッテ居ルモノハ内地、外地無差別ト云フテモ宜シイ、ソレデ此後ニ至リマシテ米ガ非常ニ餘ルト云フコトニナツテ、減反案ト云フ名前ハ惡ウゴザイマスガ、免ニ角代作獎勵ト云フコトヲシナケレハナラヌト云フコトヲ非公式ニ述ベタ、是カ何故評判ガ惡カッタカト云フト、政黨ノ地盤關係等モゴザイマセウケレドモ、如何ニモ當時ノ農商務省ト今日ノ農林省ト僅バカリノ期間ノ間ニ氷炭相容レザル方針ガ出テ來タ、過去ニ於テ

ハドシノ農地ヲ開墾シナケレバナラヌ、米ガ不足スルト云フコトヲ言ヒナガラ、今日ハ米ノ作付反別ヲ制限シナケレバイヤス、如何ニモ見込違ヒデアアル、無定見デアルト云フヤウナコトガ感情的ニ國民ノ間ニアツタヤウニ思フ、是ハ如何ニモ減反案ト云フト名前ガ惡イノデアリマスケレドモ、只今ノ儘ニ米ノ生産高ヲ其儘ニ放任シテ置キマスレバ、是ハ昨日モ申上ゲタヤウニ米穀特別會計ヲ何億是カラ増加シタ所デ、毎年米ヲ買ッテハ腐ラス、米ヲ買ッテハ腐ラスト云フヤウナ賽ノ河原ノ石ヲ積ムヤウナコトヲ繰返ス外ハナイノデ、結局或程度ノ「コストロール」ト云フコトハドウシテモオヤリニナラナケレバナラヌコトニナルノデアリカト思フ、米ガ安クナツテモ農家ガ利潤ガアレバ宜イ、斯ウ云フコトハ能ク申シマスケレドモ、併ナガラ毎年々々米ガ餘ルト云フコトデアレバ、是ハ昨日モ申シタヤウニ國際的商品デアリマセヌカラ、ミスク要ラナイ米ヲ作ルト云フコトニナル、是ハ實ニ見易キ道理デアアル、是ハ能ク話ノ出ルコトデアリマスガ、今日農村ガ非常ニ不況デアルト言ヒナガラ、煙草ヲ作ッテ居ル所ハ不景氣知ラズデアアル、是ハ大藏省ノ專賣局デ必要ナ分量、消費生産ト云フ間ニ能

賣局デ必要ナ分量、消費生産ト云フ間ニ能

ク調節ヲ取ツテ居リマスカラシテ、生産ノ過剩モナケレバ不足モナイト云フコトデ、此煙草ノ耕作ハ不景氣知ラズト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ嚴重ナ「コントロール」ガ行ハレルカドウカ知レマセヌケレドモ、何等ノ方法ニ於テ國家ガ統制サレルト云フ所マデ行カナケレバ、結局何時マデ行ツテモ結末ガ付カヌチヤナイカト云フ結論ニ到達セザルヲ得ナイ、ソコデ私ガ昨日斷ノ一事アルノミト云フコトヲ申上ゲタノデ、非常ニ誤解ヲ起シマシテ、何カ米穀統制法ヲ廢止シロト云フヤウナ意味デ申上ゲタヤウニ誤解ヲサレマシタガ、サウ云フ意味デナクシテ、斷ト云フノハ、或意味ノ國家ノ統制ト云フコトハ結局ヤラナケレバイカナイノデヤナイカ、ソレデナケレバ失禮ナコトヲ申スヤウデアリマスケレドモ、如何ニ御調査ヲナサレマシテモ此今迄ノヤウナ調子デハ、結論ニ到達イタシマセヌ、此農商務省時代カラ米ノ調査會ト云フモノハ名前ハ再々變リマシタケレドモ、餘程長イ間調査サレテ居ル、現内閣ガ成立サレマシテカラモ、一年以上御調査ニナツタデセウ、併シ今迄ノ調子デ調査研究ラシテ居ラレタ所デ、結局アト半年ノ中ニ成案ガ出來ルモノトハ私ハ思ヘナイ、ソコデ少シ手

取早ク申上ゲマスト、結局外地米ニ對シテ專賣制度ヲ施カレル外ハナイデヤナカラウカ、專賣制度デ行ケナケレバ外地米ノ統制ヲ致ス、即チ内地ノ生産高ニ對シテ不足ノ分ハ外地カラ之ヲ移入スルト、其外ハ知ラヌ顔ラシテ居リマシタナラバ、是ハ外地ノモノハ堪ラナイノデアリマサガ、ソレ以外ノモノハ外地ニ於テ買上ゲル、内地ノ生産高ニ應ジテ不足ノ分ハ外地カラ移入スル、ソレ以外ノモノハ外地ニ於テ國家ガ買上ゲル、斯ウ致シマスレバ外地ノ新附ノ民ハ少シモ困ラナイ、而シテ國家ノ買上數量モ非常ニ少クテ濟ム、内地米ト云フモノハ季節的ニ多少調節ラシマスレバ、或ハ大シタ買上ゲラレナクテモ宜イコトニナリハシナイカ、私ハ結論ハモウ此處ニ行クヨリ外ナイ、昨日三井君カラ非常ノ時ノ爲ニ、即チ國防ノ爲トカ備荒貯蓄ノ意味デ、米ハドウシテモ貯藏シテ置カニヤイカヌ、御尤デアリマスケレドモ、貯藏イタスニ致シマシテモ、内地ヨリ朝鮮ノ方ガ貯藏ガシ易イ、氣候ガ乾燥モシテ居ルシ、第一朝鮮デハ穀ノ儘保存スルト云フ習慣モアリ、又國防上カラ言フテモ大部分ノ米ヲ朝鮮ニ置クト云フコトガ宜イコトデアリマス、新規ノ用途ノ開拓トカ或ハ輸出トカ云フコトモアリマスケレドモ、

ソレハ其朝鮮ニ於テ買上ゲタ米ダケニ付テ考慮スレバ宜シイノデアアテ、此外ニ私トシテハ殆ド案ガアラウトモ思ハナイ、米穀特別會計ノ損失ニ付テハ、ドウシテモ是ハ自分ノ力デ損失ヲ儲ケテ返シテ行クコトハ出來ナイノデアリマス、或時期ニハ之ヲ一般會計ニ移シテ整理シテシマフ、而シテ官吏ノ俸給デアルトカ、旅費デアルトカ、人件費事務費等ハ是ハ國家ニ必要ナ費用トシテ、一般會計カラ支辨スル外ナイ、落著ク先ハ私ハソレ以外ニ案ノ立テヤウガナイト思ヒマスガ、是ハ拓務省朝鮮等ノ關係デハッキリト御答辯ハ願ヘナイカモ知レマセヌガ、私ハ其以外ニ名案ガ案出來ルトモ思ハナイ、農林大臣ノ御考ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君) 御意見ヲ拜聽イタシマシテ、特別會計ノ整理ノ關係ニ付キマシテハ、別段申上ゲルコトモゴザイマセヌ、我々モ大體サウ云フ趣旨デ特別會計ニ對スル整理ヲ致シテ參リタイト云フコトハ希望イタシテ居ルノデアリマスカラ、ソレカラ米ノ統制問題ニ付テ朝鮮米ノ統制ニ主カラ注グコトガ解決ノ唯一ノ途デハナイカト云フ御見解デアリマスルガ、是ハ一ツノ御意見ト存ジマス、只今ノ所我々ミトシテハ今後内地、外地ヲ通ジマシテ、米穀ノ調節

統制ノコトヲ考ヘマスシ、又其際ニ於テ朝鮮米等外地米ノ問題ニ付テモ、出來得ル限リ深く入ツタ考究ヲ遂ゲテ解決策ヲ發見シタイ、斯ウ云フ考デ居リマス、只今ノ所ソレ以上ノ御答ヲ申上ゲルマデニ參リマセヌ、總テ今後ノ考究ニ俟チタイト考ヘテ居ル問題デアリマス

○長岡隆一郎君 政府トシテハソレ以上ノコトハ無論御答辯戴ク譯ニハ行キマスマイ、殊ニ今井田サンヤ平塚サンガ後ロニ居ラルルノデゴザイマスカラ、秘密會ニ願ツタ所デ私ハソレ以上ノ御答辯ハ豫期出來ルトハ思ヒマセヌ、併シ高橋大藏大臣ガ言ハレル通り、此農産物ノ問題ハ非常ニ困難デ「ブラジル」ニ見ヨ、北米合衆國ニ見ヨ、何處ニ適當ナ解決策ガアルカ、知惠ガアルナラハ、俺レニ貸シテ呉レ、俺レニハ案ガ立タヌ、斯ウ云フ非常ニ超越シタ御答辯ガアツタヤウニ思ヒマスケレドモ、私ハ日本ノ米ノ問題ハ亞米利加ノ問題ノ如ク困難デアルトハ思ハナイ、其御答辯ヲ速記録デ讀ミマシタカラ、實ハ亞米利加ニ於ケル農産物ノ問題ニ付テ調ベテ見タ所ガ、其困難ハ日本ノ比デハナイ、是ハ簡單デゴザイマスカラ、チヨット申上ゲマスガ、千九百二十九年ノ小麥値段、棉花ノ値段ヲ見マスト、亞米利加

ノ小麦、棉花ト云フノハ、日本ノ繭、米ト
 同ジ重要サヲ農村ニ持ツテ居ル、此亞米利加
 ニ於テ、大瓦落ヲ見マシタ前ノ棉花一封度
 ハ二十四仙、ソレガ千九百三十三年ノ三
 月、丁度今ノ大統領ガ就任スル前ニハ、五
 仙ニナツテ居ル、價格ガ始下四分ノ一ニナッ
 テ居ル、小麦一「ブッシュル」、是ガ一弗五
 十仙デアツタモノガ、四十五仙即チ三分ノ一
 ニ下ツテ居ル、是カラ考ヘマスルト云フ
 ト、マダ私日本ノ米ノ下落ト云フモノハ、
 非常ニ農民ノ爲ニハ慘澹タル状態デアリマ
 スケレドモ、亞米利加程ノ金ヲ費サズシテ
 モ私ハ出來ルヤウニ思フ、今私ノ申上ゲタ
 案ニ依レバデス、年々ノ損失ガアツタ所デ、
 外地ニ於ケル米ノ殘餘ヲ買上ゲルダケデ宜
 シ、内地ノ米ヲ買上ゲ、又外地カラ流入
 シテ來ルコトヲ防グ爲ニ買上ゲルト云フヤ
 ウナコトデナシニ損害ハ私ハ極メテ少ナ
 クテ済ム、此損害タルヤ何モ利ノ付ク金デ
 ヤラナクテモ、當然三井君ノ言ハレル通り、
 農民ノ生活ヲ安定サセル爲ニ國庫デ毎年支
 出シテモ宜イト思フ、唯之ニ對シテ朝鮮臺
 灣、臺灣デハ朝鮮程御騒ギニナラヌヤウデ
 アリマスケレドモ、朝鮮デハワイノ騒イ
 デ居ル、所ガ是ハ能ク朝鮮總督府ノ方ニモ
 御考ヘ願ハナケレバナラヌノハ、頻ニ差別

待遇トカ、一視同仁ト仰シヤルケレ共、朝
 鮮總督府デ果シテ内地ニ對シテ、内鮮無差
 別ニヤツテ居ルルカ、昨日アノ移入税ノ調
 ベヲ拜見イタシマシタガ、内地ノ製品ニシ
 テ朝鮮ニ入ルモノハ、内鮮無差別ト稱シナ
 ガラ、現ニ三百萬圓モ毎年税ヲ取ツテ居ラ
 レル、是デハ私一視同仁ナント云フコトヲ
 仰シヤル資格ハアルマイト思フ、現ニ此明
 治四十三年朝鮮併合ノ時ニデス、朝鮮米ノ
 内地ニ來ル物ニ對シテハ一石二圓五十錢ノ
 税ヲ取ツテ居ッタ、是ハ十年間据置ト云フコ
 トデアツタニ拘ラズ、大正二年議院提出ノ
 法律案ニ政府ガ同意シテ、タツタ數年ニシ
 テ之ヲ撤廢シテ居ル、私ハコンナ寛大ナ本
 國ト云フモノハ世界各國アルモンデヤナイ
 ト思フ、外國ノ例ヲ見マシテモ、植民地カ
 ラ内地ニ入ッテ來ルモノニ税ヲ取ツテ居ル例
 ハ澤山アリマス、然ルニ朝鮮デハ内地カラ
 行ク製品ニ對シテ三百萬圓モ税ヲ取ルガ、
 内地ニ於テハ朝鮮カラ入ッテ來ルモノニ税
 ヲ取ツテ居ナイ、十年ト云フ生命ヲ短縮シ
 テ撤廢シテ居ル、是ハ私ハ其朝鮮總督府ノ
 方ニハ、其朝鮮人ノ不平ヲ其儘内地ニ御出
 デニナツテ、取次ヲサレテ放送ヲサレル前ニ
 デス、日本政府ト云フモノハ、斯ノ如ク寛
 大ナル態度ヲ取ツテ居ルノダト云フコトハ、

是ハ朝鮮人ヲ御教育アツテ然ルベキモノト
 思フ、ソレヲ其朝鮮人ノ御先棒ニ使ハレ
 ル……ト云ツテハ甚ダ失禮デスケレドモ、音頭
 取……ト云ツテモ又尙ホ失禮ニナルカモ知
 レマセヌケレドモ、其儘朝鮮人ノ不平ヲ……
 不平ト云フヨリ誤解ヲ取次イデ、進退ヲ賭
 シテマデモ争フトカ、何トカ大人氣ナイコ
 トヲ仰シヤルノハ、是ハ少シク御再考ヲ願
 ハナケレバナラヌコトカト思ヒマス、ソコ
 デ此一視同仁、内鮮無差別、是ハ誠ニ原則
 トシテハ結構デアリマスケレドモ、是ハ文
 字通りニ行ヘルカト云ヘバソレハ行ヘマセ
 ス、内地人ト朝鮮人トハ生活ノ程度モ違ヒ
 マスシ、文化ノ程度モ違ヒマスシ、現ニ一
 視同仁ト云ヒナガラ、内地ノ政治組織ト朝
 鮮ノ政治組織トハ非常ニ違ッテ居ル、内地ニ
 ハ選舉權ガアルガ、朝鮮人ハ朝鮮ニ於テハ
 選舉權モ無イ、地方自治ノ制度モ非常ニ變ッ
 テ居リマス、又内地人ニハ兵役ノ義務ガア
 ルガ、朝鮮人ニハ兵役ノ義務ガ無イ、又公
 課ノ負擔モ非常ニ朝鮮ガ輕イ、之ハ惡イト
 申スノデハナイ、之ハ當然ノコトデアル、
 即チ其生活程度ガ進ミ、文化ノ程度モ進メ
 バ政治ノ様式其他モ段々變化シテ來マセウ
 ガ、今日ニ於テハ已ムヲ得ナイ、現ニ斯ウ
 云フ席デ申シテドウカトモ存ジマスケレド

モ、朝鮮人ノ内地ノ入國ト云フコトニ對シテ
 モ、之ハ私ハ其職務上、昔能ク知ツテ居ッタ
 コトデ、之ヲ今日此席デ申スト云フト、假
 令自分ハ官吏ニハアラズトハ云ヒナガラ、
 官紀ノ許サザル所デアリマスカラ申シマセ
 ヌガ、現ニ相當ニ手心ヲ加ヘテ居ルンデヤアリ
 マセヌカ、朝鮮人ヲ決シテ無制限ニ内地ニ
 入レテ居リマセヌ、又入レタラ大變ナ失業
 問題ガ起ツテ來マス、斯カル現状ヲ見マシテ、
 朝鮮米ノ内地ニ入ッテ來ルコトニ對シテ相當
 ノ統制ヲ加ヘルト云フコトハ、之ハ當然過
 ギル位ノ當然デアアル、世間デハ此或ハ米ニ
 對シテ、内地ニ於テ移入税ヲ課シタ方ガ宜
 カラウト云フコトヲ申ス人モアリマス、私
 モサウ云フ議論ヲ聽キマシタ、併シ此事ハ
 詳シク申上ゲマセヌガ、私ハ朝鮮米ニ對シ
 テ内地ニ於テ移入税ヲ取ルト云フコトハ、
 之ハ愚案中ノ愚案ダト思フ、是ハ恐ラク農
 林省モ御賛成ニナリマスマイ、外地デ聽キ
 マシテモ、外地デ其事ヲ容認シテ、朝鮮總
 督府ガ萬一……萬一同意サレテモ移入税ヲ
 取ルト云フコトハ、之ハオヤリニナツテハイ
 カスト思フ、併ナガラ今申シタヤウニ朝鮮
 米ノ内地ノ移入ト云フコトガ内地ノ米價ヲ
 壓迫シ、需給調節ヲ亂スト云フコトヲ考ヘ
 ル以上ハ、之ニ對シテ相當ノ統制ヲ加ヘル、

是以外ニ私ハ案ハ無イト思フ、又今日マデニ私ノ所ニ朝鮮カラ來マシタ電報ト云フモノハ何十通ニ上リマスカ、何百通ニ上リマスカ、電信料ダケデモ大變ナモノト思ヒマスケレドモ、一々讀ミモ致シマセヌガ、中ニハ脅迫的ノ電報モ戴イテ居リマスガ、併ナガラハ私ハ朝鮮人ノ眞ノ聲トハ思ヒマセヌ、斯ク申シテハ如何ト思ヒマスケレドモ、多數ノ農民ト云フモノハ殆ド斯ウ云フコトヲ理解スル能力モ無イ、若シ朝鮮人ニシテ斯ウ云フコトニ加ハツテ居ル者ガアリトセバ、之ハ極ク一部ノ者デアアル、此運動費ヲ出シテ居ル者ハ、多クハ内地ノ米商カ内地ノ大地主ト云フ者デアツテ、此事ヲ朝鮮人ノ非常ナ熱烈ナ慾求デアルト云フヤウニ、御考ヘニナツタラ大キニ間違フト思フ、現ニ此朝鮮米ノ買入ヲ見越シテ、大邸デハ既ニ買占ガ行ハレテ居ルト云フコトマデ私聽イテ居リマス、殊ニ此今回ノ案ハ甚ダ不公平ナコトハ……是ハ色ミ御辯明モアリマセウガ、内地ノ米ヲ買入レルニ付テハ、統制價格ヲ買入レルト云フコトニナツテ居ル、統制法ノ命ズル統制價格ヲ買入レル、朝鮮米ハ時價ニ依ツテ買入レル、恐ラクハ私ハ此一部ノ商人ノ思惑ニ依ツテ、此事ガ決マリマスレバ朝鮮ニ於ケル米價ハ釣上げラレルダラウ

ト思フ、我々内地人ノ負擔ニ依ツテ……一視同仁ドコロヂヤナイ、甚ダ内鮮差別、甚ダ内地人ヲ虐遇シ、朝鮮人ヲ優遇スルト云フコトノ意味デ、斯ウ云フコトヲヤラレル結果ハ、必ズ朝鮮米ノ増殖トナツテ現レテ來ル、其結果ハ之ハ私ハ豫言シテ置キマス、無論此朝鮮、内地、臺灣等ニ於テ、政治ノ靜穩ナラムコトヲ期スルト云フコトハ、私モ心カラ希望スルコトデアリマスルガ、唯萬歲騒ギガ起ルゾト云フヤウナ聲ニ驚カサレテ不當ナル要求ヲ默認スルト云フコトハ、之ハ植民地ノ爲ニ却テ相成ラス、當然ナ要求デアレバ騒ギヲ起シテモ起サヌデモ、之ヲ外地デ御施設ニナルガ宜シ、又内地ノ政府トシテモ、當然ナ要求ハ致サナケレバナラスケレドモ、萬歲騒ギヲ起スゾト云フコトニ依ツテ不當ナル要求ヲ容レルト云フコトハ、却テ朝鮮統治ノ爲ニ惡イト考ヘル、此事ニ付テ無論農林大臣ハ、先程以上ノ御答辯ガ出來マスマイト思ヒマスケレドモ、其一端ヲ御洩シ下サレバ結構デス

○國務大臣(後藤文夫君)

色ミ御意見ノ

アル所ヲ承リマシタ、我々ミトシテハ朝鮮米ノコトハ勿論内地米關係カラ、内外地ヲ通ジテノ統制ト云フ問題ヲ今後深ク考究イタサウト思ツテ居ルノデアリマス、色ミ朝鮮ノ

事情ニ付テノ御話ニ付キマシテハ、私何トモ御答ヲ致スコトハ出來マセヌ、寧ロ一ツノ御觀察デアリマセウガ、其通りデアルト私申上ゲル譯ニモ參リマセヌト思ヒマス

○長岡隆一郎君 實ハ私ハ正直ニ申スト、モット質問イタシタイコトガ外ニモマダ幾ツテ居ルノデアリマス、併シ院内ノ大勢ヲ見マシテ、是以上質問ヲ續ケルコトハ、或ハ他ノ諸君ニ非常ナ御迷惑ヲ與ヘルコトニナリハシナイカト考ヘマス、尙ホ正直ニ申セバ、私ハ家ヲ出ル時マデハ、モット烈シク質問ヲシタイト思ツテ出テ來ルノデアリマス、併シ此處ニ來マスト、ドウモ不斷ノ質問ノ調子ガ出テ來ナイ、ソレハ私、私情ヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、農林大臣ガ今度御提出ニナツタ三案ニ對シテ、私以上ノ不滿ノ念ヲ懷イテ居ラレルト云フコトハ、能ク私知ツテ居ル、ソコデ後藤農相ハ大臣ノ地位ニ戀々タルヤウナ御方ヂヤアリマセヌ、餘程此苦シイ所ヲ御忍ビニナツテ、犧牲的ノ考ヲ以テ此職ニ留ツテ國家ノ爲ニ御盡シナル、其御衷情ヲ察スルト共ニデス、私ハ其公ケノ事ヲ以テ私情ヲ曲ゲチャイカスト云フコトヲ、心デハ始終誓ツテ居ルノデアリマスケレドモ、現在人材ノ乏シイトキニ、將來モット働イテ戴カナケレバナラス後藤

君ニ傷ヲ付ケルト云フコトハ國家ノ爲ニ相成ラヌト信ズルノデ、モット農林大臣ニハ御痛イ材料モ澤山アルノデアリマスガ、私ハ右ノ心情ヲ申述ベマシテ質問ヲ打切りマス……

委員長、チヨット速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵青木信光君) ハイ、速記ヲ……

(速記中止)

○委員長(子爵青木信光君) 如何デスカ、皆サン、一時懇談會ニ變ヘテハ如何デスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵青木信光君) 御異存ガナケレバ、是ヨリ懇談會ニ移リマス

午後四時五十一分懇談會ニ移ル

午後五時三十九分懇談會ヲ終ル

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○侯爵中御門經恭君 各委員ヨリ御熱心ナル御質問ガアリマシタガ、此儘デハ買上費ノ増大シテ行クコトハ免レナイコトデゴザイマス、増シテモ決シテ減ズルコトハナイヤウニ思ハレマス、終ヒニハ國防豫算ヨリモ遙ニ大ナル費用ヲ投ジテ、遂ニハ國庫ノ費用ノ大部分ヲ之ニ費サナケレバナラナイヤウニ感ジマス、又方策ノ立テ方ニ依ツテ

ハ、只今提出セラレテ居ル二億圓マデハ支出シナイデモ濟ミハシナイカト思ハレマス、依テ新ニ永久的根本策ヲ御講ジニナツテ、速ニ成案ノ出來次第、臨時議會ヲ御召集ニナリ、之ガ對策ヲ御出シニナル御考ハ

○委員長(子爵青木信光君) 別ニソレニ對シテ御質問ガナケレバ、是ヨリ討議ニ移リタイト存ジマス

○伯爵有馬頼寧君 私ハ本案ニ賛成ヲスル一人デアリマス、其賛成ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、尙ホ賛成トハ申シマ

スケレドモ、多少……無條件ニ賛成ヲスルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマシテ、贊成ヲ致スニ付キマシテ同時ニ希望ノ一端ヲ

申上ゲテ置キタイト思ヒマス、本案ヲ假ニ通過セシメナイト云フヤウナ、通過シナカッ

タト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ見マスト云フト、政府ノ御説明ニアリマシタヤウニ、

米穀政策上非常ナ支障ヲ來シテ、所謂行詰リノ状態ニナルト云フコトデアルコトハ、

申スマデモナイト思フノデアリマストカラ、勿論之ヲ通過セシメルコトハ必要デア

ルト思ヒマス、又之ヲ修正シテ減額スルト云フヤウナ御意見モアツタンデアリマスト

ケレドモ、ソレハ色ミナ不安ヲ生ゼシメタリ、或ハ米價下落ノ爲ニ統制法實施ノ上ニ、

是亦支障ヲ多大ニ起ス虞レガアリマストデ、是モ差控ヘルコトガ宜シカラウカト思

フノデアリマス、從テ私ハ原案ノ儘、之ニ賛成シ、之ガ通過スルコトガ宜シイト考ヘ

ルノデアリマス、併ナガラ此資金ヲ増加シ

テ米ヲ買上ゲルト云フコトハ、只今總理大臣モ御話ノアリマシタヤウニ、所謂應急對

策デアリマシテ、決シテ根本的ナル政策デハナイノデアリマス、此米穀政策ハ可ナリ

長イ年ニ互ツテ講究サレ、又施設サレテ來タノデアリマスルガ、現状ヲ以テ決シテ満足

ノ出來ル状態デハナイト思ヒマス、且ツ非常ニ窮迫シタ状態ニナツテ參リマシテ、最早

根本策樹立ノ時期ヲ是以上延バスコトハ、非常ニ困難ノ状態ニナツテ來テ居ルト思フ

ノデアリマス、政府ニ於カレテ、根本對策ヲ立テラレルト云フコトノ意思ガ無イト

カ、或ハサウ云フヤウナ腹案ガ全然ナイト云フナラバ、是亦考ヘナケレバナラヌコト

カモ知レマセヌガ、先般開カレマシタ五相會議ノ模様ヲ、私共新聞紙ヲ通ジテ拜見イ

タシマシタ所ト、今回提出サレマシタ所ノ案トヲ比較イタシマスト、全然是ハ違ッ

テ居ルノデアリマス、アノ五相會議ノ當時、新聞紙ニ載セラレタ所ヲ見マスト云フ

ト、ソレガ本當ニ徹底的ノ根本對策デアルカドウカト云フコトニハ、多少ノ議論ノ餘

地ガアルト思ヒマスガ、兎ニ角政府ニ於テ、根本對策ノ樹立ノ意思ガアリ、又相當ノ具

體案ヲ持ツテ居ラレルト云フコトハ、我々之ヲ親フコトガ出來ルノデアリマス、從テ政

府ニ於テ其誠意ガアレバ、之ヲ樹立スルコト必シモ不可能デナイト思フノデアリマス、只今ノ御聲明ニ依リマシテ、私共深く御信

頼申スノデアリマスガ、願ハクバ内外地ヲ通ズル所謂生産調節ノ方策ヲ速ニ立テラレ

マシテ、サウシテ臨時議會ヲ開カレ、之ヲ提案サレテ、日本ノ米穀政策ノ確立ヲ期セ

ラレルト云フ希望シテ止マナイノデアリマ

ス、差別待遇ト云フヤウナコトガ、内地ト外

地トノ間ニ大分問題ニナツテ居ルヤウデア

リマスガ、或ハ差別ト云フ問題ハ、故意ニ

不合理ノ方策ヲ取ツテ、一方ノ利益ノ爲ニ一

方ガ損害ヲ蒙ルト云フヤウナコトガ、即チ

差別待遇ノ惡イ所ナンデアリマシテ、其

點カラ云ヘバ、内地ノ爲ニ外地ガ犠牲ニサ

レルコトモ惡イノデアリマスガ、外地ノ爲

ニ内地ガ犠牲ニサレルト云フコトモ、同時

ニ是ハ非常ニ差別問題トシテ論議サレルコ

トト思フノデアリマス、必シモ同ジ形ヲ取

ラナクテモ、兩方トモ内地、外地共ニ其方

策ニ依ツテ、同ジヤウ利益ヲ得ルト云フ策デ

アルナラバ、其形式ニ於テ相違ハアリマシ

テモ、ソレハ必シモ咎ムベキコトデハナイ

ト私ハ思フノデアリマス、從テ内外兩地ノ

利益トナルヤウナ根本策ヲ至急講究セラレ

マシテ、之ヲ速ニ樹立サレルコトヲ希望シ

テ

テ

テ

テ

○國務大臣(子爵齋藤實君) 私ヨリ一言申

上ゲマス、今回ノ提案ハ應急對策デアリマ

スカラ、根本策ハ何トシテモ別ニ確立セネ

バナラヌノデアリマス、根本策ノ樹立ニ付

テハ調査會ヲ造リマシテ、之ニ諮問シ審議

ヲ取急ギマシテ、次ノ米穀年度マデニ成案

ヲ得ルヤウニ努力スル積リデアリマス、右

ノ成案ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、通

常議會ヲ待ツマデモナク、直ニ臨時議會召

集ノコトモ考慮イタス積リデアリマス、政

府ト致シマシテハ此問題ノ解決ニ關シ、誠

意ヲ以テ最善ノ努力ヲ致ス積リデアリマス

テ

テ

テ

テ止マナイノデアリマス、其具體案ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ付テハ、別ニ申上ゲル必要ハ無イト思ヒマス、從來色色ノ案ガ傳ヘラレテ、政府ニ於カレテモ御研究ニナツタ案ガ澤山アルノデアリマスカラ、ソレ等ニ依リマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ趣旨ノ通リマシヤウナ策ヲ、御立テニナルコトヲ希望シテ止マナイノデアリマス、尙ホ先般一委員カラ御意見ノ御質問ノ時ニアリマシタヤウニ、必シモ米穀其モノダケノ對策デナクシテ、米穀ニ關係ノアル農業一般ニ付テノ對策ニマデ、是ガ及ブト云フコトガ若シ出來マスルナラバ、更ニ其效果ハ多イノデハナカラウカト思フノデアリマス、私ハ本案ニ贊成ヲ致シマスルト同時ニ、無條件デナクシテ、只今申上ゲマシタヤウナ意味ノ根本策ヲ速ニ考究サレ、之ガ樹立ヲ期セラレムコトヲ申述ベテ本案ニ贊成ヲ致シマス

○上山滿之進君 此法律案ガ此場合ニ成立タナイデモ、今年ノ出來秋迄ニ議會ヲ召集スルト云フコトデアレバ勿論ノ話、サウデナクテモ其際若シ必要ガ生ジタレバ、即チ今年ノ作柄ノ模様ヲ見テ、ドウシテモ金ガ要ルト云フコトニナレバ、當然金ヲ出サナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ、

斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、サウシテ米ノ價ハ今二十三圓三十錢ト定メテ居リマス、最低價格ガ定メテ居リマス、此最低價格ハ今年ノ十二月迄ハ此儘デアルモノト思ヒマス、サウスルト米ノ價ガ下ル譯ハナイノデアアル、絶對ニナイノデアリマス、從テ一般ノ民心ニ不安ヲ來スト云フコトモナイ、斯ウ信ジマス、唯抽象的ニ何ダカ不安ガ來サウナモノダト云フ氣持ノスル方ハアリマセウケレドモ、自分ノ利害ヲ考ヘル農家ハ斷ジテ不安ヲ來シマセヌ、其意味デ此三ツノ案ハ此際無理ニ成立タセナイヤウニシヤウト云フノデアアリマセヌ、ケレドモ成立タヌデモ宜イ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、ケレドモ段々漏レ承ハル所ニ依ルト、政府部内デモ可ナリ御苦心ガアルラシイ、又對衆議院關係ニ於テモ頗ル御苦心ニナツタコトモ承知イタシテ居リマスシ、衆議院ノ議事モ餘程混亂ラシク思ッテ居リマス、是等ノ事情ニ鑑ミマシテ、サウ云フ理想論ヲ私ハ述ベマセヌ、セメテ三億圓ヲ増加スルコトガアルト云フ規定ダケハ止メタラ宜カラウカト云フ考ヘテ持チマシタ、色々委員間デ御相談ヲ致シマシタ結果、先ヅ多數ノ御意見ハ原案ノ儘デ通サウ、但シ餘程嚴重ノ警告、ト申スト如何デアルカ知リマセヌ

ガ、御注意ヲ申シテ通サウ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、強ヒテ此場合私ハ修正說モ出シマセズ、無論本問題ニ於テ三案ヲ此儘ニ置イタラ宜カラウト云フ說モ出シマセズ、未練ラシクアリマスガ、遺憾ナガラト云フ言葉ヲ使ヒタイ、遺憾ナガラ本案ニ贊成ヲ致シマス、併ナガラ是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、此先ドウナルカト云フコトハ非常ニ重大問題デアリマス、此度一億五千萬圓及ビ三億圓ノ協贊ヲシマシテ、之ヲ此ノ議會デモ亦同ジヤウニ何億圓カノ資金ノ増加ヲシナケレバナラヌト云フ運命ニ陥ル危險ガ非常ニ多イノデアリマス、是非共此出來秋前ニ十分ニ御努力ヲ戴キマシテ、成案ガ出來マスレバ臨時議會ヲ開クト云フコトニナラナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思フ、根本策ト云フモノハ非常ニムツカシイ問題デアリマス、ケレドモムツカシイカラト云ッテ出來ヌト云フ問題デヤナイノデ、又ドウシテモ作ラナケレバ先ミニ少クトモ財政上非常ニ煩ヒラ爲スノデアリマス、マダ六月、半年許リモ時ガアリマスカラ、作ラウト思ヘバ作ラレヌコトハナイ、必ズ出來ルトト思ヒマス、又出來ナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ現在ノ米穀制度ハ私、種々ナ點ニ重大ナ

ル缺陷ガアルト云フコトヲ認メマス、具體的ニ申セバ本年度買上ゲタ約九百三十萬石、此米ヲドウシテ是カラ處分スルカト云フコトノ問題ハ、何等見當ガ付カヌ、ト云フノハ二十三圓三十錢ヲ買ヒマシタカラ買フ方ハ……、民間ガ皆喜ンデ持ッテ來マスケレドモ、借テ之ヲ賣ラウトナルト三十圓五十錢ニナラヌト賣レナイ、整理米、損傷シタ米ハ是ハ別デスケレドモ、是ハ蓋シ額ガ僅カデアリマス、其損傷米ヲ除イテ九百萬石ト云フモノハ三十圓五十錢ニ上ガラナケレバ賣レナイ、勅令ガサウ規定シテアリマス、其三十圓五十錢ヲ突破スルト云フコトハドウシテモ考ヘラレナイ、當分ノ間考ヘラレナイ、餘程異常ノコトガ起ラヌト到底考ヘラレナイ、サウシテ今度若シモ此出來秋ハ豐年デアルトシマスルト又九百萬石カ、一千萬石カ、八百萬石カ知リマセヌガ、非常ニ額ヲ買ハナケレバナラヌ、此米モ矢張り三十圓五十錢ヲ突破シナケレバ賣レナイ、ドウシテサウ云フコトニナルカ、ソレカラ是ガ餘ッテ居ルカト云フト、幾ラカ餘ッテ居リマスケレドモ、必ズ是デ此夏カラハ、私ハドウシテモ政府米ヲ賣レト云フ聲ガ起ルト思ヒマス、ケレドモ之ヲ賣ラウ、幾ラ賣ラウトシテモ賣ラウト云フ

意思ガアツテモ、又現ニ米ヲ持ッテ居ッテモ、

三十圓五十錢ニハナラヌノデスカラ賣ル譯

ニ行カナイ、非常ナ此處ニ矛盾ガ起ッテ來

ル、是ハ一例ダケ申シマシタガ、其點ヲド

ウニカシテ現在ノ米穀政策、米穀制度ヲ改

正シナイト、速モ先ミ立ッテ行カスト思フ、

幾ラデモ年々何億圓ト云フ金ヲ注ギ込ムト

云フコトナラ是ハ問題ハアリマセヌガ、併

シソレヲ良イコトデアル、正シイコトダ、

已ムヲ得ヌコトダト思ッテ、先ヅ是認スル人

ハ蓋シ一人タリトモ無イト思フ、ドウニカ

シナケレバナラス、ソレヲスルノニハドウ

シテモ根本政策ヲ確立シナケレバナラス、

其根本政策ヲ成ルベク早ク考ヘテ戴キマセ

スト仕方ガアリマセヌカラ、ドウカ其點ニ

付テ切ニ御願ヒ致シマス、甚ダ私、重ネテ

申シマスガ、未練ガマシク申シマスケレド

モ、誠ニ遺憾デアリマス、遺憾ナガラ已ム

ヲ得ズ此場合政府ノ御立場ナリ、又同僚ノ

委員諸君ノ御考ナリヲ參酌イタシマシテ、

之ニ賛成ヲ致シマス

○侯爵中御門經恭君 先程有馬伯ヨリ縷々

御述ベニナリマシタ通り、本員モ全く同じ

感ジヲ持ッテ、本案ニ賛成ヲ致ス者デアリ

マス、先程總理ノ御聲明ニナリマシタコト

ニ對シテハ、満足ヲ以テ拜聽イタシマシタ

ガ、御誠意ヲ以テ此御聲明ヲ御實行ニナラ

ムコトヲ切ニ希望イタシマシテ、茲ニ私ハ

附帶決議ヲ附シテ賛成イタシタイト存ジマ

ス、其附帶決議ト申シマスノハ

政府ハ米穀ノ現狀ニ鑑ミ速カニ現行制度

ヲ改正シ米穀ニ對スル根本政策ヲ樹立シ

以テ臨時議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

此附帶決議ヲ附シテ本案ニ賛成ヲ致シタイ

ト存ジマス

○委員長(子爵青木信光君) 只今中御門君

ヨリ附帶決議ノ動議ガ提出セラレマシタガ、

ソレハ「政府ハ米穀ノ現狀ニ鑑ミ速カニ現

行制度ヲ改正シ米穀ニ對スル根本政策ヲ樹

立シ以テ臨時議會ニ提出セラレムコトヲ望

ム」ト云フ、之ニ付テ何カ御意見ガゴザイ

マスマラバ、此場合御述べヲ願ヒタイト思

ヒマス

○上山滿之進君 今一言申落シマシタカ

ラ、チョット申添ヘマス、ソレハ此内外地ノ

調和問題デアリマス、此米ノ問題ハ、如何

ニモ其事ノ起リハ内地ノコトデ起ッタノデ、

又今日デモ價格ヲ維持スル、又餘リ高イ價

格ニナツタラバ、之ヲ抑制スル、是ハ内地限

リニ必要デアリマス、ケレドモ、事實ハ外

地ノ協力ヲ得ナケレバ出來ナイノデアリマ

ス、露骨ニ申シマス、朝鮮臺灣ノ當局ノ

御方ノヤリ方、ソレカラ民間ノ當業者ノ仕

方ト云フモノハ、私ナドノ遺憾ニ思フ點ガ

從來多イノデアリマス、ドウゾ此内地ノ米

ノ問題ガ非常ニムヅカシイト云フコトヲ能

ク御了解ヲ願ヒマシテ、サウシテ内外地調

和シテ此帝國ノ爲ニ、國民全般ノ爲ニ、米

穀政策ヲ確立スルト云フコトヲ、御努力ア

ラムコトヲ切ニ内地及外地ノ當局ノ御方ニ

御願ヲ致シマス

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ先ヅ

以テ此原案ノ採決ヲ先ニ致シタイト思ヒマ

ス、如何デスカ、三案束ネテ議題ニ……

〔賛成〕異議ナシト呼フ者アリ

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ三案

束ネテ議題ト致シマス、原案ニ御異存ゴザ

イマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵青木信光君) ソレデハ是ハ

可決ト認メマス、次ニ附帶決議ニ付キマシ

テ決ヲ採リタイト思ヒマス、中御門君ヨリ

提出セラレマシタ附帶決議ニ付キマシテ

ハ、御異存ゴザイマスマイカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵青木信光君) 左様ナラバ此

附帶決議ヲ附シマシテ、本會議ニ報告イタ

シマス、ソレデハ誠ニ御苦勞様デゴザイマ

シタ、是デ散會イタシマス

午後六時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵青木 信光君

副委員長 男爵稻田 昌植君

委員 侯爵大隈 信常君

侯爵中御門經恭君

伯爵有馬 頼寧君

子爵片桐 貞央君

子爵綾小路 護君

三井清一郎君

内田 重成君

上山滿之進君

伊澤多喜男君

男爵福原 俊丸君

男爵淺田 良逸君

赤池 濃君

長岡隆一郎君

藤山 雷太君

松本 眞平君

絲原武太郎君

國務大臣

内閣總理大臣 子爵齋藤 實君

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

農林政務次官 子爵織田 信恒君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

臺灣總督府財務局長 岡田 信君

昭和九年三月二十七日印刷

昭和九年三月二十八日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局